

HYBE

FOR _____
SUSTAINABLE
ENTERTAINMENT

サステナビリティレポート2022

TABLE OF CONTENTS

OVERVIEW

- 3 About This Report
- 4 議長からのメッセージ
- 5 CEOからのメッセージ
- 6 ESG委員会のメッセージ



01 WHO WE ARE

- 8 Company Overview
- 9 History
- 10 Financial Overview
- 11 Business Structure
- 12 Labels
- 14 Solutions
- 15 Platforms
- 16 Artists
- 24 Awards



02 OUR APPROACH

- 29 サステナビリティ経営ビジョン
- 30 サステナビリティ経営体系
- 31 サステナビリティ経営のフレームワーク
- 32 ステークホルダーとのコミュニケーション
- 33 マテリアリティ評価
- 37 サステナビリティ経営ハイライト



03 THINK FORWARD FOR FAN'S LIFESTYLE

- 39 ファン体験の改善
- 43 公演会場の安全対策プロセス
- 44 環境配慮型製品の導入



04 CREATE POSSIBILITIES WITH THE COMMUNITY

- 47 HYBEが目指す共同体
- 48 共同体の参加およびコミュニケーション
- 50 社会貢献活動
- 53 倫理経営
- 55 人権経営
- 56 コンプライアンス経営
- 57 人材
- 64 パートナー企業との共存共栄



05 LEAD INDUSTRIES BY THE STANDARD

- 67 株主重視の経営
- 68 取締役会
- 72 透明性の高い企業情報の開示
- 73 廃棄物および使い捨て製品の使用削減
- 74 リスクマネジメント
- 75 気候変動への取り組み
- 78 労働安全衛生
- 81 品質マネジメント
- 82 情報セキュリティガバナンス



APPENDIX

- 86 サステナビリティ経営の成果
- 86 - 連結財務諸表
- 87 - 環境に関する成果
- 88 - 社会に関する成果
- 91 - ガバナンスに関する成果
- 93 GRI Standards 2021 Index
- 97 SASB Index
- 98 温室効果ガス検証意見書
- 99 第三者検証意見書
- 101 加入協会および受賞実績



Interactive PDF Guide

本レポートは、関連ページのショートカットおよびWebページリンク機能を含むインタラクティブPDF形式で作成しました。画面上段のアイコンおよびナビゲーションと目次にページ間を移動する機能があり、本文中のリンクをクリックするとWebページに遷移します。



表紙



前のページ



目次



Webページに移動

ABOUT THIS REPORT

概要

HYBEは、サステナビリティ経営に関する2022年の活動と成果をまとめたサステナビリティレポートを初めて発行します。定期的にサステナビリティレポートを発行し、今後もサステナビリティ経営に関する活動と成果を透明性をもって公開していきます。

報告対象期間

本レポートは、2022年1月1日から2022年12月31日までのHYBEのサステナビリティ経営に関する活動や成果についてまとめています。定量的な成果の場合、年度別の推移が把握できるよう直近3年間(2020年～2022年)の数値を対象にしています。一部の定性的な成果については、2023年上半期の内容が対象となります。

報告原則と参考ガイドライン

本レポートは、サステナビリティレポートのグローバル作成ガイドラインであるGRI(Global Reporting Initiative)スタンダードを遵守し作成しました。本レポートの財務データは、韓国採択国際会計基準(K-IFRS)の連結基準に基づいています。非財務データの場合、HYBEの韓国国内および海外事業所を中心にしたサステナビリティ経営に関する情報を報告します。従業員数は、HYBEの全グループ会社の中から韓国法人のみを算定しています。

第三者保証

本レポートに含まれる情報は、客観性、公正性、信頼性を確保するため、HYBEと利害関係を持たない専門機関の検証を受けました。

本レポートについてのお問い合わせ

HYBEのサステナビリティレポートは、ホームページ(<https://www.hybecorp.com>)から閲覧およびダウンロードが可能です。より詳しい内容を確認したい場合やご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

- 住所 | ソウル市龍山区漢江大路42 HYBE ESGチーム
- メールアドレス | hybe_esg_team@hybecorp.com

議長からのメッセージ

「エンターテインメント産業の本質に忠実でありつつ、常識を守る企業になろう。」

重要なターニングポイントを迎えるたびにHYBEが軸としてきた企業哲学です。

この哲学があったからこそ、目まぐるしい成長の渦中でも

「HYBEらしさ」を保ち続けることができました。

HYBEのサステナビリティ経営もこうした企業哲学のもとに実践していきます。

エンターテインメント産業のサステナビリティを率先して考え、

本業をもって社会に貢献し、成長する企業を目指していきます。

これらを通し、将来にわたり末永く愛される企業、

産業にポジティブな変化をもたらす企業を目指してまいります。

HYBE議長

パン・シヒョク(Bang Si-Hyuk)



CEOからのメッセージ



HYBEがリードする音楽産業の革新は、音楽とコンテンツを愛するHYBEの共同体全員が作り上げていく変化だといえます。世界中のファン、従業員、パートナー企業、投資家などの複数の利害関係者が、様々な楽しさをさらに享受し、共に発展していけるよう、HYBEはサステナブルな成長を多角的に検討してきました。

2023年に初めて発行するサステナビリティレポートでは、サステナビリティ経営に向けたHYBEの方向性と取り組みを盛り込みました。HYBEは、エンターテインメント産業を代表する企業として果たすべき環境・社会的責任に取り組み、透明性の高いガバナンスを構築するため、2022年に取締役会内にESG委員会を設置し、サステナビリティ経営戦略を策定しました。HYBEは、グローバルファンダムと従業員の意見に共感し、実質的で説得力のある変化を推進していきます。そして、上場企業として韓国国内や海外の主要な規制を遵守し、企業の財務的・非財務的目標を達成し、弊社の長期的な発展に努めてまいります。

HYBEはこれまで韓国、日本、アメリカに拠点を置き、ボーダーレスに拡大してきました。

HYBEは世界的なアーティストとコンテンツを発掘する「レーベル」、強力なIPを公演、映像、ゲーム、ストーリー、リテールに適用し、事業化する「ソリューション」、これらすべてをファンにつなげる「プラットフォーム」を軸に事業を展開しています。そして「レーベル/ソリューション/プラットフォーム」は、それぞれの領域で前例のない成果を収めています。

まず、ポップス、ヒップホップ、カントリーなどの多様な音楽ジャンルで、一流アーティストとプロデューサーが所属するマルチレーベル体系の構築に成功しました。ソリューション分野では、音楽とテクノロジーを融合したテックテイメント(Tech-tainment)により、ファン体験の範囲を拡大中です。さらには登録者約6,900万人(2023年5月末時点)のグローバルファンダムライブプラットフォームのWeverseは、コミュニティ、メディア、コマース機能により、ファンの活動のすべてを網羅するスーパーアプリ(Super App)に進化しています。

こうした3つの成長軸が昨年、売上高で1兆7,762億ウォン、営業利益では2,369億ウォンを生み出しました。

このようにHYBEは、日々拡張していく市場での影響力を認識し、我々の事業活動がエンターテインメント産業の成長に貢献しているという責任感を持ち、環境、社会、ガバナンスの領域で以下のような改善策に重点的に取り組んでいます。

HYBEは、昨年からCO₂排出量の削減に向けた努力の一環として、製品の素材を環境に配慮したものに変更しました。今年はエコレジットプロジェクトでバングラデシュにマングローブ林を育成し、地域住民の自立をサポートする計画です。社会的責任という面では、技術革新をもとにファン体験を改善・拡大し、アーティストと従業員を含む共同体とのコミュニケーションの輪を広めるための活動をしています。そして何よりもHYBEは、グローバルサステナビリティ経営基準に匹敵する健全なガバナンスを維持し、これを強化していきます。

HYBEはこれからもエンターテインメント分野がサステナブルな産業であることを証明していきます。そして実質的な成果とサステナビリティレポートで透明性の高い報告を行うことをお約束します。これからもHYBEにより一層のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

HYBE代表取締役(CEO)

パク・ジウォン(Jiwon Park)

ESG委員会のメッセージ

業の役割は、企業の利益創出以外にも、共存共栄、社会的責任、環境保全など多様な分野に拡大しています。HYBEは責任を果たす企業として、エンターテインメント産業のサステナビリティに向けさらに広い領域に役割を拡大すべく、2022年定期取締役会決議によりESG委員会を立ち上げ、サステナビリティ経営のための方向性と戦略策定に努めています。

HYBEらしいサステナビリティ経営を実践するため、「サステナブルなエンターテインメント」というサステナビリティ経営ビジョンステートメントを策定しました。これをもとに、会社の持続可能な成長のみならず、ファンを含む重要な利害関係者のサステナブルな楽しみを追求し、エンターテインメント業界のサステナビリティを拡大する役割を担っていきます。

「サステナブルなエンターテインメント」に向けた環境、社会、ガバナンスというそれぞれの領域におけるHYBEらしい方向性を確立し、各領域で有意義かつサステナブルな価値を生み出していきます。

「Think Forward for Fan's Lifestyle」

サステナブルなエンターテインメントの実現に向けHYBEは、ファン体験の幅を広げ、顧客の楽しみと環境に配慮した選択が両立し得る方法を模索していきます。CO₂排出量の削減のための取り組みとして、昨年6月から本格的に環境配慮型素材を使用したアルバム、公式グッズ、映像出版物を製作しており、環境財団とMOUを締結し、バングラデシュにエコビレッジをつくるための造林プロジェクトにも着手しました。さらには、温室効果ガスの排出量算定体系の構築や廃棄物の排出量測定と分析を通し、気候変動問題への取り組みに貢献できる様々な方法を模索しています。

「Create Possibilities with the Community」

サステナブルなエンターテインメントを創り出す動力は、音楽とコンテンツの価値を理解する共同体の成長から始まります。HYBEは、共同体のために社会的価値の実践に取り組みます。内部の利害関係者であるアーティストと従業員との円滑なコミュニケーションや多様な制度の導入はもちろん、外部の利害関係者であるファン、パートナー企業、株主、地域社会などの多様なニーズに耳を傾けています。HYBEが貢献できるイシューに関して持続可能なHYBEの共同体を築き上げるため、多方面での取り組みを続けていきます。

「Lead Industries by the Standard」

HYBEは、エンターテインメント産業において信頼できる企業のスタンダードとなるべく、健全で透明性の高いガバナンスを構築してきました。今後もさらにこれを強化していきます。

ESG委員会は強い責任感と専門性をもとに、今後もHYBEがサステナビリティ経営を実践できるよう積極的に管理監督し、成果を検討してまいります。利害関係者との信頼関係のもと、HYBEがエンターテインメント業界の持続可能性において「HYBEらしい」役割を担っていきけるよう努力してまいります。より発展したサステナビリティ経営を目指すHYBEに今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HYBE ESG委員会

01

WHO WE ARE

Contents

- 8 **Company Overview**
- 9 **History**
- 10 **Financial Overview**
- 11 **Business Structure**
- 12 **Labels**
- 14 **Solutions**
- 15 **Platforms**
- 16 **Artists**
- 24 **Awards**

COMPANY OVERVIEW

2005年、Big Hit Entertainmentとして始まったHYBEは、レーベル・ソリューション・プラットフォームの事業構造および韓国、日本、アメリカの主要拠点にHYBE、HYBE JAPAN、HYBE AMERICAの3大本社体制を構築し、グローバル・エンターテインメント・プラットフォーム企業として発展してきました。

会社情報

会社名

株式会社HYBE

設立

2005年2月

代表取締役

パク・ジウォン

本社所在地

- 韓国: ソウル市龍山区漢江大路42
- 米国: 2121 Avenue of the Stars, Los Angeles, CA 90067
- 日本: 東京都港区芝大門2-2-11泉芝大門ビル2F

事業領域

アーティストマネジメント代行、公演企画、卸・小売業、ライセンス業など

従業員数

1,393人

主要事業の現況

▶ HYBE

▶ HYBE AMERICA

▶ HYBE JAPAN

Labels

BIGHIT MUSIC	HYBE LABELS JAPAN
BELIFT LAB	NAECO
SOURCE MUSIC	BIG MACHINE LABEL GROUP
PLEDIS Entertainment	HYBE X Geffen Records
KOZ ENTERTAINMENT	QC MUSIC
ADOR	

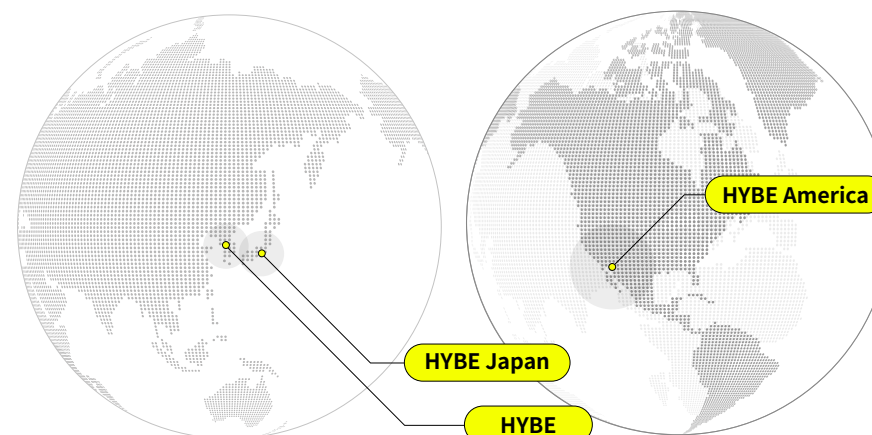
Solutions

HYBE 360	HYBE OSB
HYBE MEDIA STUDIO	Supertone
HYBE IPX	BINARY KOREA
HYBE IM	Scooter Braun Projects

Platforms

Weverse Company	Weverse America
Weverse Japan	

グローバルネットワーク



HYBE

ソウル市龍山区漢江大路42 龍山オフィス

日本

東京都港区芝大門2-2-11泉芝大門ビル2F

米国

2121 Avenue of the Stars, Los Angeles, CA 90067

HISTORY

HYBEは2005年の設立以来、持続的な変化と発展を通じ持続的な変化と発展を通じグローバル・エンターテインメント・プラットフォームとしての地位を高めてきました。

<p>Chapter 1. 2005~2018</p>	<p>Chapter 2. 2018~2021</p>	<p>Chapter 3. 2021~現在</p>
<p>初期 Big Hit Entertainment</p>	<p>レーベル・ソリューション・プラットフォーム事業構造の構築</p>	<p>グローバル・エンターテインメント・プラットフォーム企業として跳躍</p>
<p>2005. 2. Big Hit Entertainment設立</p>	<p>2018. 7. beNX(現:Weverse Company)設立</p>	<p>2021. 2. ユニバーサルミュージックグループ(UNIVERSAL MUSIC GROUP)傘下のGeffen Recordsと共同レーベル設立 (HYBE UNIVERSAL)</p>
<p>2017. 9. Big Hit Entertainment Japan (現:HYBE JAPAN)設立</p>	<p>2018. 9. BELIFT LAB設立</p>	<p>2021. 3. HYBEに社名変更</p>
	<p>2019. 7. SOURCE MUSIC買収</p>	<p>2021. 3. HYBE OSB設立</p>
	<p>2019. 10. Big Hit Three Sixty(現:HYBE 360)およびBig Hit IP(現:HYBE IPX)設立</p>	<p>2021. 4. 米総合メディア企業のイサカ・ホールディングス(Ithaca Holdings)買収</p>
	<p>2020. 5. PLEDIS Entertainment買収</p>	<p>2021. 7. HYBE IM設立</p>
	<p>2020. 10. 有価証券市場(KOSPI)上場</p>	<p>2021. 11. ADORレーベル設立</p>
	<p>2020. 11. KOZ ENTERTAINMENT買収</p>	<p>2022. 1. DumanuとNFT事業に関する合弁会社LEWELS設立</p>
		<p>2022. 6. Weverse Japan設立</p>
		<p>2022. 7. Weverse America設立</p>
		<p>2022. 7. BINARY KOREA設立</p>
		<p>2022. 7. HYBE ESG委員会設立</p>
		<p>2022. 12. NAECO設立</p>
		<p>2022. 12. HYBE MEDIA STUDIO設立</p>
		<p>2023. 1. AIオーディオ企業のSupertone買収</p>
		<p>2023. 2. 米ヒップホップレーベルのQC Media Holdings買収</p>

FINANCIAL OVERVIEW

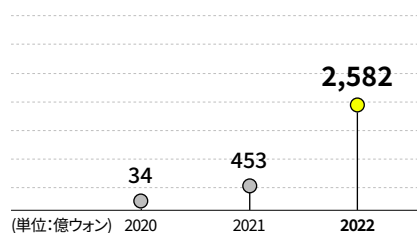
HYBEの事業領域は公演、音盤および音源、公式グッズおよびライセンス、コンテンツおよびマネジメントなどで構成されています。

FY22財務情報	
連結売上高	1兆 7,762億ウォン
連結営業利益	2,369億ウォン
連結総資産	4兆 8,704億ウォン

公演

HYBEはワールドツアーを企画、演出、運営しています。できる限り多くのファンが快適に公演を楽しめるよう、ファン体験の改善に日々努力しています。

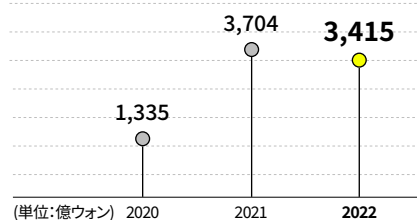
売上高



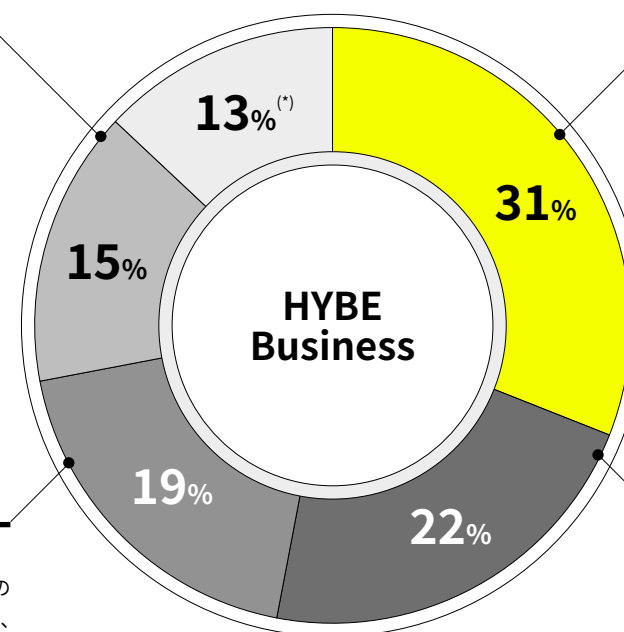
コンテンツおよびマネジメント

HYBEはオリジナル・コンテンツの企画力と社内外の専門能力によりドキュメンタリー、バラエティ、映画、ゲーム、ウェブ漫画など多様なコンテンツを制作しています。

売上高



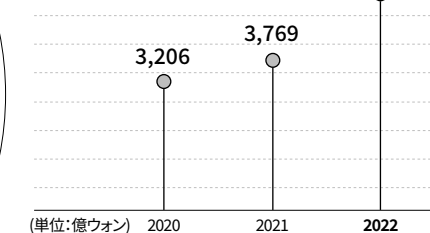
(*) その他の売上高は広告、出演料収益およびファンクラブ収益などを含みます。



音盤および音源

HYBEはマルチレーベルの様々なアーティストと実力を持った社内外のプロデューサーにより良質な音楽をグローバルなファンに届けています。

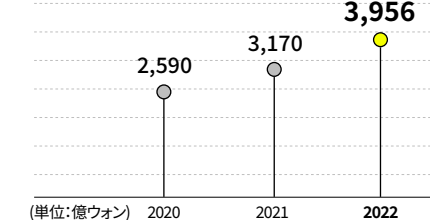
売上高



公式グッズおよびライセンス

HYBEはアーティストIPを活用した様々な公式グッズとライセンス商品を提供しています。

売上高









BUSINESS STRUCTURE

HYBEは3大事業領域(レーベル・ソリューション・プラットフォーム)を通してグローバル音楽産業に革新を生み出しています。



LABELS








マルチレーベル体制のもと各レーベルは独立的かつ独創的な環境で多様なコンテンツを制作します。

KOREA		
BIGHIT MUSIC	BELIFT LAB	SOURCE MUSIC
 <p>BIGHIT MUSICは、音楽に対する信念、ファンからの共感と支持を土台に常に新しい道を開拓するレーベルです。BIGHIT MUSICは、これまでになかった独自の方法で時代を反映したシンボリックな音楽を生み出し、世界中のファンとコミュニケーションするための努力を惜しみません。LEE HYUN、BTS、TOMORROW X TOGETHERが所属しています。</p>	 <p>BELIFT LABは、グローバル市場をターゲットとしたアイドルグループの養成を通じてK-POPのメインジャンル化を牽引し、レーベルビジネスを再定義し革新するために作られました。ENHYPENが所属しています。</p>	 <p>SOURCE MUSICは、「理由と根拠がある音楽は聴く人に感動を与える」という価値を追求するガールズグループ専門のレーベルです。良質なコンテンツを制作することでファンの幸せなライフスタイルを応援し、グローバル音楽産業をリードすることを目標としています。LE SSERAFIMが所属しています。</p>
PLEDIS Entertainment	KOZ ENTERTAINMENT	ADOR
 <p>PLEDIS Entertainmentは、人材を集め最高のスターに育て上げるという目標を掲げるレーベルです。数年間培われたノウハウとネットワークをもとに、大衆文化の領域を拡大すべく多様なプロジェクトに挑戦しています。NANA、BUMZU、BAEKHO(KANG DONG HO)、HWANG MIN HYUN、SEVENTEEN、fromis_9などが所属しています。</p>	 <p>KOZ ENTERTAINMENTは、オリジナリティをもとに時代の流れをリードする独創性を生み出すことを目標としています。多様なニーズを満たす音楽を作り、新しい解釈を試み、パラダイムを変えていきます。ZICO、Dwnn、BOYNEXTDOORが所属しています。</p>	 <p>ADORは、新しい挑戦を恐れないレーベルです。アーティストのブランディングにより差別化されたイメージを大衆に表現しています。NewJeansが所属しています。</p>

JAPAN ○ ● ○	
HYBE LABELS JAPAN	NAECO
<p>HYBE LABELS JAPAN</p> <p>HYBELABELS JAPANは、音楽産業に革新をもたらし、音楽を愛するファンのライフスタイルを豊かにするコンテンツ制作企業です。日本現地での新人発掘および開発、マネジメント、音盤制作などを行います。&TEAMが所属しています。</p>	<p>NAECO</p> <p>NAECOは、大洋を意味する「OCEAN」の綴りを逆に並び替え、波を連想させる名前です。水流がうねる様子から持続的な変化を追求する事業の方向性を彷彿とさせ、最終的には大洋のようにグローバルな市場を開拓していくという意味が込められています。プロダクションとしてアーティストの活動全般を企画すると同時に、レーベルとして完成度の高いコンテンツを制作する機能も併せ持っています。幅広いグローバルインフラを通じて所属アーティストの海外進出をサポートします。平手友梨奈が所属しています。</p>
AMERICA ○ ○ ●	
BIG MACHINE LABEL GROUP	HYBE X Geffen Records
<p></p> <p>BIG MACHINE LABEL GROUPは、アーティストの演奏権使用料の権利を守るため、地上波ラジオと初めて提携を結び、アーティスト、作曲家、出版社およびレコード会社の権利保護に取り組むアメリカのレーベルです。BIG MACHINE LABEL GROUPは、BMLG Records、The Valory Music Co.、BMLG Records、Big Machine / John Varvatos Recordsおよび出版社Big Machine Musicで構成されています。自社のデジタルラジオ放送局も運営しています。また、音楽関連の非営利団体支援に向けMusic Has Value Fundを発足させました。スーパースターのティム・マッグロウ(Tim McGraw)、ロリダ・ジョージア・ライン(Florida Georgia Line)、トーマス・レット(Thomas Rhett)、シェリル・クロウ(Sheryl Crow)、ラスカル・フラッツ(Rascal Flatts)、ブラントリー・ギルバート(Brantley Gilbert)、レディ・A(Lady A)、ジェニファー・ネトルズ(Jennifer Nettles)、ジャスティン・ムーア(Justin Moore)、イーライ・ヤング・バンド(Eli Young Band)、ブルット・ヤング(Brett Young)、ミッドランド(Midland)、カーリー・ピアース(Carly Pearce)、ライリー・グリーン(Riley Green)、アロン・ルイス(Aaron Lewis)、バッドフラワー(Badflower)、アヴェニュー・ビート(Avenue Beat)をはじめ、『The Voice』の優勝者であるダニエル・ブラッドベリー(Danielle Bradbery)が所属しています。所属アーティストはグラミー賞、CMAアワード、ACMアワード、アメリカン・ミュージック・アワード(AMA)、CMTミュージックアワード、ティーンチョイスアワード、MTV、Billboard、ピープルズ・チョイス・アワードとブリット・アワードを複数回受賞しています。</p>	<p></p> <p>HYBE AMERICAとゲフィンレコードのジョイントベンチャーであり、アメリカのレコード会社と韓国を代表するエンターテインメント企業との間で設立した歴史的なパートナーシップです。世界的に有名なK-POP新人開発システムを通じて世界初のアメリカ拠点のガールズグループを結成することが目標です。HYBEの国際競争力と専門知識を生かし、新人発掘、トレーニングおよび開発をリードしています。ファンコンテンツ制作プロセスおよび世界中のファンの参加をリードしつつ、ゲフィンレコードの幅広い産業ネットワークとパートナーマネジメントによるシナジー効果を創出します。これらを動員し、国、文化、芸術的なボーダーを越えたグローバルなガールズグループのプロデュースを目指しています。</p>
	QC Music
	<p></p> <p>QC Musicは、2013年3月、COOのケルビン・コーチ・ケー(Kelvin Coach K)とCEOのピエール・ピー(Pierre P)が設立したアメリカヒップホップレーベルです。アルバム発売とマネジメントで成長してきた一方、アーティストの発掘や育成も行ってきました。トレンド分析ツールを利用し、アーティストに最適な環境を提供します。ミーゴス(Migos)、Quavo、Lil Baby、シティ・ガールズ(City Girls)などが所属しています。</p>

SOLUTIONS

アーティストIPを基盤とした公演・映像・コンテンツ・ゲームなどの多様な事業を展開しています。

HYBE 360	HYBE MEDIA STUDIO	
 <p>HYBE 360は、グローバルコンサート、ファンミーティングなど完成度の高いオンライン公演やファン体験拡張のためのコンテンツ・サービスを企画、制作、運営しています。また、アーティストの音盤・音源の韓国国内および海外での流通、プロモーションを担当しています。</p>	 <p>HYBE MEDIA STUDIOは、ドキュメンタリー、バラエティ、映画などにHYBEレーベル所属アーティストの多彩な魅力と楽しさをファンに届けるコンテンツを提供しています。グローバルファンのアクセシビリティ向上のため、ファンプラットフォームを越え、韓国や海外のOTT、TV、映画館などにコンテンツを配給しています。</p>	
HYBE IPX	HYBE IM	
 <p>HYBE IPXは、アーティストIPを活用しファンに新たな楽しさと感動を提供する多様な公式商品を生産し、Weverse、ポップアップストアなどのオンライン・オフラインチャネルで流通しています。広告とライセンスを含むブランド提携、公演と連携したテーマパークとしての空間事業の拡張を通し、グローバルファンがアーティストと多様な方法で日常を共有し、貴重な経験を重ねていけるよう努力しています。</p>	 <p>HYBE IMIは、ゲーム開発およびパブリッシング事業を通し、より多彩なエンターテインメントを楽しみ、世界中のユーザーが交流できるようサポートします。HYBE IMが保有する先端インタラクティブメディアテクノロジーとHYBEの音楽とアーティスト、エンターテインメント要素を組み合わせシナジー効果を生み出し、新しい視点と経験を拡張できる多様なコンテンツとサービスを作り出しています。</p>	
HYBE OSB	Supertone	BINARY KOREA
 <p>HYBE OSBとは、HYBEが制作したオリジナルストーリーIPを意味します。オリジナルストーリーIPを通し、アーティストの音楽的なメッセージとの関連性を強化することができ、さらにはこのストーリーを多様なジャンルとフォーマットへと拡張することで無限の可能性を発揮します。HYBE OSBでは、その最初の一歩としてNAVER WEBTOONのプラットフォームを通じてウェブ漫画とウェブ小説を公開しました。</p>	 <p>Supertoneは、没入感の高いコンテンツに向けたAIオーディオ技術を研究しています。SupertoneのAI基盤オーディオソリューションは、創作方法のパラダイムを変え、ファンに新しい体験を提供します。年齢、性別、言語、地域を超え、創作者やアーティストがファンをより身近に感じられる方法を模索しています。</p>	 <p>BINARY KOREAは、コンテンツとテクノロジーの融合を通し、これまでになかった楽しさを生み出すことを目的としたHYBEの先行研究開発法人です。BINARY KOREAはWeb3やブロックチェーンなどの新技術でHYBEの多様なコンテンツ資産とユーザー体験をデジタル化し、シナジー効果を強化する事業を展開していきます。</p>

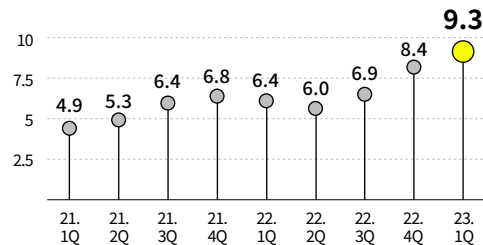
PLATFORMS

Weverse Companyは、ファン体験の拡張に向けたIT技術でファンダム文化に革新をもたらす企業です。ファンダムライフに必要なあらゆるサービスをWeverseプラットフォームで便利に利用できるようサポートしており、ファンダム文化をリードするNo.1グローバルファンダムライフプラットフォームとしての地位を確立しました。

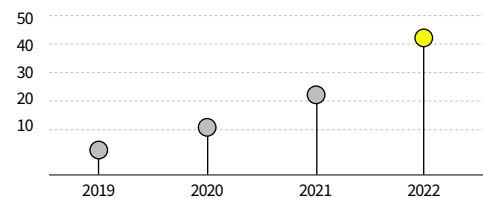
Weverse, Official for All Fans

ファンの活動で生じる不便な点を改善し、アーティストとファンとの親密なコミュニケーションを可能にするプラットフォームサービスです。アーティストとのリアルタイムでのコミュニケーション、オンラインコンサート、ストリーミング配信、コンテンツ視聴、ショッピングなど、コミュニティとコンテンツ、コマース機能はもちろん、アプリ内の公式決済方法「Jelly」、アーティストとのプライベートチャットサービス「Weverse DM」などの新規サービスによりあらゆるファンの活動を1つのプラットフォーム環境で楽しめるようサポートしています。

MAU (単位:百万名)



年度別新規参入アーティスト数



Weverse Shop (Weverse Shop, All Things for Fans)

Weverse Shopは、グローバルファンのための公式コマースです。Weverseにコミュニティを開設しているアーティストの公式アルバムや商品、公演チケット、Weverse Shop限定商品などを販売します。Weverseの会員IDでWeverseアカウントと連携して利用することができ、国際配送サービスも提供しています。

Weverse Albums

「Weverse Albums」は、これまでのようなフィジカルアルバム(CD)購入時と同じ体験がオンライン上でも楽しめるサービスです。ファンはWeverseとは別のWeverse AlbumsというアプリでQRコードを読み取り、コンテンツのダウンロード、アルバム再生、フォトブックの確認などといった、音楽をはじめとしたWeverse Albumsアプリで楽しめる様々なデジタルコンテンツを体験できます。



Weverse LIVE

ファン体験拡張サービスの高度化の一環として、2022年7月にV LIVEとの統合を皮切りに開始したWeverse LIVEは、「リアルタイム配信機能」によりファンとアーティストの幅広いコミュニケーションをサポートします。アーティストは誕生日やアルバム発売、コンサートの感想などを自らファンと共有し、ファンはリアルタイム配信中にライブチャットに参加でき、「いいね」のアクションを通してさらに実在感のあるコミュニケーションを体験できます。

Weverse Magazine

Weverse Magazineは、Weverseの編集チームが執筆、キュレーティング、運営を行うファン向けのデジタルウェブ・アプリニュースサービスです。Weverse Magazineは、Weverseにコミュニティを開設しているアーティストのインタビューや音楽レビュー、アーティストがファンのために選んだ音楽プレイリストなどのコンテンツを扱っており、世界中のファンに届けるため韓国語、英語、日本語に対応しています。

ARTISTS

HYBE所属のアーティストはK-POPを世界中に広めるため韓国や海外で精力的に活動しています。

KOREA

BIGHIT MUSIC



LEE HYUN Debut | 2007. 8. 27.

2007年、MBCオーディション番組『ショーバイバル』で優勝に輝き、男女混合グループ8eightのメインボーカルとしてデビューしました。8eightのメンバーとして活動するかたわら、2AM出身のイ・チャンミンと結成したプロジェクトグループである男性デュオのHOMMEやソロ活動を通し、韓国一の感性的なボーカリストとして成長しました。その後、自作曲「Your Lips」、「Will There Be a Next Time」などを発表し、シンガーソングライターとしての地位を確立してきました。HYBE IMとBIGHIT MUSICのタイアップ事業である音楽および技術融合プロジェクトにて2023年5月からはMIDNATTとしても活動中です。

BTS Debut | 2013. 6. 13.

2013年にデビューし、韓国や海外で新人賞を総なめにしたBTSは、韓国を代表するトップクラスのボーイズグループです。世界中にBTS旋風を巻き起こし、「21世紀のポップ・アイコン」と呼ばれています。米国のビルボード、英国のオフィシャルチャート、日本のオリコンチャートをはじめ、iTunes、Spotify、Apple Musicなどの世界有数のチャートで1位にランクインし、音盤の販売量、ミュージックビデオの再生回数、SNSの指数などでも連日新記録を更新しています。また、「第63回グラミー賞授賞式」で韓国歌手として初めて単独ステージを披露し、「ビルボード・ミュージック・アワード」と「アメリカン・ミュージック・アワード」、そして「グラミー賞授賞式」まで、米国を代表する音楽関連の3大授賞式でパフォーマンスを披露するという記録を残しました。BTSはスタジアムツアーを開催し、世界中のコンサート市場でもグローバルアーティストとしての地位を築いており、ユニセフとの共同事業であるLOVE MYSELFキャンペーン、国連総会でのスピーチ、米国ホワイトハウスへ招待されるなど、音楽という領域を超え、善良な影響力を広めています。



TOMORROW X TOGETHER Debut | 2019. 3. 4.

2019年のデビューと同時に世界中の音楽市場に旋風を巻き起こしたTOMORROW X TOGETHERは、トレンド的な音楽とパフォーマンスをもとにZ世代を代表するアーティストとしての地位を確立してきました。TOMORROW X TOGETHERはアルバムを発表するたびに新記録を達成し、主要なグローバルチャートで目を見張る成果を収めてきました。特に、5thミニアルバム『The Name Chapter: TEMPTATION』が米国のビルボード200で1位を記録、その後3週連続TOP10を維持、BTSに続く男性K-POPアーティストとしては初めて記録を更新しました。TOMORROW X TOGETHERは、米国シカゴで開催される大規模な音楽フェスティバル「ロラパルーザ(Lollapalooza)」に2年連続(2022~2023)参加し、2023年にはK-POPグループとして初めてヘッドライナーとして招待されました。



KOREA

PLEDIS Entertainment



NANA Debut | 2009. 11. 25.

NANAはAFTERSCHOOLとORANGE CAMELのメンバーとして活動し、多様な魅力で多くのファンを獲得しました。歌手活動で成功した後、韓国のオンスタイルのライフスタイル番組『スタイルログ』や日本のテレビ東京『Tokyo Brandnew Girls』、中国の上海東方TV『女神のファッション』など、日中韓を越えてNANAだけの魅力を発揮しました。また、ドラマ『グッドワイフ〜彼女の決断〜』での演技力が認められ、女優としての才能にも注目が集まり、映画『スウィングラーズ』でスクリーンデビューを果たしました。その後も多様なドラマに主演するなど、優れた演技者として認められています。ドラマ、映画、広告などで活躍するNANAは、人々から憧れの存在として根強い人気を得ています。

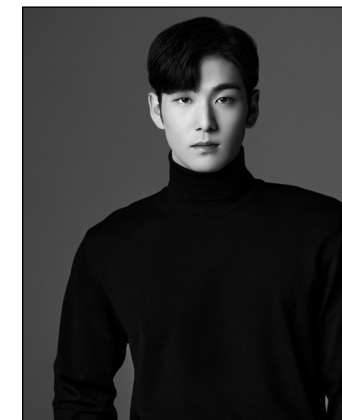
BUMZU Debut | 2011. 6. 14.

BUMZUは2012年、Mnetオーディション番組『スーパースターK4』でTOP12に入り、実力派シンガーソングライターとして脚光を浴びました。歌唱力と胸に響く濃い声色でボーカリストとしてはもちろん、人気アイドルグループのNU'EST、SEVENTEENなどのプロデューサーとしても活発に活動しています。2017年に発売した「Forever Young」、「Once」では自ら作詞作曲、そして編曲までこなし、彼だけの特色が光る音楽を発表しました。ヒップホップ、ロック、EDMなど、ジャンルを問わず常に最高の結果を生み出しています。



BAEKHO Debut | 2012. 3. 15.

BAEKHOはプロデュース、演技、ボーカルに至るまで、BAEKHOだけのカラーでファンを魅了しています。卓越したプロデュース能力で数多くの名曲を制作してきたBAEKHOは、ミュージカル『タイヨウのうた』、『アルターボーイズ』、『イコール』など数々の公演に立て続けに出演し、次世代ミュージカルスターとして注目を集めました。安定した歌唱力と磨きのかかった演技力でミュージカルデビューに成功したBAEKHOは、1stミニアルバム『Absolute Zero』を発売、ソロ歌手としての地位を確立したほか、多数のサウンドトラックに参加するなど頭角を現しています。



KOREA

PLEDIS Entertainment



HWANG MIN HYUN Debut | 2012. 3. 15.

甘いボイスと 트렌ディなビジュアルを併せ持つ HWANG MIN HYUN は、歌手活動と演技活動を並行して行うなど、ジャンルを超えて無限の輝かしい活躍を見せています。2012年3月、歌謡界にデビュー後、グループ NU'EST と Wanna One での活動に続き、ミュージカル『マリー・アントワネット』をはじめ、ドラマ『恋はオン♡エアー中!〜Live on〜』にも初出演し、演技力の高さが認められ、多くのファンを獲得しました。HWANG MIN HYUN はドラマ『還魂』に出演するなど、次世代を代表する演技者としての地位を確実なものにしています。2023年2月1日には1stソロアルバム(EP)の『Truth or Lie』を発表し、歌をはじめ多方面に活動の舞台を広げています。

SEVENTEEN Debut | 2015. 5. 26.

SEVENTEENは13名のメンバー、3つのユニット(ヒップホップチーム、ボーカルチーム、パフォーマンスチーム)が集まり、1つのチームを成す「13+3+1=17」を意味する PLEDIS Entertainment 所属の超大型グループです。2015年のデビューと同時にスーパーキーとして浮上した SEVENTEEN は、「自主制作アーティスト」というタイトルにふさわしく、世界レベルのキレイのいいダンスとチームワークで K-POP 界の歴史に新たな1ページを刻んでおり、最高のパフォーマンスでグローバルファンダムを形成しています。SEVENTEEN の10thミニアルバム『FML』は初動売上が455万枚という歴代最高記録かつ K-POP としての新記録を更新し、ビルボード200では2位に輝きました。



fromis_9 Debut | 2018. 1. 24.

2017年11月、プレデビューシングルタイトル曲「Glass Shoes」で世界中の音楽ファンに強烈なインパクトを与えた fromis_9 は、2018年1月、1stミニアルバム『To. Heart』で歌謡界に正式にデビューし、K-POP の期待の星として浮上しました。優秀なビジュアルとフレッシュさはもちろん、メンバー全員の音楽活動への取り組みが精力的で、真剣な思いが込められた音楽でファンにポジティブなエネルギーを拡大しています。それぞれ独自の個性を持ちつつ、1つになった fromis_9 は、アルバム活動だけでなくサウンドトラック、バラエティ番組、ドラマなどの多様な分野でその魅力を見せており、日々拡大していく無限の可能性を証明しています。2023年6月には1stフルアルバム『Unlock My World』を発表し、さらに幅広い音楽性で無限の「階段式の成長」を見せています。fromis_9 は、2ndシングルタイトル曲「WEGO」と4thミニアルバムのタイトル曲「DM」が「ビルボードが選定する今年のK-POP」に選定され、2ndシングル「9 WAY TICKET」、4thミニアルバム『Midnight Guest』、5thミニアルバム『from our Memento Box』の3作品連続でオリコンデイリーチャート1位を記録しました。



KOREA

KOZ ENTERTAINMENT

ZICO Debut | 2011. 4. 15.

ZICOは2011年4月、アイドルグループ「Block B」のメンバーとして歌謡界に最初の一步を踏み出しました。2014年、シングル「Tough Cookie」で本格的なソロ活動を開始しました。第2.5世代K-POPアイドルグループ、Block Bのリーダーでもあり、大衆性と芸術性の両方を持ち合わせた男性ソロアーティストとしての成功を果たしました。ZICOは2020年、「Any Song」で年間音源チャート1位にランクインするという底力を見せつけました。2019年、本人のアイデンティティを掲げたKOZ ENTERTAINMENTを自ら設立し、統括プロデューサーとしても活動しています。

**Dvwn** Debut | 2018. 11. 21.

Dvwnは、「夜明けを目覚めさせる」という意味のWaking the dawnという表現に着目し、DAWNのAを逆さにしたものをアーティスト名としました。シンガーソングライターとしてSoundCloud時代から活動してきた数々の歌で世間に彼の認知度を高めています。プロデューサー兼アーティストのZICOにスカウトされたDvwnは、デジタルシングル「lost」を含め、これまで発表したすべての曲の作詞、作曲に参加し、実力派シンガーソングライターとしての才能が認められました。Dvwnは、彼独自の感性を込めた歌で音楽ファンからの熱い支持を得ています。

BOYNEXTDOOR Debut | 2023. 5. 30.

BOYNEXTDOORは、KOZ ENTERTAINMENTが4年かけて準備したボーイズグループです。「隣の家の少年たち」という意味のように、着飾らず、気張らずに歩み寄るという意味が込められています。同世代が共感できる日常の出来事を音楽を通してありのままに表現し、聞き手との共感の形成を試みています。BOYNEXTDOORは、2023年5月30日にデビューシングル「WHO!」を発表し、デビューシングルからトリプルタイトル曲を発表しました。2023年にデビューした新人アーティストの中で最高成績を収めており、歴代K-POPボーイズグループのデビュー音盤の初動販売記録で5位を記録しました。BOYNEXTDOORはステージで愉快なパフォーマンスを披露し、K-POP界で新鮮であると反響を呼んでいます。



KOREA

SOURCE MUSIC



LE SSERAFIM Debut | 2022. 5. 2.

LE SSERAFIMは、KIM CHAEWON、SAKURA、HUH YUNJIN、KAZUHA、HONG EUNCHAEで構成される多国籍メンバー5人組のガールズグループです。彼女たちはHYBEとSOURCE MUSICが協力してローンチした最初のガールズグループで、音楽を通してナンバーワンを目指し疾走するという大胆さを表現しています。チーム名の「LE SSERAFIM」は、「IM FEARLESS」の文字を入れ替え、世間の視線に動じることなく恐れを克服して前に進むという強い意志が込められています。LE SSERAFIMは、1stフルアルバム『UNFORGIVEN』でデビュー後のK-POPガールズグループとしては史上最短期間で初動ミリオンセラーを果たし、ビルボードのメインアルバムチャートであるビルボード200で第4世代K-POPガールズグループの中で最高の成績を収めました。

BELIFT LAB

ENHYPEN Debut | 2020. 11. 30.

ENHYPENはCJ ENMとHYBEの合併会社であるBELIFT LABに所属しており、JUNGWON、HEESEUNG、JAY、JAKE、SUNGHOON、SUNOO、NI-KIの多国籍メンバー7人で構成されたボーイズグループです。チーム名の「ENHYPEN」は、複数の言葉を繋げる記号「ハイフン」と同じく、お互いに異なる環境で異なる人生を送ってきた7人の少年たちが「ひとつにつながり、お互いを「発見」し、共に「成長」するという意味を持っています。そして音楽を通して人と人、世界と世界を繋ぎたいという抱負が込められています。

ENHYPENは2ndミニアルバム『BORDER: CARNIVAL』を皮切りに、韓国国内で発売した5つのアルバムが連続でビルボード200にランクインしました。また、2ndミニアルバム『BORDER: CARNIVAL』(18位)、1stフルアルバム『DIMENSION: DILEMMA』(11位)、1stフルアルバムのリパッケージアルバム『DIMENSION: ANSWER』(14位)、『MANIFESTO: DAY 1』(6位)、4thミニアルバム『DARK BLOOD』(4位)などと順風満帆な成長を見せており、グローバルな影響力を拡大させています。2023年5月に発表した4thミニアルバム『DARK BLOOD』は、1週目に132万枚という販売量を記録し、ENHYPENとしての最高記録を更新しました。またワールドツアー「MANIFESTO」では、第4世代K-POPグループの中で最短期間でドーム公演を果たしました。



ADOR



NewJeans Debut | 2022. 7. 22.

NewJeansは、MINJI、HANNI、DANIELLE、HAERIN、HYEINで構成された5人組グループです。NewJeansは毎日つい手にとってしまい、いつ着ても飽きないジーンズ(Jean)のように、時代のアイコンになるという抱負と「New Genes」になるという覚悟がチーム名に込められています。2022年7月22日にデビューした彼女たちは、純粋でナチュラルな魅力、エネルギーにあふれたクールなパフォーマンス、そして何よりも「質のいい音楽」を前面に打ち出しており、K-POPの新しいパラダイムを提示したと評価されています。NewJeansはデビュー曲「Attention」と「Hype Boy」で一気に韓国や海外チャートを席巻し、2022年の主要授賞式では新人賞8冠を含めた13個のトロフィーを獲得しました。NewJeansのシンドローム的な人気は、2022年12月に先行公開された「Ditto」と2023年1月に発売されたシングルアルバム「OMG」へと続きました。NewJeansは、韓国最大音源サイトのMelonで歴代最長期間1位を記録したことにはじまり、米国のビルボード、英国のオフィシャルチャート、Spotify、iTunes、日本のオリコンなど、世界の主要チャートで優秀な成績を収め、絶大な人気を証明しました。デビュー半年でビルボードメインチャートのHOT100にランクインし、6週連続でその名をとどろかせたことにはじまり、デビュー曲「Hype Boy」がビルボードのグローバル200に32週連続でチャートインし、NewJeansはこの部門でK-POP女性アーティストとして最長期間新記録を達成しました。

JAPAN

HYBE LABELS JAPAN

&TEAM Debut | 2022. 12. 7.

&TEAMはHYBE LABELS JAPAN所属のグローバルグループで、EJ、FUMA、K、NICHOLAS、YUMA、JO、HARUA、TAKI、MAKIの9人で構成されています。チーム名には「それぞれ異なる個性を持った9人が1つのチームになり多様な世界を繋げる」という意味が込められています。9人のメンバーが「結束の力」をもとに、ポジティブなエネルギーを発して1つの目標に向かって活動しています。

2022年12月7日、アルバム『First Howling:ME』でデビューした彼らは、半日で日本iTunesで「トップアルバム」チャート1位を記録し、販売量ではわずか6日で日本オリコン年間ランキング2022アルバム部門で29位にランクインしました。

平手友梨奈 Debut | 2016. 4. 6.

平手友梨奈は、日本のアイドルグループ「欅坂46」でセンターを務めていた経歴があり、2020年の脱退後、ドラマや映画を通して卓越した存在感を見せていました。映画『響 -HIBIKI-』では初の主演を務め、2019年「第42回日本アカデミー賞」で新人俳優賞、「第28回日本映画批評家大賞」では新人女優賞を受賞し、存在感を確実に示すなど、演技の分野においても活躍しています。最近ではドラマ『梨泰院クラス』の日本リメイク版『六本木クラス』の麻宮葵役で熱演を披露しました。2022年12月にHYBE JAPANが設立したNAECOのトップバッターアーティストとして移籍しました。

AMERICA

HYBE AMERICA

**Justin Bieber**

グローバルトップスターのJustin Bieberは、ビルボードチャートで100回ヒットした記録を達成した最年少ソロアーティストであり、デビューと同時にビルボード200アルバムチャートとビルボードHOT100のシングルチャートで1位を獲得した初の男性ソロアーティストです。同じくHYBE AMERICA所属のアーティストであるThe Kid Laroiとコラボした「Stay」で8回目のビルボードHOT100でシングル1位を達成しました。プラチナ認定された大ヒット曲の「Peaches」は、15億回以上ストリーミング再生され、ビルボードHOT100チャートで発売直後に1位を記録しました。世界中で750億回以上ストリーミング再生され、アルバムが7千万枚以上販売されたJustin Bieberは世界ナンバーワンのアーティストです。

AMERICA

HYBE AMERICA



Ariana Grande

Ariana Grandeは、パワフルなボーカルと音域の広さで現代ポップス界で最も魅力的で成功した歌手の一人です。6つのアルバムでプラチナ販売成績を達成し、900億回以上ストリーミング再生され、グラミー賞候補として15回指名されたこともあります。2020年6枚目のスタジオアルバム『Positions』は、発売直後にビルボード200チャートで1位を達成するという成果を収めました。2021年にはビューティーブランドのr.e.m beautyをローンチし、2024年に公開予定のミュージカル映画『Wicked』にグリンダ役で出演する予定です。

The Kid Laroi

The Kid Laroiはオーストラリアのラッパー、歌手、作曲家兼プロデューサーです。ラッパーでありメンターのJuice WRLDとの交友関係を通して人気を獲得し、Juice WRLDがフィーチャリングした「GO」は、ビルボードHOT100チャートで52位を達成しました。2020年のデビューミックステープである『F*CK LOVE』でオーストラリアのARIAチャートで最年少1位のアーティストになるという成果を収めました。2021年にはJustin Bieberとコラボした「Stay」で大成功を収め、この曲はSpotifyで過去10年間の最多再生曲として選定されました。最近ではオンラインゲーム『フォートナイト』とのコラボで期待を集めており、1stシングル「LOVE AGAIN」を発売後、2枚目のフルアルバムを準備しています。



Ava Max

多数の大規模コラボ以外に110億回以上のストリーミング再生回数やRIAAゴールドとプラチナ認定されたAva Maxは、爆発的な歌唱力と独特なハイファッションスタイル、映画音楽においても目を見張る才能を見せており賞賛を得ています。アルバム『Sweet but Psycho』ではRIAAで4x-プラチナ認定を獲得し、大成功を収めました。2023年から始まったワールドツアーでは、初回公演チケットが数分で完売になるという事態も発生しました。

AMERICA

HYBE AMERICA

Lil Baby

Lil Babyはミックステープ『Perfect Timing』でデビューし、2017年以降名声を獲得し始めました。アルバム『Harder Than Ever』では3位を記録し、Drakeがフィーチャリングした「Yes Indeed」はTop10シングルにランクインしました。2018年にGunnaとコラボしたミックステープ『Drip Harder』を発売し、タイトル曲の「Drip Too Hard」はRIAAのダイヤモンドに認定されました。2020年に発売したアルバム『My Turn』に収録された12曲はすべてビルボードHOT100チャートにランクインするという成果を収め、ダブルプラチナ認定されました。2022年にリリースした「It's Only Me」は、発売後1位を記録しました。



Lil Yachty

Lil Yachtyはラッパー兼歌手、作曲家そしてプロデューサーです。2015年のデビューアルバム『Summer Songs』に収録されたシングル曲「One Night」と「Minnesota」で人気を獲得しました。2016年にはDRAMの「Broccoli」とコラボし、グラミー賞候補として指名されました。Lil Yachtyはこれまで5枚のアルバムを発売し、そのうち4枚がビルボード200のトップ20チャートにランクインしました。5枚目のアルバム『Let's Start Here』は、サイケデリック・ロックからインスピレーションを受け制作。2023年に多くの称賛を受け、発売されました。

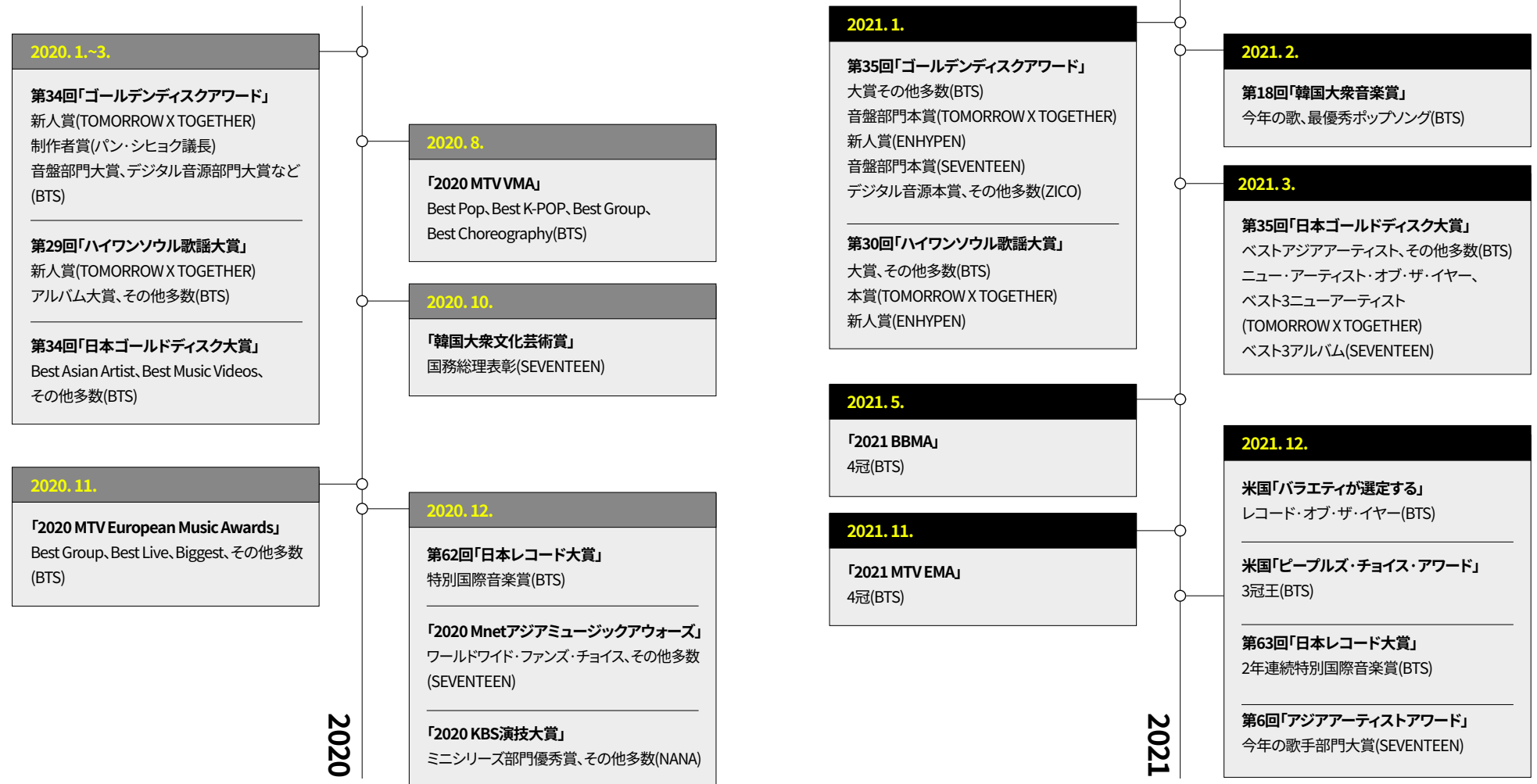
Quavo

Quavoは、世界中のヒップホップシーンで前例のないアイコン的存在です。従兄弟のOffsetと甥のTakeoffと共に2009年、Migosを結成し、DrakeがリミックスしたMigosの「Versace」がヒットしたことで、世界中にその名を知らしめました。2014年にオンラインヒップホップコミュニティの「Complex Music」で「最も影響力のあるラッパー」に選定され、2018年にはDrake、Travis Scott、Kid Cudi、21 Savage、Madonnaなどがフィーチャリングした公式ソロデビューアルバム「Quavo Huncho」が発売されました。



AWARDS

HYBEレーベル所属のアーティストは韓国国内をはじめ、日本、アメリカなどグローバル音楽市場でもその価値が認められています。







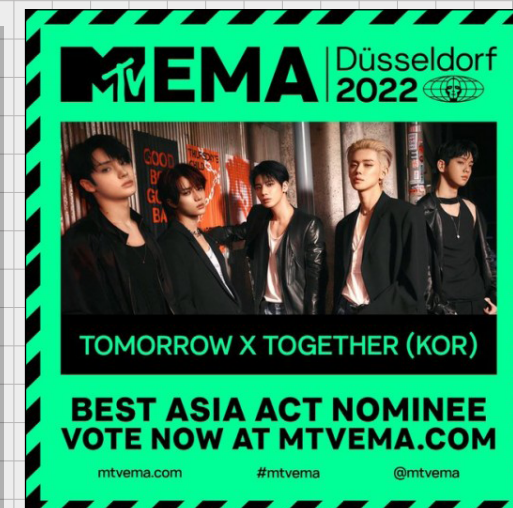
BTS

米国「2022 MTV VMA」最優秀グループ賞



SEVENTEEN、パン・シヒョク議長

米国「LA3C」文化広報大賞共同受賞(2022)



TOMORROW X TOGETHER

米国「2022 MTV EMA (MTV Europe Music Awards)」初受賞



BTS

米国「2022グラミー賞」パフォーマーラインナップに参加(3年連続パフォーマンスに参加)



SEVENTEEN

日「日本レコード大賞」特別国際音楽賞受賞(2022)



TOMORROW X TOGETHER

米国「BandLab NME Awards 2022」ヒーロー・オブ・ザ・イヤー



ENHYPEN

「2022 MAMA AWARDS」ワールドワイドファンズチョイス(本賞)受賞



LE SSERAFIM

「2022 MAMA AWARDS」フェイバリットニューアーティスト賞受賞



NewJeans

「MMA2022」今年の新人・TOP10受賞



ENHYPEN

第36回ゴールデンディスクアワード:音盤部門本賞(2022)



LE SSERAFIM

「2022 AAA」授賞式で新人賞、ベストミュージシャン賞受賞



ZICO

「2022 MAMA AWARDS」グローバルミュージックトレンドリーダー賞

02

OUR APPROACH

Contents

- 29 サステナビリティ経営ビジョン
- 30 サステナビリティ経営体系
- 31 サステナビリティ経営のフレームワーク
- 32 ステークホルダーとのコミュニケーション
- 33 マテリアリティ評価
- 37 サステナビリティ経営ハイライト

主な活動内容

HYBEは「サステナブルなエンターテインメント事業の構築」の実践に向け、サステナビリティ経営ビジョンステートメントを策定し、ESG委員会およびESGチームを設置しました。重要ステークホルダーの観点を考慮し、マテリアリティ評価を実施。10大マテリアルイシューを選定しました。

サステナビリティ経営ビジョン

HYBEはサステナビリティ経営の方向性をステークホルダーと共有し、サステナビリティ経営の目標とゴールを示すビジョンを策定しました。HYBEのサステナビリティ経営ビジョンステートメントには、サステナブルなエンターテインメント産業を構築していくという意志が込められています。

ESGのビジョン

FOR SUSTAINABLE ENTERTAINMENT

持続可能なエンターテインメントのために
エンターテインメントの持続可能な未来を考え、実践します。
HYBEの成長がより楽しいエンターテインメントライフをお届けするだけでなく、産業の変化をも導くようにします。

ESGの目標

THINK FORWARD FOR FAN'S LIFESTYLE

ファンのライフスタイルを豊かにする考えの進歩
未来のファンまでを考慮し、先を見据えた考え方を実践していきます。一度きりのアイデアではなく、日常の一部になれる実践方法を探して経験の幅を広げていきます。

CREATE POSSIBILITIES WITH THE COMMUNITY

みんなとともに作っていくエンターテインメント産業の未来
世界をより楽しい場所にする仕事をします。アーティストとファン、構成員、パートナー企業とともに成長していくことを追求し、未来のための挑戦を支援します。

LEAD INDUSTRIES BY THE STANDARD

エンターテインメント産業の基準になるガバナンス
クリーンで健全なガバナンスをベースとし、エンターテインメント産業の基準を堅固にします。妥協なき原則の適用でエンターテインメント産業の持続可能な未来を証明します。

ゴール

ファンセントリック
(Fan Centric)

合理性
(Rationality)

トレーサビリティ
(Traceability)

持続性
(Sustainability)

オーセンティシティ
(Authenticity)

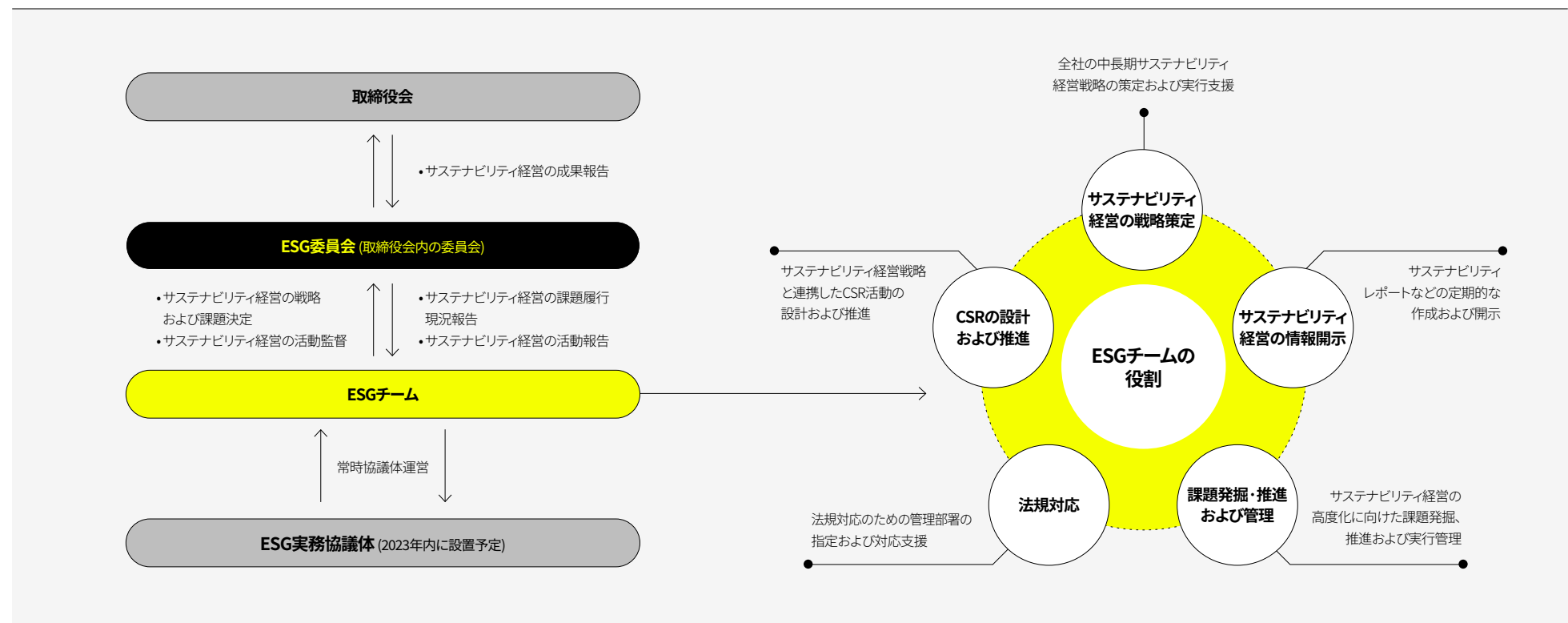
サステナビリティ経営体系

HYBEは2022年にESG委員会、2023年にESGチームを設立しサステナビリティ経営を実践しています。

ESG委員会とESGチーム

ESG委員会は、サステナビリティ経営と関連戦略および主要経営方針事項を管理監督し、成果を検討する役割を担います。ESG委員会は、社内取締役1名と社外取締役2名で構成され、定期委員会と臨時委員会を開催します。

ESGチームは、企業戦略室傘下の常設組織であり、各レーブル・ソリューション・プラットフォームの担当者と構成されたESG実務協議体の運営によりサステナビリティ経営の現況を管理し、ESG委員会に課題履行現況や活動などを報告します。



サステナビリティ経営のフレームワーク

HYBEは多様なステークホルダーに実質的でサステナブルな価値を提供するため、サステナビリティ経営戦略体系を策定しました。企業価値に重大な影響を与えるサステナビリティ経営の現況を誠実に開示し、共同体とともに積極的にコミュニケーションを行っていきます。

ESGのビジョン

FOR SUSTAINABLE ENTERTAINMENT

ESGの目標



重点推進課題

- 環境に配慮した素材の公式商品・アルバムでファン体験を改善
- Weverseでの便利なファン向けのサービスの開発
- コンテンツ・会場内でのファンのアクセシビリティの改善

- 役職員の多様性および包摂性の強化
- 世界水準の人権リスク管理
- 倫理経営およびコンプライアンス管理体系の高度化
- サステナブルな産業エコシステムの育成

- 組織および経営陣対象のサステナビリティ経営に関する成果評価の適用
- 安全な勤務環境の提供
- サステナビリティ経営情報開示の強化
- 情報セキュリティリスクの最小化
- 産業全般にわたる環境責任の履行

ステークホルダーとのコミュニケーション

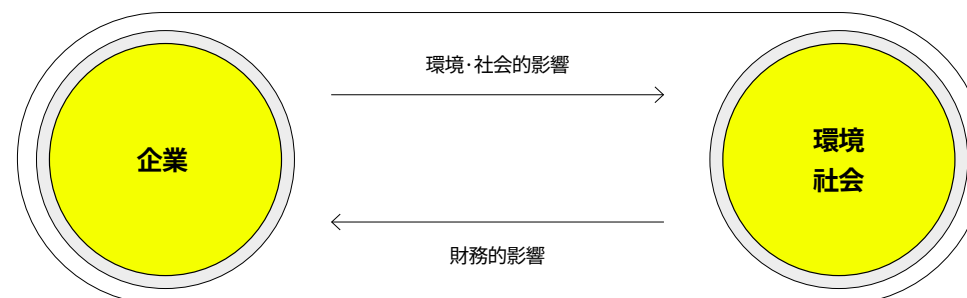
HYBEは、ファン、従業員、パートナー企業、投資家、地域社会の関心に目を向け、多様なチャネルを通してコミュニケーションします。

	ファン 	従業員 	パートナー企業 	投資家 	地域社会 
主な関心事	<ul style="list-style-type: none"> • コンテンツの品質 • ファンとのコミュニケーションおよび意見集約 • 個人情報保護 	<ul style="list-style-type: none"> • 勤務環境の改善 • 福利厚生 • 育成支援 • 成果報酬 	<ul style="list-style-type: none"> • サステナブルな共生 • 産業に対する責任 	<ul style="list-style-type: none"> • 財務成果 • 配当性向 • 透明性の高いガバナンス • リスクマネジメント • CO₂排出量削減 	<ul style="list-style-type: none"> • サステナビリティ経営 • 社会的弱者支援
コミュニケーションチャネル	<ul style="list-style-type: none"> • Weverse • ホームページ • メディア • SNS 	<ul style="list-style-type: none"> • タウンホールミーティング • 社内メールおよびメッセージャー • 内部通報制度 • 労使協議体 	<ul style="list-style-type: none"> • 倫理実践協約 • 公正な契約 	<ul style="list-style-type: none"> • 株主総会 • IR • 事業報告書 • 監査報告書 • コーポレートガバナンス報告書 • サステナビリティレポート 	<ul style="list-style-type: none"> • メディア • キャンペーン
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> • コンテンツの品質向上 • Weverse Shopカスタマーセンターの運営 • 情報セキュリティアーキテクチャの構築 	<ul style="list-style-type: none"> • 社内施設、休憩施設および健康施設の提供 • 福利厚生制度の改編 • オンボーディング&スマートラーニング制度の運営 • 成果評価体系の運営 	<ul style="list-style-type: none"> • パートナー企業の評価基準にサステナビリティ経営に関する項目の設定 • 倫理実践協約の制定 	<ul style="list-style-type: none"> • 財務成果の開示 • 配当政策の策定 • 透明性の高いガバナンスの開示 • リスクマネジメント体系の構築 • CO₂排出量削減対策 	<ul style="list-style-type: none"> • 造林事業 • 社会貢献活動

マテリアリティ評価

マテリアリティの評価プロセス

HYBEは、マテリアリティの評価を通し企業が重点的に開示すべきサステナビリティ経営に関するマテリアリティを特定しました。マテリアリティの評価では欧州連合のCSRD^(*)で公表されたダブル・マテリアリティに基づき、企業と社会が相互に及ぼす影響を考慮しました。ダブル・マテリアリティを通し、HYBEは環境と社会が企業に及ぼす影響のみならず、企業が環境と社会に及ぼす影響を共に考慮し、多様な社内外のステークホルダーの観点を反映させました。



Step 1

イシューの構成

- サステナビリティ経営の開示および評価要求事項の分析
- 韓国や海外の同業他社のベンチマーキング
- メディア分析
- ステークホルダーへのアンケートやインタビュー

Step 2

イシューのマテリアリティ評価

- 財務的影響および環境・社会的影響の評価
- 内部および外部のステークホルダー(ファン、メディア、パートナー企業、専門家、投資家、従業員)を対象に評価を実施
- ステークホルダーへの影響度(関心度、発生可能性、影響範囲、回復の可能性)およびビジネスへの影響度(売上、費用、リスク)を考慮し、財務的影響および環境・社会的影響を評価

Step 3

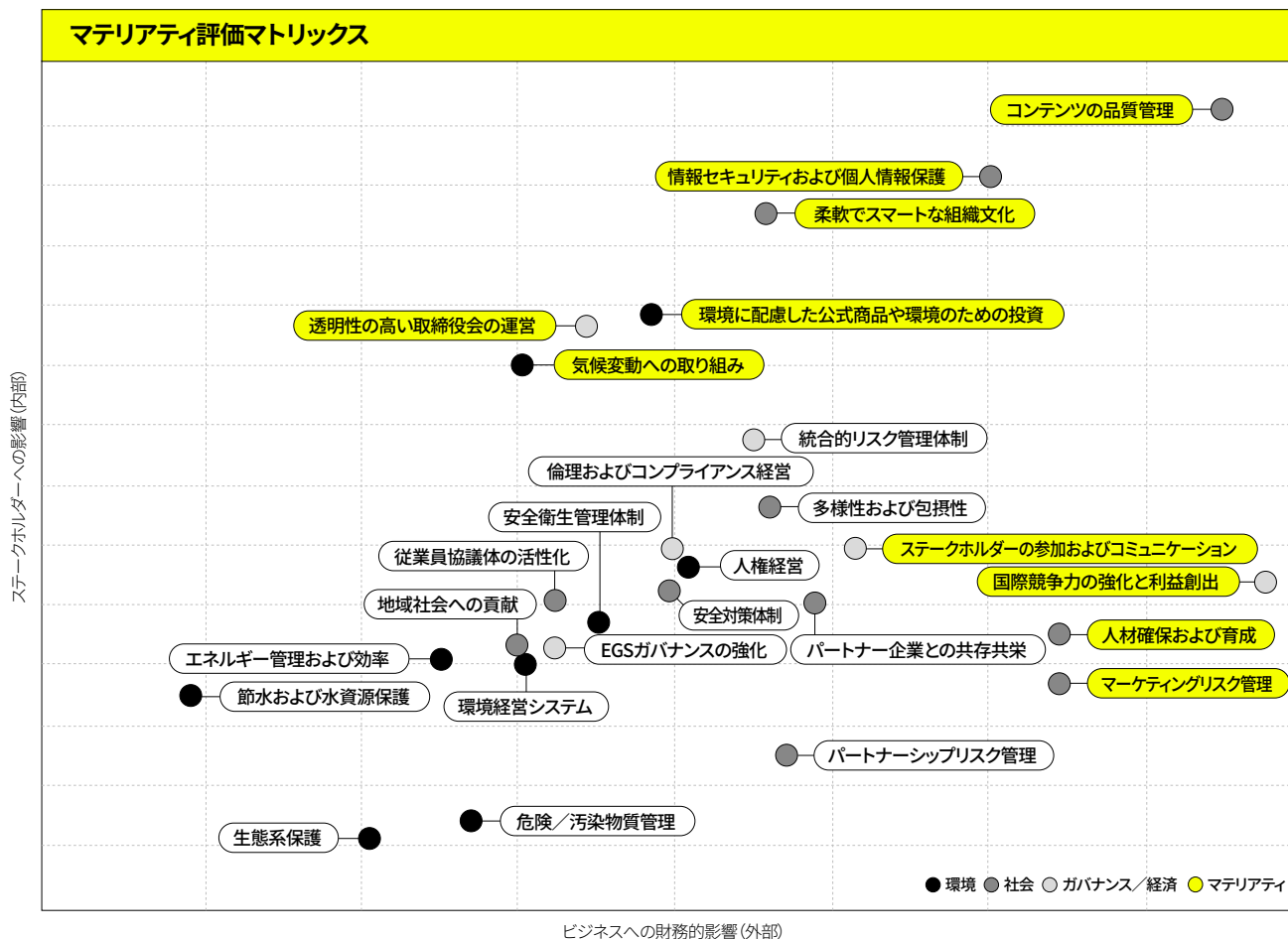
マテリアリティの選定および報告

- マテリアリティ評価を通し10大マテリアルイシューを選定

(*) CSRD(Corporate Sustainability Reporting Directive): 企業サステナビリティ報告指令

マテリアリティ評価の結果

HYBEは、環境・社会的影響度と財務的影響度を考慮し、10大マテリアリティを選定しました。



報告テーマの選定

区分	選定されたマテリアリティ
環境	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した公式商品および環境のための投資 気候変動への取り組み
社会	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツの品質管理 情報セキュリティおよび個人情報保護 柔軟でスマートな組織文化 人材確保および育成 マーケティングリスクマネジメント
ガバナンス/経済	<ul style="list-style-type: none"> 透明性の高い取締役会の運営 ステークホルダーの参加およびコミュニケーション 国際競争力の強化






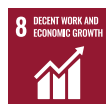
サステナビリティ経営におけるマテリアリティ

HYBEは、内外および外部のステークホルダーや専門家を対象にアンケートを実施しました。合計715人からの回答を通し、ステークホルダーの関心度とビジネス重要度を把握し、10大マテリアリティを選定しました。




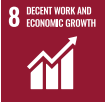




HYBEは、マテリアリティ評価で選定したマテリアリティに対し体系的に対応していきます。そして毎年発行されるサステナビリティレポートでその成果を開示し、ステークホルダーと積極的にコミュニケーションしていきます。

また、定期的にマテリアリティ評価を実施し、サステナビリティ経営の動向とステークホルダーの関心を把握し、経営の意思決定に反映させることでサステナビリティ経営を強化していきます。

HYBEは、マテリアリティ評価により選定した10大マテリアリティおよび主な活動、UN SDGs(*)の達成に貢献可能な目標などについて以下のように分析しました。

マテリアリティ	選定の背景	主な活動	貢献するSDGs(*)
環境に配慮した公式商品や環境のための投資	環境に配慮した素材を活用した環境有害物質の削減や外装サイズの縮小など、企業の環境配慮の方針に対する社会的要求が増加しています。HYBEは、環境配慮型素材の使用を段階的に導入していきます。	<ul style="list-style-type: none"> デジタルQRコード方法の音盤発売(Weverse Albums) FSC認証紙、環境配慮型SOYインキなどを使用した環境に配慮したアルバム 社内での使い捨て製品の使用量削減やリユースカップの導入 	 
気候変動への取り組み	地球温暖化による気候変動が拡大しており、これによる自然災害の発生頻度と被害が増加しています。環境破壊による費用増加、災害による施設破損などは企業への直接的なリスクとして作用します。これに対してHYBEは気候変動に伴う環境への影響を最小化するために努力していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 社内に環境配慮型設備を設置 エコレッジプロジェクト 温室効果ガス排出量の正確な算定体系の構築 	  
コンテンツの品質管理	高品質なコンテンツはファンの満足度を高め、肯定的なファン体験を実現させます。また、差別化された品質を通し、企業はグローバル市場での競争力を身につけることができ、専門的で信頼性のある情報伝達が可能となります。肯定的なファン体験と明確性、有用性を提供するためHYBEは完成度の高いコンテンツの創出に力を入れています。	<ul style="list-style-type: none"> 各レーベルの独立的で独創的なクリエイティブ活動の展開 多様な公演、映像コンテンツ、IP、ゲーム事業推進 ファン体験の拡大 	
情報セキュリティおよび個人情報保護	ビッグデータ、AI、モノのインターネットなど、技術発展による情報セキュリティの脅威は日増しにより知能的かつ高度化されています。こうした要因により、企業と個人の情報セキュリティが非常に重要視されています。まさに今、安全なシステム運営と個人情報の保護は重要なトピックとなっており、HYBEも安全で徹底した情報セキュリティマネジメントに全力を注いでいます。	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ方針および管理組織体系の構築 個人情報保護システムおよび個人情報主体の権利保障 情報セキュリティ教育および情報セキュリティ認証 	

(*) SDGs(Sustainable Development Goals): 持続可能な開発目標、国際社会の持続可能な開発のために国連が定めた、2015年から2030年までに世界が究極的に達成すべき17の目標

マテリアリティ	選定の背景	主な活動	貢献するSDGs
柔軟でスマートな組織文化	柔軟な組織文化は、従業員の業務効率の向上に繋がります。企業は個人の多様な背景と価値観を尊重し、組織内に多様性を構築しなければなりません。HYBEは従業員が自律的な環境の中で最高の力量を発揮できるようサポートしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> • HYBE DNAに基づいた柔軟な組織文化 • 多様な福利厚生制度 • 組織文化プログラム • 女性従業員の採用拡大 	
人材確保および育成	企業は、多様な人材が固有の力量と潜在能力を発揮できるよう積極的に支援しなければなりません。創意的で挑戦的な人材を育成し、リーダーシップと専門性を強化するための支援は企業の重要課題です。HYBEは未来の社会が必要とする人材の確保や育成のための支援を惜しみません。	<ul style="list-style-type: none"> • 職務の多角化および専門化 • 力量強化教育 • 職務発明補償制度 	 
マーケティングリスク管理	ファン体験を拡大するためには企業の責任あるマーケティングがまず履行されなければなりません。HYBEは責任感あるマーケティングのため、全社的なマーケティングリスクを把握し、これにより機会要因を見出していきます。	<ul style="list-style-type: none"> • リスクマネジメント体系の構築 	 
透明性の高い取締役会の運営	企業の取締役会の運営は、透明性の高いガバナンスの根幹です。取締役会は最高意思決定機構として企業戦略および長期成長に向けた案件などを議決する役割を遂行します。HYBEは高度の透明性と専門性を持った取締役会の構成と運営を通し、健全なガバナンスを構築していきます。	<ul style="list-style-type: none"> • 独立的な取締役会の運営 • 取締役会内の専門委員会の設置 • 社外取締役の専門性および多様性の確保 	
ステークホルダーの参加およびコミュニケーション	水平的で相互尊重に基づく文化を構築するためには、社内の従業員同士の円滑かつ虚偽のないコミュニケーションが必要です。HYBEは、ファン、従業員、パートナー企業、投資家、地域社会の関心事を把握し、多様なチャネルを通してコミュニケーションするために努力します。	<ul style="list-style-type: none"> • 忠実な開示 • タウンホールミーティングの開催 • 会社説明会の開催 • サステナビリティレポートの開示 	
国際競争力の強化	国際的な競争力の確保を通し事業を拡大していくことは、企業のサステナブルな事業運営と直結しています。HYBEは、サステナビリティ経営を実践すると同時に最高の文化コンテンツを制作し、グローバルな競争力を強化していきます。グローバルリーディングコンテンツ企業になるためにアーティストIPやコンテンツなどを制作するうえでの国際的な競争力確保に向け努力します。	<ul style="list-style-type: none"> • 韓国、米国、日本での本社体制の構築 • グローバルレベルの買収 • グローバルアーティストポートフォリオの拡大 	

サステナビリティの経営ハイライト

HYBEは会社全体にサステナビリティ経営を推進するための基盤を整備し、積極的に活動に取り組んでいます。

<p>THINK FORWARD FOR FAN'S LIFESTYLE</p>	<p>累計開催数</p> <p>50回 (2023年5月現在)</p> <p>観覧客に配慮した オンラインコンサート</p>	<p>累計ダウンロード数</p> <p>9,900万人 (2023年5月現在)</p> <p>ファン体験の拡張と便宜を図った Weverse・Weverse Shop</p>	<p>環境配慮型素材の導入</p> <p>2022年 10月</p> <p>ファン体験を改善するための 環境配慮型素材の導入</p>
<p>CREATE POSSIBILITIES WITH THE COMMUNITY</p>	<p>2022年寄付金</p> <p>92億ウォン</p> <p>地域社会との共生に向けた 社会貢献活動</p>	<p>従業員の教育時間</p> <p>9,772時間</p> <p>従業員のスキル強化に向けた 教育支援</p>	<p>評価項目におけるサステナビリティ経営関連の項目の割合</p> <p>38%</p> <p>持続可能な共生に向けパートナー企業の評価基準に サステナビリティ経営に関連する項目を2021年に導入</p>
<p>LEAD INDUSTRIES BY THE STANDARD</p>	<p>社外取締役の割合</p> <p>55.6% (2022年末現在)</p> <p>透明性の高い健全な経営に向けた 独立性の確保</p>	<p>ESG委員会の設立</p> <p>2022年 7月</p> <p>サステナビリティ経営の実践に向けた ESG委員会の設立</p>	<p>直近3か年労働災害発生件数</p> <p>0件</p> <p>従業員の安全と健康を守る 安全衛生管理体系の運営</p>

Contents

- 39 ファン体験の改善
- 43 会場の安全対策プロセス
- 44 環境配慮型製品の導入

主な活動内容

HYBEは、ファン体験の満足とその向上のために多様なサービスを提供しており、安全な公演観覧に向けた会場に関するガイドラインを導入しています。また、環境に配慮した素材を使用した製品やWeverse Albumsを発売し、製品が環境配慮型かどうかを考慮しています。

03

THINK FORWARD FOR FAN'S LIFESTYLE

ファン体験の改善

ファン体験の改善のためにオンライン・ライブストリーミング、Weverse基盤のサービス、ファンのアクセシビリティ向上など多様なサービスを提供しています。

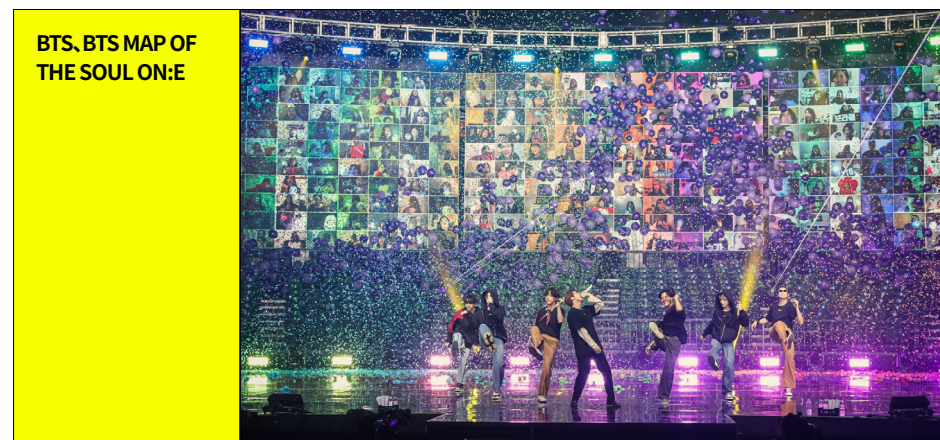
オンラインライブ

Weverseはオフライン公演への参加が難しい世界中のファンと、実際の会場の臨場感あふれる感動を共有するため、安定的なライブストリーミング技術をもとにオンラインコンサートストリーミングサービスをサポートしています。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、オフライン公演の開催が制限される中、ファンの公演に対する願望を解決し、グローバルファンにより幅広い経験を提供するため、2020年からWeverseプラットフォームを通し、オン/オフラインライブのストリーミングサービスを提供しています。

BTSのコンサート「BANGBANG CON」をはじめ、2023年まで合計50回以上開催され、関連するファンミーティングを含めると合計1,000万人の観客を動員しました。

オンラインコンサートは、リアルタイムで配信され、世界中のファンが自宅から公演を観覧ことができ、オンラインコンサート中のチャットサービスやアーティストとファンのリアルタイムコミュニケーションが可能です。2022年6月から2023年3月までに開催されたオンラインコンサートに関してファンの満足度を調査した結果、10点満点中9.5点という高得点の満足度を獲得しました。



オンラインコンサート専用サービス

SOLUTION

HYBEはオンラインコンサートのファン体験改善のため、観覧ビューの多様化(マルチビューなど)、画質の多様化(4K、HD)などの技術を開発しました。

PLATFORM

Weverseにてストリーミング関連サービスの改善および高度化をしています。

ストリーミング関連サービス

オンラインコンサートのチケット購入と視聴、ファンダム同士のコミュニケーションなどをWeverseで便利に利用できます。決められた時間にもう一度オンラインコンサートを観覧できるディレイ・ストリーミング、公演前のアーティストのリハーサル風景を観ることができるオンラインリハーサル観覧、多様な角度からステージを観賞できるマルチビュー機能と高画質(4K、HDなど)など、アーティストの公演をさらに豪華に楽しめる多彩なオプションを提供しています。

リアルタイムチャットと応援

チャットサービスや応援機能を通し、アーティストとリアルタイムでコミュニケーションすることができます。

翻訳サービス

世界中のファンに向け公演会場の状況をリアルタイムで多様な言語に翻訳します。

バッジの支給

オンラインコンサート専用の基本エンブレムおよびアーティストの画像または動画付きの特典エンブレムを支給し、ファンにオンラインコンサートだけの特別な体験を提供します。

ファン体験拡張のためのオフラインファン活動連携サービス

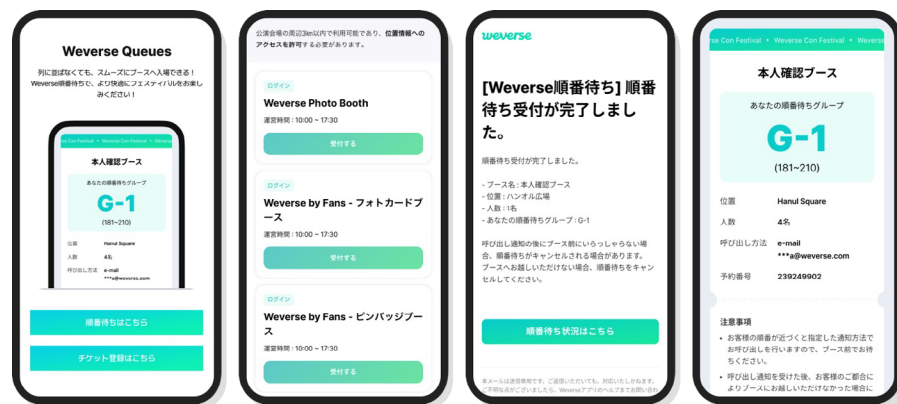
Weverseは、公演などのオフラインで行われるファン活動において、不便さがなく便利にファン体験を楽しめるよう多様なサービスを提供しています。

会場現地での公式商品の当日受け取りサービス

公演会場の半径2.5km以内で公式商品を注文した場合、会場の受け取りブースでQRコードによる簡単な確認手続きを通じてグッズを受け取ることができ、長い行列に並ぶことなくオフライン会場を楽しめるように改善されたファン体験を提供しています。紙の領収書を電子領収書で発行し、紙資源の節約にも努力しています。

Weverse Queues

2023Weverse Con Festivalで登場した「Weverse Queues」は公演会場の複数のブースの行列にWeverseを通して簡単に順番待ちの申し込みができるサービスです。フェスティバル会場の半径3km以内からWeverse Queuesのウェブページにログイン後、訪問したいブースの待機グループを選択することで申し込みが完了します。入場の順番案内、ブース前での待機の案内、入場開始案内など3段階の通知が送信され、観覧客はブース前で長時間待つという煩わしさから解放され、時間を有効活用しつつ公演を楽しむことができます。



Weverseを通したオフラインイベントへの応募および参加

オフラインの現場の活動性と便宜性を高めるため、Weverseを通したイベント応募および参加機能を提供しています。ファンはアーティストのイベントに簡単に参加することができ、ファンサイン会、アーティストが出演する番組収録への観覧参加、新規アルバムショーケースなどのオフライン活動に参加する際、煩わしい手続きをすることなくWeverseアプリで当選確認ができます。2022年12月現在、合計97万人が同サービスを利用しています。ファンの活動がオンラインプラットフォームと連携されることで便宜性が高まり、体験の幅がさらに拡大している事例の1つです。

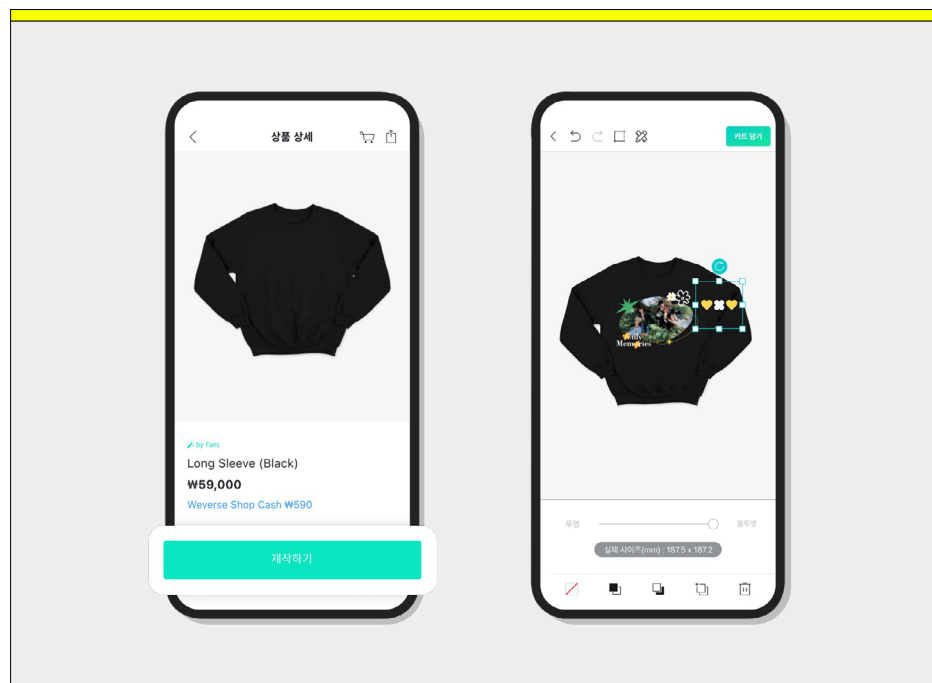
<p>① 申し込み時間に合わせて告知本文上のリンクを通し、事前申し込みページに移動します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>공지사항</p> <p>[공지] j-hope 솔로 앨범 'Jack In The Box...</p> </div>	<p>② 申し込みフォーム上の案内に沿ってすべて入力した後、申し込みを完了させます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • ARMY Membership登録時に入力した名前が自動的に入力されます。 • 個人情報の収集及び利用に同意しない場合、イベントへの参加が制限されます。
<p>③ 申し込み完了後、「BTSイベント申し込み内容」で申し込み内容を確認できます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <p>• BTS Weverse → 右上の「…」ボタン → イベント申し込み内容</p>	<p>④ 当選者の発表後、「BTSイベント申し込み内容」から当選結果を確認できます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div>

顧客の多様なニーズを反映したWeverse

Weverseはパーソナライズされたファンダムライフを楽しめるよう、多様なサービスを提供しファンの満足度を高めています。

Weverse by Fans

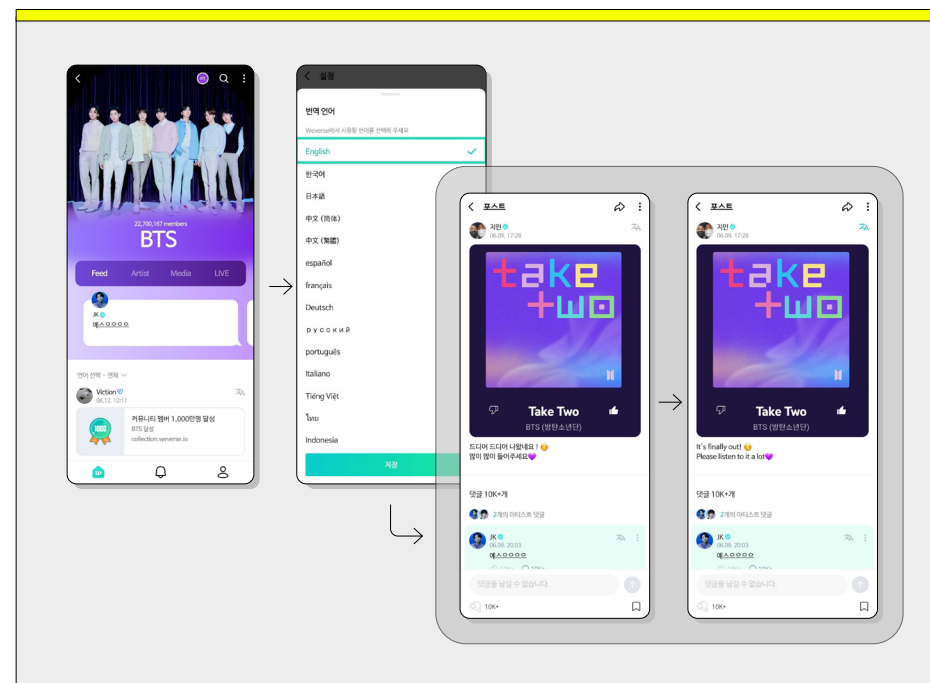
「Weverse by Fans」は、別途プログラムをインストールせずに自分だけの公式商品を自由にカスタマイズして手軽に制作できるサービスです。コマースプラットフォーム「Weverse Shop」で希望商品を選択後、編集ツールを利用してアーティストの写真やロゴ、テキスト、イメージクリップなどのデザイン要素を配置し、自由にデコレーションすることができます。



15言語の自動翻訳サービス

アーティストとグローバルファンの言語の制約のない自由なコミュニケーションをサポートするため、英語、中国語、日本語を含む合計15言語の翻訳機能を提供しています。

Weverseで希望の翻訳言語を選択し、ボタンをクリックすると、アーティストとファンが投稿した記事やコメントなどが選択した言語にすぐに翻訳され、サービスを活用するファンのアクセシビリティを高めています。



ファンのアクセシビリティの向上

HYBEは、体の不自由なファンがコンサートやファンミーティング、リアルタイムライブなどのコンテンツを制約なく楽しめるよう様々な努力を行っています。

手話ダンスの制作

BTSの「Permission to Dance」には「楽しい」、「踊る」、「平和」を意味する3種類の国際手話を取り入れたダンスがあります。手話ダンスは「皆が簡単に真似できるパフォーマンス」という企画の意図のもとに制作されました。HYBEは、聴覚が不自由なファンがダンスを簡単に理解できるよう、手話専門家の協力のもとでダンスを構成し、表情で歌の意味を伝えるために工夫しました。世界中のファンが「手話ダンスチャレンジ」を通じてアーティストの音楽を身体的な制約を受けずに楽しむことができました。

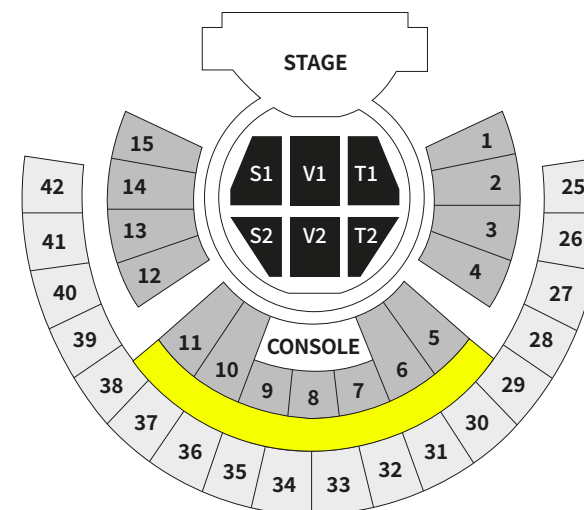


公演会場内の車椅子席の運営

公演会場には車椅子席が別途設置されており、電話にて予約できます。車椅子席は公演観覧当日に視野の確保や安全などを考慮して決められます。

| KSPDーム内の車椅子席の配置例

- FLOOR
- 1F
- 2F
- 車椅子席



手話通訳サポート

聴覚が不自由な場合はカスタマーセンターに申し込むと手話通訳士と一緒に公演を観覧することができます。

公演会場の安全対策プロセス

HYBEは、ファンへの安全な公演観覧に向け重大災害処罰法に基づき公演会場の安全対応ガイドラインを導入しています。

公演会場の安全対応ガイドライン

HYBEは、各イベント別に安全対応ガイドラインが適用された災害対処計画書で公演会場の安全を管理し、ステージの工事では危険性評価を実施し、危険要素を事前に識別し改善しています。こうした努力により、2020年から2022年まで公演関連の安全事故は一度も発生していません。

火災予防および人命被害防止措置に関する事項

公演会場の随所に消火器を設置し、危機管理室および医務室を運営しています。消防車、パトカー、救急車などの進入路および非常時の観覧客の避難経路を確保しています。

安全管理費、安全管理組織および安全教育に関する事項

公演法に基づき、公演会場の規模に応じて適正安全管理費を投入しています。2名以上で構成される安全管理組織を設置し、出演者と安全管理組織員に安全教育の履修を義務付けています。

テロ関連の災害対策計画

観客が持ち込み禁止品を所持していないか検査し、使用しないゲートの観客の出入りを統制します。公演関係者にはテロ関連の教育を実施し、観客には安全な公演のための事前案内を行います。テロ発生と同時に観客を避難させ安全を確保した後、対応機関に通報します。

公演施設の安全点検

HYBEは、安全点検チェックリストを基に舞台施設と電気施設の安全性を点検し、関連機関に安全計画と公演施設点検結果を報告します。

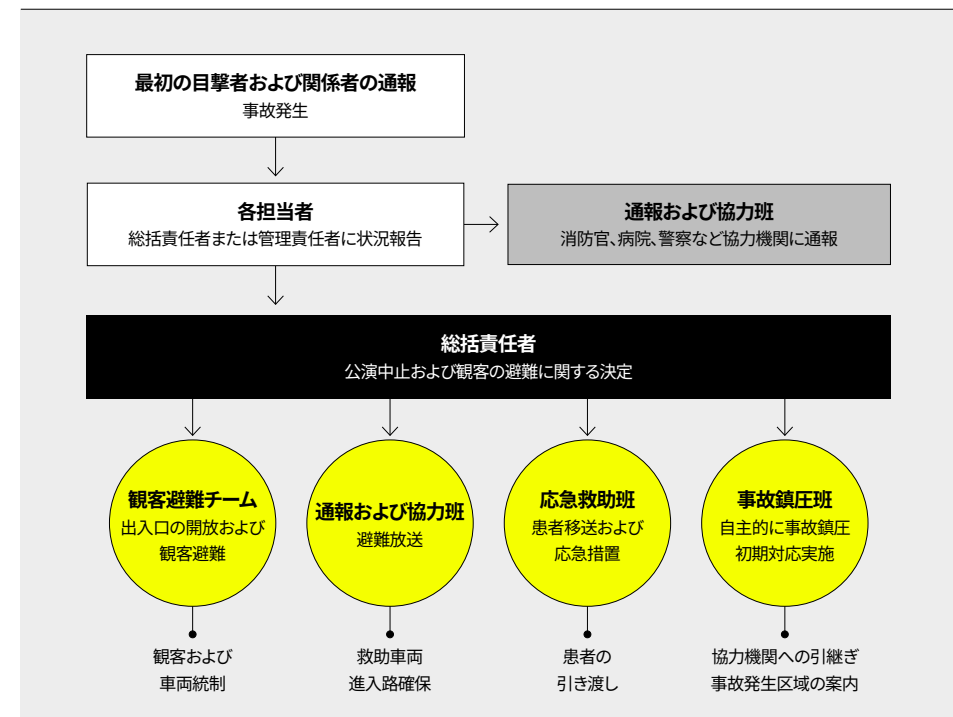
感染症関連の防疫措置

新型コロナウイルスが拡大した際には、出入りするすべての人に対し、新型コロナワクチン接種証明書またはPCR検査結果の確認を求め、体温チェックを実施しました。手指消毒剤とマスクで衛生を管理し、客席のソーシャルディスタンスの維持および分散退場を案内し、公演会場内外および外部で消毒作業を実施しました。

徹底した公演会場の安全管理

安全チームはコンサート運営部署で公演会場の安全に関するガイドラインを提示し、コンサート運営部署がこれを遵守しているかどうか確認します。公演会場によって安全管理責任者としての資格を証明する必要がある場合、安全チームは安全管理士を外部から選任します。

公演会場の安全事故対応プロセス



環境配慮型製品の導入

HYBEは、アルバム、写真集、DVDなどを制作する際に環境配慮型素材を使用することを奨励しています。

環境配慮型素材

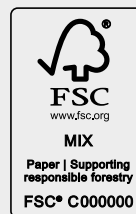
環境配慮型素材のガイドライン

HYBEは、アルバム制作時に環境配慮型素材の使用を奨励するためのガイドラインを導入しました。ガイドラインはFSC認証紙やSOYインキの使用などを奨励しています。

FSC認証^(*)紙

外箱、写真集、歌詞カード、CDケース、フォトカードなどアルバム内の紙類の構成品はFSC認証紙を使用し、認証マークは構成品(外箱、フォトブックカバーなど)の外観に表示されます。

(*)FSC(Forest Stewardship Council)認証:森林資源を保護し持続可能な森林経営を拡散するために設立された国際NGO森林管理協議会(FSC)の森林経営認証



SOYインキ

印刷にはSOYインキ認証を受けたインキを使用し、関連マークを表示しています。SOYインキは植物油の含有量が高く、揮発性有機化合物による環境汚染を減少させます。また、分解が容易なため紙からインキを分離しリサイクルが可能です。



HYBEは、ガイドラインがない場合にも銀箔やビニール包装およびコーティングの最小化、プラスチックを使用した構成品の最小化など環境に配慮したアルバム作りに取り組んでいます。

写真集および公式商品

写真集、DVD、公式商品などアルバム以外の製品にも環境配慮型製品のガイドラインを適用し、環境に配慮した素材の使用率の向上に努めていきます。包装材には生分解が可能なトウモロコシデンプンで作られたビニール、紙リングを使用したカレンダー、分別収集が可能なペットボトル、UVコーティングなどを導入しました。今後、ファンシー文具、文具、生活用品などにおいても環境配慮型プラスチックを使用して生産していく予定です。

Weverse Shopへの環境配慮型包装の導入

Weverse Shop製品の包装に使用されるプラスチックテープをすべて紙テープに変更し、箱内の緩衝材にプラスチック(ビニール)エアークラップの代わりに紙製クッションの使用を拡大中です。また、インキ使用量を削減できる環境配慮型フォントを使用し印刷しています。

アップサイクル^(*)

HYBEは、アーティストが着用した衣装をパッチにしてカバン生地の上に縫い付け、新しい製品として誕生させました。カバンにはアーティスト名と「Make the unique Piece with our memory」というテキストを併記し、衣装にまつわる思い出をアーティストとファンが共有するという意味を込めました。



(*)アップサイクル: アップグレードとリサイクリングの合成語で、廃棄物を再利用し価値のある製品にすること

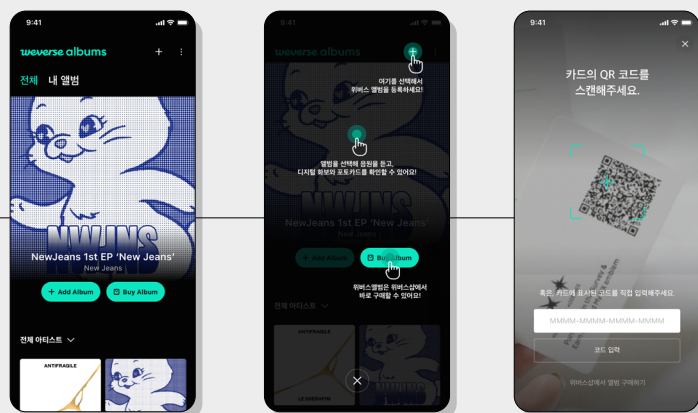
Weverse Albums

2022年、QRコードを通して音楽とフォトコンテンツを鑑賞できるWeverse Albumsサービスを開始しました。Weverse Albumsを利用するファンは、従来のフィジカルアルバム(CD)を購入するときと同じような体験をオンライン上で楽しむことができます。

デジタル空間で音楽を鑑賞し、フォトカード、フォトブックなどの特典を収集することができ、購入分はアルバムチャートに反映されます。

サステナビリティを念頭に置きつつ、汎用化されたデジタルコードを使用してアクセシビリティを最大化させたフィジカルアルバムのデジタル化は、音楽産業全般のトレンドであり、Weverse Albumsは音盤と写真集をデジタルで代替するという特性上、サステナビリティという公益的価値とも合致します。Weverse Albumsの制作には環境配慮型素材が使用されています。

Weverse Albumsアプリケーションの使用ガイド



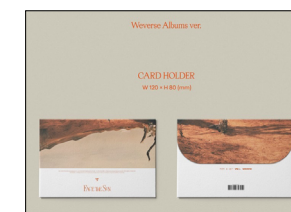
- 1 WeverseAlbumsアプリケーションをインストールする。
- 2 WeverseアカウントやSNSアカウントでログインする。
- 3 右上の[+]ボタン、もしくは[アルバム登録]をタッチしてQRコードをスキャンするか、カメラ下段に直接デジタルコードナンバーを入力する。
- 4 アルバムをダウンロードする。

Weverse Albumsリリースリスト(2023.6現在)

アーティスト	音盤
J-HOPE	ソロアルバム『Jack In The Box』
RM	ソロアルバム『Indigo』
JIMIN	ソロアルバム『FACE』
SUGA	ソロアルバム『D-DAY』
TOMORROW X TOGETHER	5thミニアルバム『The Name Chapter: Temptation』
ENHYPEN	3rdミニアルバム『MANIFESTO: DAY 1』
	4thフルアルバム『Face the Sun』
SEVENTEEN	4thフルアルバムのリパッケージアルバム『SECTOR 17』
	10thミニアルバム『FML』
fromis_9	5thミニアルバム『from our Memento Box』
BAEKHO	1stミニアルバム『Absolute Zero』
BBS	1stシングル『SECOND WIND』
HWANG MIN HYUN	1stミニアルバム『Truth or Lie』
LE SSERAFIM	2ndミニアルバム『ANTIFRAGILE』
	1stフルアルバム『UNFORGIVEN』
	1stミニアルバム『New Jeans』
NewJeans	1stシングル『OMG』



SEVENTEEN『Face the Sun』



SEVENTEEN『FML』



04

CREATE POSSIBILITIES WITH THE COMMUNITY

Contents

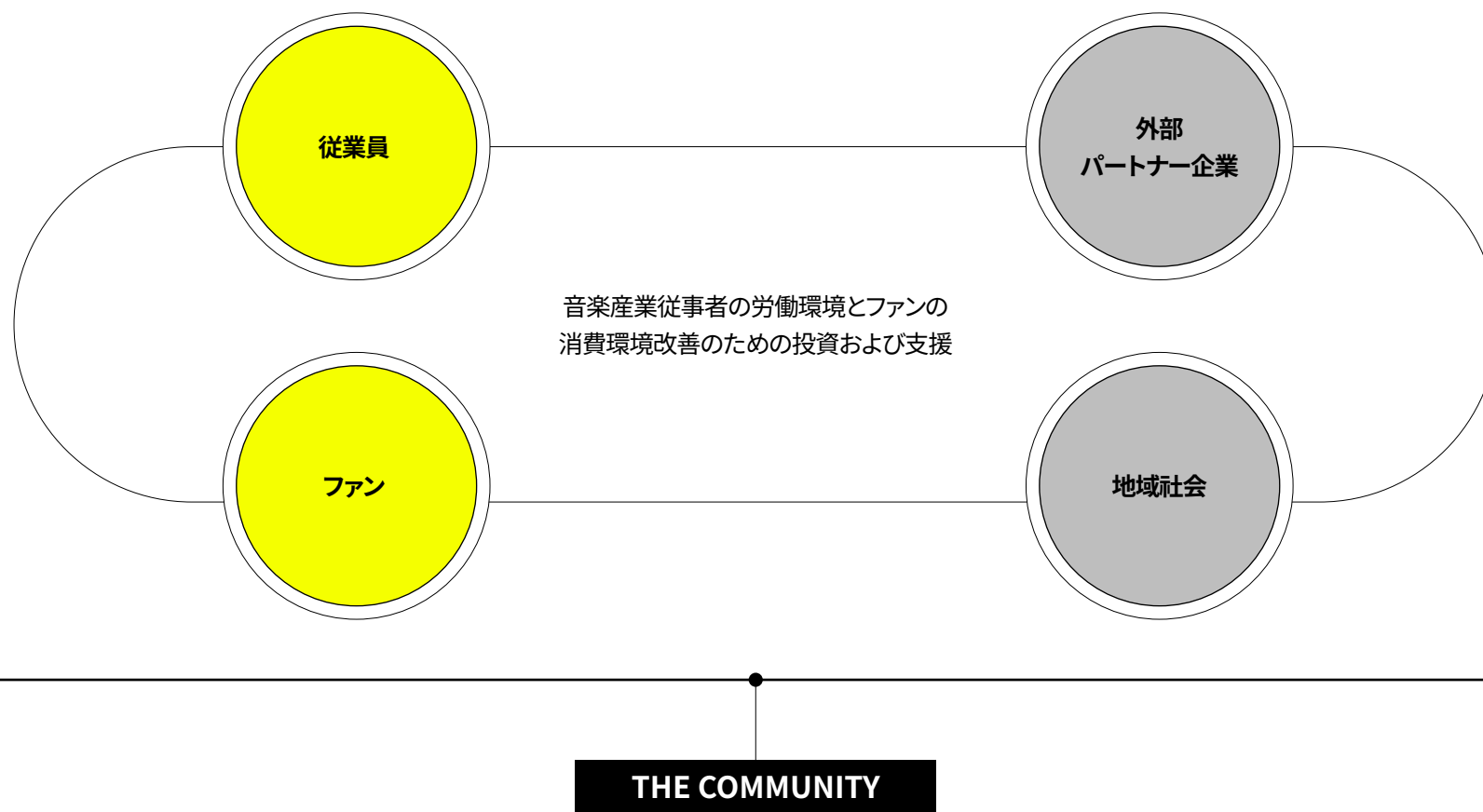
- 47 HYBEが目指す共同体
- 48 共同体の参加およびコミュニケーション
- 50 社会貢献活動
- 53 倫理経営
- 55 人権経営
- 56 コンプライアンス経営
- 57 人材
- 64 パートナー企業との共存共栄

主な活動内容

HYBEは、「共同体と共に行うHYBE会社説明会」と「タウンホールミーティング」などで共同体とコミュニケーションをとり、多様な社会貢献活動を通して地域社会に貢献しています。また倫理、人権、コンプライアンス体系を整備し、従業員とパートナー企業のために多様な制度を運営しています。

HYBEが目指す共同体

HYBEは、従業員、ファン、パートナー企業、地域社会を含む共同体を目指します。

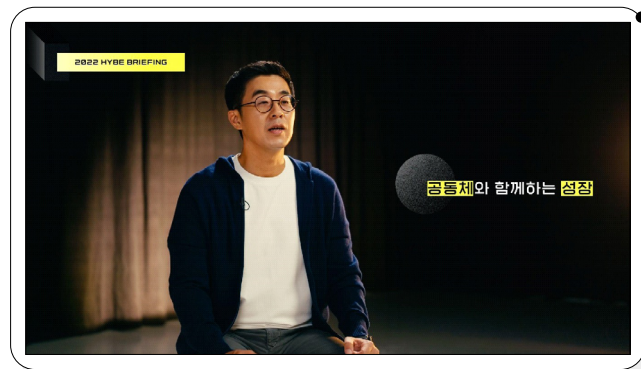


共同体の参加およびコミュニケーション

HYBEは共同体との持続的なコミュニケーションを通してHYBEが目指す目標と過程を共有します。

共同体と共に進むHYBE会社説明会

HYBE共同体を対象に会社が目指す方向性を共有するため、2019年から毎年「共同体と共に進むHYBE会社説明会」を開催しています。



2019

音楽産業の革新に向けた哲学とビジョン

新しい価値を創造することで音楽産業に革新を起こし、売上増大と市場システムの改善を実現し、産業従事者のライフスタイルを向上します。

2020

エコシステム

BigHitエコシステムは、レーベルとファンダムを繋ぐプラットフォームという新しい空間を作り出すことであると同時に実質的なHYBEの事業構造を意味します。

2020

Winning Formula

ファンがいてこそHYBEは成功します。音楽産業の中心軸でありコアのファン体験の革新に向け、これからも継続的に努力していきます。

2021

Boundless

HYBEが定義するバウンドレスとは、国と地域、産業と産業、ファン体験の現在と未来、確実なアーティストポートフォリオという4つの領域で境界のない拡張を意味します。

2022

Coevolution(共進化)

HYBEは、アーティスト、ファンそしてパートナー企業と相互発展し進化してきました。これからも音楽およびコンテンツのクオリティ向上に向け、ファンもしくはパートナー企業がHYBEに提示する質問と課題を原動力に成長していきます。



タウンホールミーティングを通じた従業員とのコミュニケーション

HYBEは、従業員と持続的かつ信頼性のあるコミュニケーションをとるため、2019年1月16日に初の「タウンホールミーティング」を開催しました。タウンホールミーティングは毎月定期的で開催され、CEO自らが参加し、従業員たちに会社の方向性、政策、現況を共有し、従業員の意見に耳を傾けます。タウンホールミーティングの録画内容は社内の従業員がいつでも視聴できるよう共有されます。

これまでのタウンホールミーティングに寄せられた意見の数は全部で512件で、HYBEはその意見についてすべて検討し回答してきました。2022年9月13日に開催されたミーティングでは、サステナブルなエンターテインメントに向けたサステナビリティ経営のゴールに関してCEOと従業員が共に意見交換をしました。HYBEは、サステナビリティ経営の究極的な目標を従業員に提示し、HYBEの共同体に従業員、ファン、投資家、パートナー企業、地域社会が含まれることを説明しました。

タウンホールミーティングでの主な質問と回答

第21回 | 2020. 9.

Q 最近の環境に対する危機意識の高まりを受け、リユースカップの使用など会社レベルでできる取り組みに関する施策の策定が必要だと思われます。

A 「使い捨て製品の使用を自制するためのマグカップ利用キャンペーン」に関して、前回のタウンホールミーティングで近々実施する予定だと通知がありました。その後、新型コロナウイルスの深刻化によりこうした事項に対する議論が一時的に中断していました。今年の第4四半期から社内での使い捨て製品の使用を減らす施策を実行に移していきます。



第28回 | 2021. 4.

Q HYBEが環境に配慮した企業として生まれ変わるための努力と方針に関する計画が知りたいです。

A 環境のために全社レベルで取り組んでいきます。具体的な案としては社内カフェでタンブラーを持参した場合は割引サービスを提供したり、社内に備えられた使い捨て製品の数量や種類の縮小、コピーに再生紙を導入、サステナビリティ経営戦略の検討などがあります。

第48回 | 2022. 12.

Q 電気自動車を利用する従業員にも営業／出張時にガソリン費の補助が支給されるよう、基準の整備を検討してほしいです。


A 電気自動車の使用率が増加しており、支援基準の整備が必要との意見についてはそうであると認識しています。ガソリン代支援項目に一般自動車だけでなく電気自動車も含め支援していくようにします。

社会貢献活動

HYBEは、多様な社会貢献活動を通じて共同体に共生と同伴の価値を創り出していきます。

社会貢献キャンペーン

**BTSの
LOVE MYSELF**



BIGHIT MUSICとBTSは、2017年からユニセフ韓国委員会と共に児童青少年暴力根絶キャンペーン「#ENDviolence」を支持し、アルバムおよびグッズの収益金を寄付する「LOVE MYSELF」キャンペーンを行ってきました。BTSは国連総会での演説をはじめ、コンサートブース、インタビュー、トークショー、映像などで世界中の児童・青少年に自分自身を大事にしようという希望と勇気のメッセージを伝えてきました。キャンペーンは世界中に拡散し、2020年6月にはユニセフの「インスパイアアワーズ」で統合キャンペーンとイベント部門最優秀キャンペーン賞を受賞しました。2021年には、HYBE、ユニセフ韓国委員会、ユニセフ本部が協力するグローバル3者協約へと発展しました。

2017. 11. 1.	2017. 12. 1.	2018. 1. 30.	2018. 9. 24.	2018. 12. 1.
LOVE MYSELF キャンペーンを 公式発足	LOVE MYSELF 第1次公式商品 発売	LOVE MYSELF カカオ電子ギフト& LINE寄付スタンプ発売	国連総会 Generation Unlimited への招待・演説	LOVE MYSELF 第2次公式商品 発売
2022. 11. 1.	2021. 10. 6.	2021. 6. 15.	2020. 9. 23.	2019. 7. 29.
LOVE MYSELF 5周年	ユニセフ「2021年 世界児童現況報告書」 成功事例	LOVE MYSELF カカオ電子ギフト&LINE 寄付スタンプ第2次発売	第74回国連総会に 招待され特別講演 者として演説	グローバル キャンペーン 映像公開

**SEVENTEENの
Going Together**



PLEDIS EntertainmentとSEVENTEENは、2022年ユネスコ韓国委員会と共に「Going Together」キャンペーンを開始しました。これは教育の不等格差の解消および児童と青少年の教育環境改善に向けたユネスコ韓国委員会の「#EducationCanChange」キャンペーンの一環です。SEVENTEENは、「Going Together」キャンペーンとしてワールドツアー「SEVENTEEN WORLD TOUR [BE THE SUN]」の収益の一部を寄付し、2023年には「Kakao Together」で「SEVENTEENも応援する今日、私の学びを認証する」プロジェクトを通じて児童と青少年の教育環境の改善に貢献しました。

2022. 8. 1.	2022. 11. 13.
Going Togetherキャンペーン開始 ユネスコ韓国委員会と業務協約締結	Let me hear you say, SEVENTEEN ファンの夢と学びについての話を SEVENTEENが直接聞いて 回答する映像を公開
2023. 3.	2023. 1. 25.
CARAT LANDでユネスコ Going Together広報ブースを運営	教育の国際デーを迎え フォント「ボンボンイ体」を配布

多様な社会貢献活動

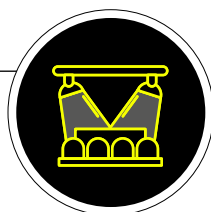


社会的弱者(児童)への支援

HYBEは、社会的弱者(児童)を支援しています。児童の教育、生活環境を改善するための寄付金を送り、様々な環境的要因により困難を強いられ、成長に必要な条件が整っていない児童を支援してきました。HYBEは、これからも児童福祉および教育環境改善のための貢献活動に力を注いでいきます。

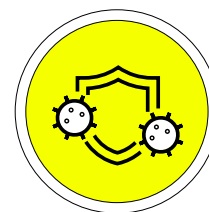
文化芸術支援

HYBEは、エンターテインメント産業をリードする企業として、HYBEレーベル所属のアーティストと共に文化芸術界を支援しています。継続的な寄付を通じて文化芸術の発展を支援し、新型コロナウイルスの感染拡大により生計が苦しくなった公演関係者を助けるため、「Crew Nation」にも参加してきました。HYBEは、これからも多様な活動を通じて文化芸術の発展を支援していきます。



Black Lives Matter

BIGHIT MUSICは所属アーティストと共に黒人人権運動キャンペーンである「Black Lives Matter(黒人の生命は大切だ)」に寄付金を送りました。アーティストは「私たちは人種差別に反対します。私たちは暴力に反対します。私、あなた、私たちはすべて尊重される権利があります。共に歩んでいきます。」というメッセージを掲げ、最近米国で起きている人種差別反対運動を支持するという意思を表明しました。

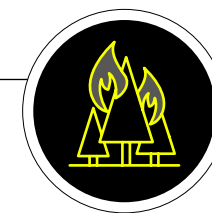


新型コロナウイルス感染症パンデミックに関する支援

HYBEは、HYBEレーベルの所属アーティストと共に、新型コロナウイルスの感染拡大により経済的な困難を強いられている社会的弱者に向け寄付金を送りました。こうした影響力はファンにも伝わり、様々な寄付活動へと拡大していきました。

自然災害による被害の復旧のための活動

HYBEは、山火事や水害により被害を受けた地域社会に見舞金を寄付し、地震被害を受けたトルコにも災害見舞金を送りました。



HYBE AMERICAの社会貢献活動

Ariana Grandeの「BetterHelp」とのパートナーシップ

Ariana Grandeは、心理相談治療を支援するため、非営利団体である「BetterHelp」に数回に渡り寄付し、ボランティア活動にも参加してきました。寄付を通じて6,300名がカウンセリングを受けることができました。

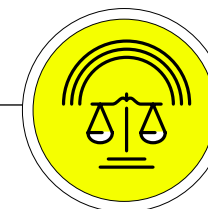


Justin Bieberの「Justice in Action」

Justin Bieberは、正義の実現、気候変動および投票権の保障に関する認識向上に向けた「Just in Action」プロジェクトを実施しました。「Justice World Tour」を通じて、ファンに非営利団体の支持と請願に参加することを促し、参加したファンには抽選で公演チケットをプレゼントしました。こうした努力により、224,000名が請願に参加するという成果を収めました。

性的マイノリティの権利保護

HYBE AMERICAのアーティストは、性的マイノリティの権利を保護するために努力しています。性的マイノリティの青少年の健康と育成のための団体である「CHLA's Center」と「Transanta」に寄付金を送り、「Protect & Defend Trans Youth」ファンドを設立し募金活動を行う一方、性的マイノリティの青少年にプレゼントを渡すイベントを開催しました。また、性的マイノリティの権利保障のためのキャンペーンである「Human Right Campaign's Count Me, LGBTQIA, The Ally Coalition's letter」に参加しました。



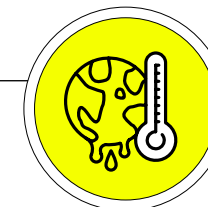
メンタルヘルス支援

HYBE AMERICA傘下のレーベルに所属するアーティストは、サポートが必要な人たちに心理相談の機会を提供するよう努力しています。心理相談サービスを受ける金銭的な余裕がない人に対し、マンツーマンの相談と心理相談を支援する「Talkspace Access」プロジェクトの他、心理治療相談が必要な人たちと支援センターの間を取り次ぐ機関である「TeleHealth Van」への寄付を行いました。



気候変動への取り組み

HYBE AMERICAのアーティストは、気候変動に対応するため様々な活動を行っています。環境運動家とコラボし、YouTubeで主催する「Dear Earth」キャンペーンに参加、地球を保護するための方法を模索しました。気候変動関連の団体に「Earth」の音源収益の一部を寄付する一方、気候変動に対する認識を高めるため、「Earth Day! The Musical」キャンペーン映像に出演し、アースデー(地球の日)を記念しました。

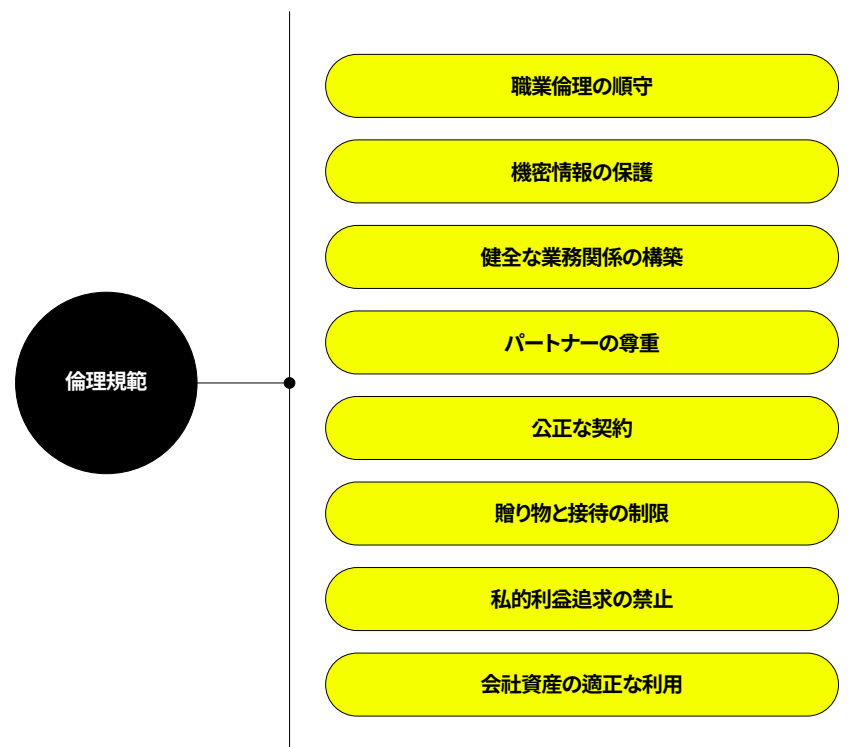


倫理経営

HYBEは、倫理経営を実践するため、従業員の尊重と行動規範を制定し、倫理教育を実施しています。

従業員の尊重と行動規範

HYBEは、従業員の尊重と行動規範の制定により従業員の行動原則を提示しました。これはHYBEの従業員の価値判断基準であり、各自の役割と能力に対する相互尊重を基盤として策定されました。



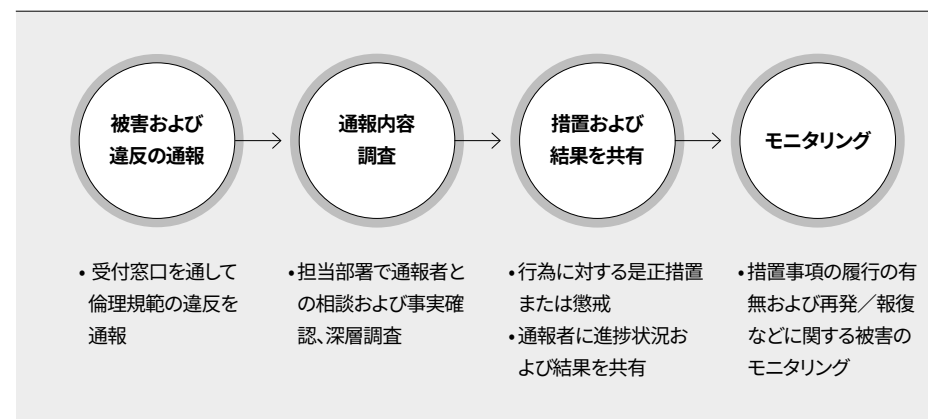
コンプライアンス教育

HYBEは、新しい従業員が入社した際に従業員の尊重と行動規範教育を行い、毎年全従業員を対象に法律や倫理に関する教育を実施しています。また、従業員の尊重と行動規範に関する教育動画や社内映像の公開およびスマートラーニングプラットフォーム内での規範と事例の提示など、多様な方法でコンプライアンス教育を行います。

倫理規範違反の通報プロセス

HYBEは、従業員が指定された受付窓口で倫理規範違反または関連する問い合わせを通報した場合、各イシューごとに担当部署を指定します。従業員の尊重と行動規範は、通報者の個人情報を保護し、通報に関して差別や不利益を受けないことを明示しています。

内部の従業員は、従業員の尊重と行動規範違反の通報および匿名通報サービスを利用して通報、外部パートナー企業の場合は匿名通報サービスを利用して倫理規範の違反または関連する問い合わせを通報することができます。



倫理ガイドライン実践誓約書

HYBEは、すべての従業員を対象に、業務を遂行するにあたり倫理ガイドラインを徹底して遵守することを約束する倫理ガイドライン実践誓約書の提出を求めています。

倫理ガイドライン実践誓約書の本文

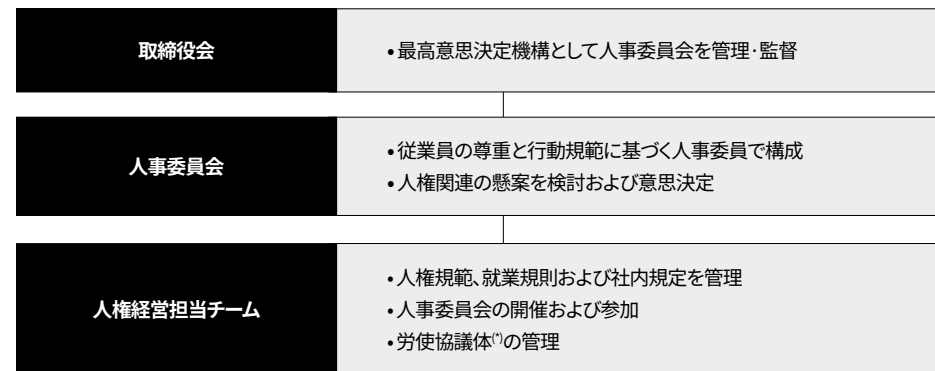
私は、株式会社HYBE(以下「会社」という。)の従業員として、会社のビジョンを実現し、倫理経営の実践を通じた健全な企業文化構築のため「倫理ガイドライン」を熟知し、これを積極的に実践および遵守することを誓います。

1. 私は、担当する業務に対し正直かつ公正な姿勢で取り組み、会社の経営理念と利益に反する行為をしません。
2. 私は、業務遂行時に会社の倫理ガイドラインを含む会社の社内規定および関連法令を遵守することはもちろん、いかなる不正な取引、不正行為、書類や数値の改ざんおよび虚偽の報告をしません。
3. 私は、会社の有形・無形の資産を私的に使用せず、会社の規定、規則、関連法令を違反する費用の決済を行いません。
4. 私は、職務に関して会社の事前承認なしにステークホルダーからまたはステークホルダーに金品、物品、贈り物、接待などを提供、要求、取得しません。
5. 業務を遂行するにあたり、ステークホルダーから非倫理的な行為を提案されたり、従業員の非倫理行為が認められた場合は、直ちに会社の倫理経営担当組織に通報します。
6. 私が高度の透明性をもって業務を公正に処理したこと、業務の処理過程において会社の倫理ガイドラインなどを違反しなかったということを明らかにする目的で会社が資料を要請する際は、要請資料(不正取引および不正行為を調査するために必要な資料)の提出に積極的に協力します。
7. 本誓約を違反した場合、会社が定める懲戒規定に基づき、いかなる処罰にも異議を呈することなく従い、民事・刑事上の法的責任を負います。

人権経営

HYBEは、従業員の人格を尊重するため労働法と勤労基準法を遵守し、人権経営体系を構築しました。

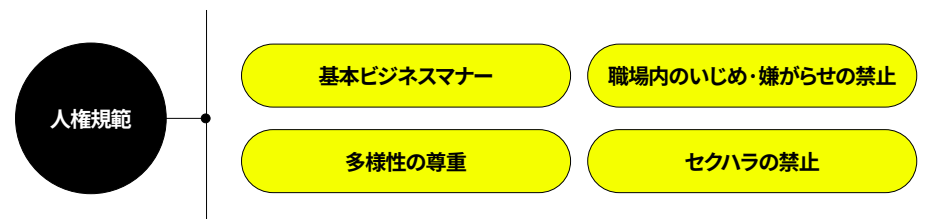
人権経営体系



(*) 労使協議体: HYBEは、従業員とコミュニケーションを取り、従業員の苦情に対する対策案を整備するため法人別に労使協議体を運営しており、雇用主と労働者が同数で四半期ごとに定期会議を開催します。

人権規範

従業員の尊重と行動規範に含まれる人権規範は、人権尊重を強調し人権侵害行為を禁止します。



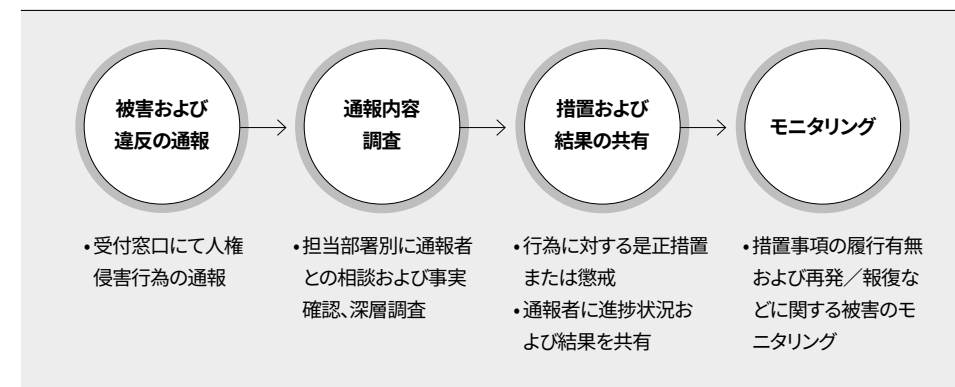
人権教育

HYBEは、全従業員を対象に毎年、法定義務教育である職場内のいじめ・嫌がらせの防止、セクハラ等の予防、障がいを持つ人への認識改善教育などを実施しています。また、従業員の尊重と行動規範に関する教育を通じて従業員の人権意識の向上を図っています。

人権侵害通報プロセス

HYBEは、人権侵害行為の発生時に、従業員が通報できる通報チャネルを運営しています。通報されると、人権経営担当チームが被害事実を確認し、必要に応じて人事委員会が開催され、事件の調査と適切な措置を講じます。

通報過程で通報者の個人情報等は徹底して保護され、通報者は通報に関していかなる差別および不利益を受けません。人権侵害の事実が確認されると、加害者は人事委員会を通して懲戒措置が講じられ、再発防止のため懲戒結果が社内に開示されます。



コンプライアンス経営

HYBEは、コンプライアンス経営により会社の健全な成長を追求し、共同体の信頼を確保していきます。

法律検討プロセス

HYBEは、法務部を設置しており、内外部の法律関連の事案を検討し承認しています。重要と判断される契約(特定の価額以上の契約、主要事業の契約)は取締役会の決議を経て執行されます。

法律遵守

法務部は、公正取引、不正防止など法律に関する諸般事項について事前に管理します。法律違反事項が発生した場合、各関連部署は法務部に関連内容を記した社内文書を送り現況を報告し、法務部は検討後、必要な措置を講じます。

グローバル拠点の拡大により、海外事業に関する法律事案を管理するための海外法務専門チームを別途運営しています。必要に応じて外部から海外の法律の専門家の諮問により対応します。

コンプライアンス教育

HYBEは、従業員を対象に実務に関するコンプライアンス教育を随時行っています。新しい従業員が入社すると、契約業務に関する基礎的な実務教育が実施され、事前契約締結関連の教育をオンラインストーリーミングを通して提供しています。

法務管理システム

HYBEは、法務管理システムで外部との契約、訴訟、社外文書などの法律事項を全社レベルで管理しています。

法務管理システムを介した業務

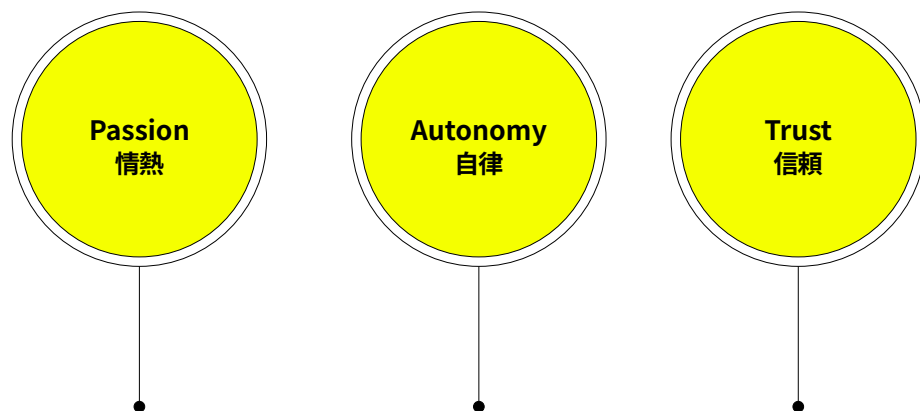
区分	内容
契約書作成	・標準契約書様式をもとに契約書を作成
契約書検討	・作成した契約書を法務部で検討
内部起案および稟議	・検討した契約書についてのチーム長(役職者)および関連上級管理者の承認、法務部の合意による契約の確定 ・すべての手続きが完了した後、報告書に捺印し文書化
訴訟管理	・進行中の訴訟の詳細内容を登録 ・訴訟スケジュールを記載および日程表の管理
社内文書	・他部署との社内文書の受信・発信および詳細内容の照会

人材

HYBEは、会社に必要な人材の能力をHYBE DNAと定義し、多様な人材を採用しています。様々な制度により従業員たちが自律的な環境で最善の力量を発揮できるようサポートしています。

HYBEの人材像、HYBE DNA

HYBE DNAは、HYBEの従業員の働き方と価値判断の基準であり、情熱、自律、信頼を基盤とします。



求める人材像

- 高い基準で最高のコンテンツ、製品、サービスを生み出すための努力
- すべての業務で持続的に改善点を求める姿勢

ワークスタイル

- 意見やアイデアを制約がなく自由に表現
- 業務遂行に必要な十分な権限と責任

同僚との関係性

- ミッションとビジョンを理解し、共有し、目標を達成するための協力の協力

多様な人材の採用

職務の多角化および専門化

HYBEは、音楽およびアーティストIPを活用したサービスの多角化を通して、ソリューション、プラットフォーム事業などへと拡大を続けてきました。これにより、多様なオリジナルコンテンツの制作が増加しており、ゲーム、クリエイティブなど多様な分野の専門家を採用しています。

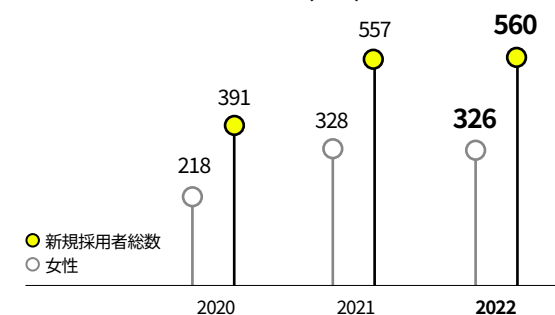
職務別新規採用の例

職群	職務
ゲーム	ゲームグラフィック・アート
	ゲームデータの分析およびマーケティング
	ゲーム開発者
クリエイティブ	ストーリー事業
	アニメーション
	ファンコンテンツの制作
セールスマーケティング	IPライセンスリング

女性従業員の採用拡大

HYBEは、従業員を差別することなく採用し多様性を追求しています。2020年から2022年までの3年間、女性従業員の採用は継続的に増加しており、2022年には韓国の全採用人数の58.2%が新規女性従業員でした。2022年の女性従業員の割合は60.5%であり、役職者の女性の割合は42.2%です。

2020～2022年の新規採用現況(韓国)



力量強化教育

Win Together Program

Win Together Programは、新規入社した従業員がHYBEの一員として業務にスムーズに適応できるようサポートするオンボーディングプログラムです。従業員は同プログラムを通してHYBEの価値である情熱、自律、信頼を理解し、会社が追及する方向性を内在化し、共に成長していきます。

すべての従業員と直属の役職者は、新規従業員のオンボーディングを積極的にサポートする義務があり、会社はその期間に新規従業員が習得すべき主要な規定と役割について明確に伝えます。

新規従業員は入社直後にオンボーディングミッションを遂行し、役職者および同僚のアドバイスを受けながら成長します。その後、6か月経過後に担当リーダーと実施するWin Togetherミーティングでプログラムを終了します。

新規従業員オリエンテーション

HYBEは、新規従業員を対象にオリエンテーションを実施しています。オリエンテーションを通してHYBEのビジネス全体像を理解し、勤務に必要な基礎知識を習得します。

オリエンテーションプログラムの構成



101ミーティングプログラム

101ミーティングプログラムは、HYBEの従業員が1対1で障壁のない状態で会話する方法でお互いに自由に会話することができます。HYBEの従業員は101ミーティングで他の組織の構成や業務の特性、主要イシューおよび会社の事業全般に関する理解を高めることができ、業務上協業が必要な場合、迅速にコミュニケーションをとることができます。

職務およびリーダーシップ教育

HYBEは2022年度下半期から職務別教育およびリーダーシップ教育を実施してきました。

職務教育

従業員のメンタルケアの一環として、EAP(従業員支援プログラム)を常時運営しています。またスタイルディレクティングやアーティストマネジメントなど専門化された業務を遂行できるよう従業員に関連教育を提供しています。

リーダーシップ関連教育

HYBEは、従業員にチームワーク、リーダーシップなどの組織文化を共有するGrow Together Programや、従業員のリーダーシップを鍛えるためのグループ別コーチングプログラムを提供しています。

社内教育コンサルティング

HYBEは、各部署からの要請がある場合、各部署の特徴に合わせた教育プログラムを設計し提供しています。各部署の業務の特性および従業員の性格を考慮し、適切なプログラムを実施します。

スマートラーニング

HYBEは、スマートラーニングプラットフォームにより従業員が力量の強化に必要な過程を学習できるようサポートしています。

法定教育

職場におけるセクハラ予防教育、障がいを持つ人への認識改善教育、いじめ防止教育、個人情報保護教育、退職年金教育を実施しています。

新規従業員の必須教育

Win Together Programに関する案内教育、HYBE DNA、従業員の尊重と行動規範、表彰制度の案内、勤務制度および勤務システムの案内、上場企業の従業員を対象とした不正取引予防教育を実施しています。

職務関連教育

経営一般、MBA、リーダーシップ、ビジネススキル、第4次産業革命、クラウド、IT、OA、産業専門、自己啓発など、領域別に必要な教育プログラムを開設し受講できるようにサポートしています。

外国語

英語、日本語、中国語、スペイン語など多様な国の言語講座を提供しています。

教養および趣味

人文、教養、読書、テーマ特別講義、余暇活動など従業員の教養向上および余暇活動のための講座を提供しています。

従業員奨励制度

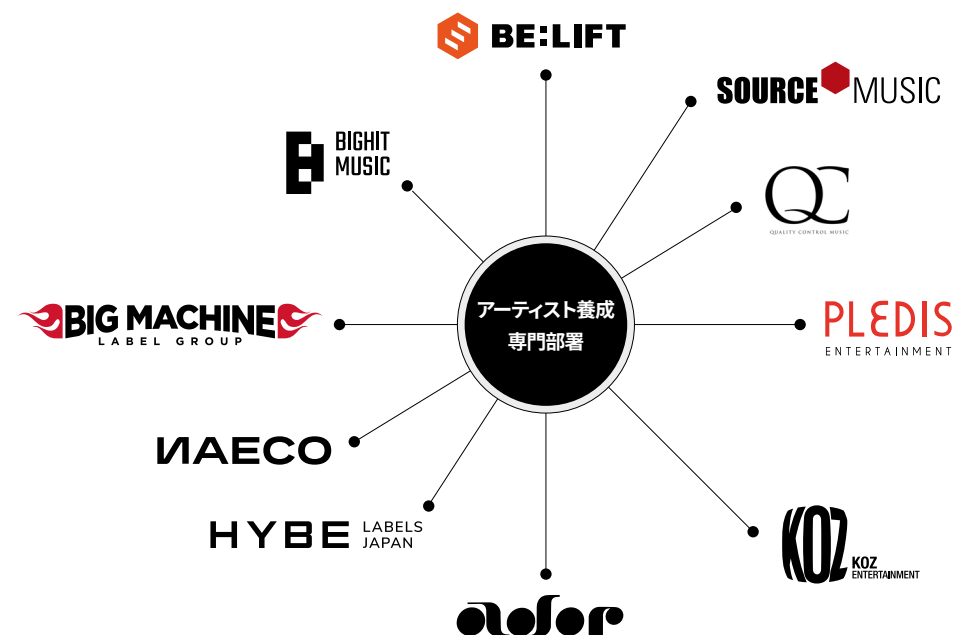
職務発明補償制度

HYBEは、従業員の職務に関する研究開発意欲を高めるため、職務発明補償制度を導入しています。業務に関する従業員の発明、創作などに対し、体系的な手順を通じて職務発明と個人発明を選別し、それに見合った報酬を提供します。HYBEは、制度の円滑な運営に向け職務発明審議委員会を設置し、職務発明に関する事項の審議と職務発明関連の紛争の調停・審議を遂行しています。

アーティストの養成

マルチレーベルによるアーティスト養成の多角化

HYBEは、マルチレーベル体系により多様で個性的なアーティストを養成しています。各レーベルではオーディション・トレーニング、制作、デビューの過程を経てアーティストを輩出します。HYBEは、各レーベルの固有のシステムを尊重しつつ、全社レベルの体系と改善の方向性を提案します。



オーディション

各レーベルごとに定期および随時オーディションプログラムを運営しています。年齢、性別、国籍に関係なく、才能さえあれば誰でも各レーベルサイトからオーディションに応募することができます。

練習生教育プログラム

レッスンおよび練習

各レベルごとに段階別のプログラムと評価で練習生の音楽性とボーカル、ラップ、ダンスの実力を高めま
す。このプログラム遂行程度とレッスン担当者のフィードバック、評価点数などの練習生のデータを体系的に
管理しています。

メンタルサポート

練習生のメンタルヘルスを良好に保つための心理相談センターを運営し、定期的にストレス危険度などを
管理します。心理相談を希望する練習生には個別に心理相談サービスを提供しています。

ジェンダー・センシビリティの向上

練習生はアーティストとして活動する将来に備え、ジェンダー・センシビリティ向上のための教育プログラ
ムを履修します。

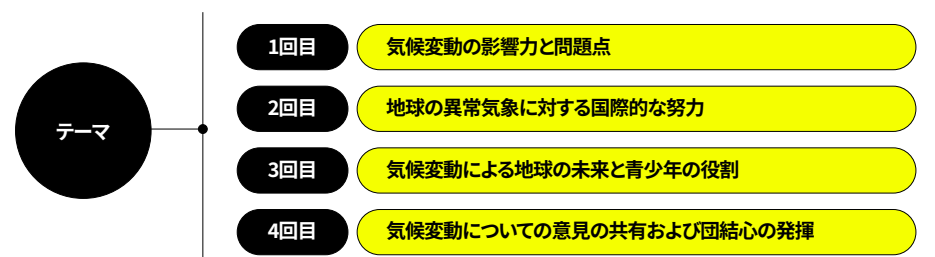
気候と環境

HYBEは、練習生を対象に気候と環境に関する教育を実施します。練習生は3か月ごとに気候と環境に関する
オフライン講義を受講し、意見を共有します。

言語教育

韓国語、日本語、英語で構成され、練習生個人に合わせたプログラム内容が実施されます。

気候と環境に関連する教育の内容



柔軟な組織文化と福利厚生

柔軟な組織文化

HYBEは、従業員が有機的に関わり合い、協力し合う文化を育み、従業員が自律的な環境で楽しく働けるようサポート
します。

「さん付け」文化の実践

HYBEは、従業員同士の尊重と自由なコミュニケーションに向け水平的な呼称制度である「さん付け」文化を導入して
います。従業員は「さん」という呼称の使用と相互尊重をすることで相手の人格を配慮し、自由に自分の意見を提示す
ることができます。

表彰制度

HYBEは、従業員同士の称賛文化を活性化させるため、称賛したい従業員にバッジを与え、バッジポイントを一番多く
集めた従業員を四半期ごとに表彰します。

| 表彰制度のバッジの種類



福利厚生制度

HYBEは、自分の仕事に情熱を持つ人材がやりたい仕事をしながら達成感、喜び、幸せを感じることができる会社を目指します。HYBEの福利厚生制度はこうした目標のもと、すべての従業員が楽しい挑戦の中で自分の夢と目標を叶え、成長できるようサポートすることを目的としています。

福利厚生制度の現況

業務方式 HYBEは基本価値に基づき、従業員自らが自律的に働けるようサポートします。

- フレックスタイム制
- 有給休暇使用ボーナス
- STO(Saturday Time Off)制度
- 無制限有給休暇制
- リフレッシュ休暇制度
- 選択的福利厚生(福祉ポイント)

業務遂行支援 自分の仕事に情熱を持つ人材の挑戦と情熱を応援します。

- 業務用タクシー代支援
- ガソリン代手当
- チームワークショップ・チームビルディング費用支援
- 残業・休日出勤の食費支援
- 出張・ホテル手当
- 新入社員歓迎イベント

健康管理 従業員がストレスとバーンアウト(燃え尽き症候群)を自ら調節しつつ効果的に働けるようサポートします。

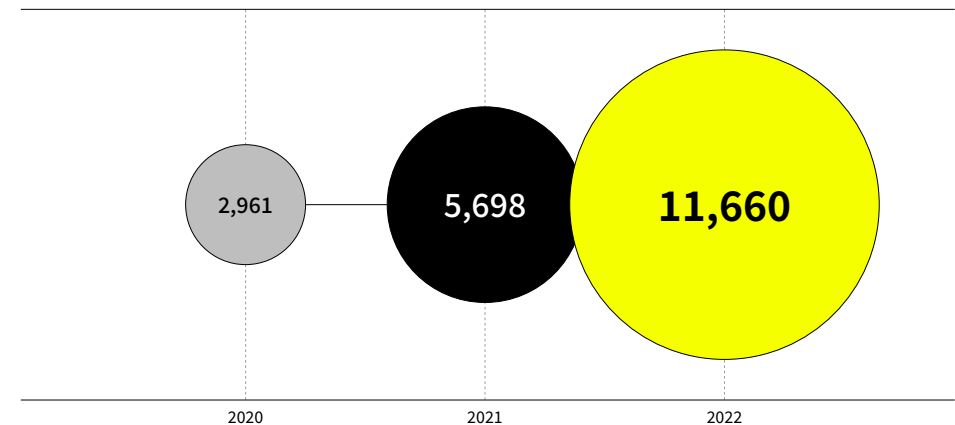
- 年一回の健康診断
- 心理相談サービス
- 社内健康管理室の運営
- 団体傷害保険
- フィットネスセンターのパーソナルトレーニング(龍山)
- フィットネス福利厚生(江南、板橋)

家族配慮制度 従業員が継続的に仕事と家庭の両立ができるようサポートします。

- 出産休暇6か月(有給)
- 育児休職1年(給与の50%を支給)
- 妊娠期および育児期の従業員の勤務時間短縮
- 慶弔見舞金:慶弔見舞金および慶弔休暇、花輪と造花支援(本人・兄弟・子どもの結婚、両親の古希、傘寿のお祝い、子どもの1歳のお祝い、本人・配偶者・子ども・両親・兄弟姉妹・祖父母の死亡)
- 休養施設(リゾート)支援
- 融資利子支援制度
- 看護休暇・介護休暇
- その他、疾病休職3か月(1か月目は有給、2か月目は50%、3か月目は無給)
- 乳幼児保育料支援

福利厚生費の支出推移

(単位:百万ウォン)



社内での健康管理および休憩施設

健康管理室の運営

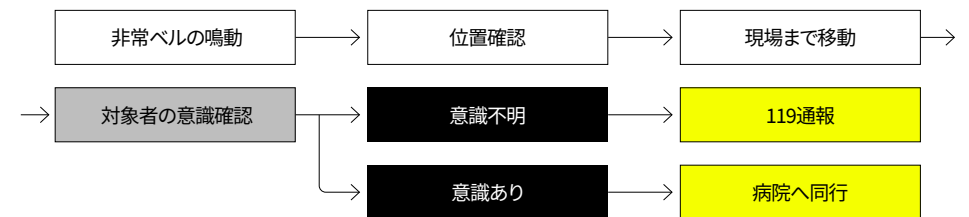
HYBEは、従業員の健康管理のため、産業看護師が常駐する健康管理室を運営しています。健康管理室には、常備薬や医療機器を備え、社内で患者が発生した場合、現場で応急措置を行います。2023年には産業医を新規採用し、健康管理室から社内クリニックに変更する予定です。



社内健康管理室

救急患者警報システム

HYBEは、従業員の安全保護と迅速な対応に向け救急患者警報システムを構築しました。従業員が緊急事態に陥った場合、迅速に救助を要請できるよう仮眠室、マッサージチェアルーム、シャワールーム、トイレに非常ベルを設置しました。非常ベルが作動すると、健康管理室の産業看護師がセキュリティ従業員と共に現場まで緊急出動し、患者に必要な応急措置を行った後、救急車が到着するまで患者を保護します。



多様な休憩スペース

HYBEは、従業員の健康を管理するため、龍山にあるオフィス内でフィットネスセンターを運営しています。HYBEの従業員なら誰でも24時間利用可能です。また、社内に仮眠室やマッサージチェアルーム、休憩とコミュニケーションのためのスペースであるライブラリーなど様々な休憩スペースが整備されています。



フィットネスセンター



ライブラリー

多様な組織文化プログラム

HYBEは、従業員の福祉と組織文化の健康的な発展のための様々なプログラムを運営しています。

HYBEカルチャーデー

HYBEの公式の休業日で、従業員は映画やミュージカルの観覧、オンラインクラス受講などで文化コンテンツを体験し、リフレッシュするための時間を過ごします。

カルチャーデーの活動内容

2019

上半期:ミュージカル『School of Rock』観覧
下半期:映画『アナと雪の女王2』観覧、
『HOUSE OF BTS』訪問

2020

上半期:ロッテワールド訪問、映画『スターウォーズ9』
観覧、「アルフォンス・ミュシャ展」観覧
下半期:趣味キット(石鹸DIY、ウッドカービング、
パズルなど)

2021

リアルタイムオンラインクラス選択参加(オンライン脱
出ゲーム、香水作り、MBTI診断、カリンパレッションなど)

ヒットマンとおしゃべり

HYBEの創業者であるバン・シヒョク議長と従業員たちが会話をする時間です。HYBEのビジョン、音楽産業に対する理解、働き方などに関するお互いの考えをフランクに共有し、水平的なコミュニケーションを実践します。



HYBEはしご

役職、職務、所属を問わず普段接点の少ない従業員同士がコミュニケーションできるランダムミーティングプログラムです。従業員同士の理解度と親密度を高め、協業を促進するきっかけとなります。



チアーズデー

HYBEの全従業員または法人別の従業員が全員集まり、有意義な成果をお互いに祝い鼓舞し合うイベントです。



パートナー企業との共存共栄

HYBEは、パートナー企業との共存共栄に向けパートナー企業の選定および運用規定を明文化しました。

パートナー企業の選定および運用ガイドライン

HYBEは、パートナー企業との公正な取引と共存共栄に向けた公正取引委員会の「協力企業の選定および運用ガイドライン」を準用し、パートナー企業の選定および運用規定を明文化しました。これによりパートナー企業との取引に対する高い透明性と公正性を確保し、共生を図るために努力しています。

パートナー企業との倫理実践協約書

HYBEは、パートナー企業との取引時に両者共に倫理実践協約書に署名し、健全で公正な取引秩序や倫理的で透明性の高い企業文化の定着に向け努力しています。

倫理実践協約に記載されているHYBEとパートナー企業の義務

HYBEの義務

1. 従業員に本件の取引に関する協議を行わせる場合、「パートナー企業」をはじめステークホルダーと公正で客観的な業務により信頼関係を維持し、本倫理実践協約、関連法令およびHYBEの就業規定などの遵守に向け取り組みます。
2. 従業員に職務に関する重要な情報および資料を個人または第三者の利益などのために私的に使用せず、職位を乱用してパートナー企業に不当な取引条件を強要するなどの不適切な行為をさせません。
3. いかなる名分であってもパートナー企業に請託や不当な要求など、一切の違法および非倫理的行為を禁じ、類似した要求に応じません。

パートナー企業の義務

1. パートナー企業の従業員は、HYBEと本件の取引に関する協議を進めるにあたり、透明性の高い公正な方法で関連法令と本倫理実践協約を遵守します。
2. パートナー企業は、入札価格の維持または落札のための談合を行ったり、他の業者との協定、決議、合意の下に自由競争を不当に阻害する一切の不正な行為をしません。
3. パートナー企業の従業員は、HYBEの従業員に対し、上記で定めた請託、不当な要求など、一切の違法および非倫理的な行為をしません。
4. パートナー企業が本倫理実践協約を違反したり違反の余地のある合理的な疑いが生じた場合、HYBEはパートナー企業に対し関連資料を要請することができ、パートナー企業は要請された日から5営業日以内に関連資料をHYBEに提供し調査に協力するものとします。
5. HYBEの従業員が上記の内容を違反した場合、パートナー企業はウェブサイト、Eメールまたは郵送でHYBEに通報することとし、HYBEは通報を受けた者に関する内容を機密として保持します。

パートナー企業の評価

HYBEは、技術評価、価格評価などの多様な項目が含まれるパートナー企業評価基準により毎月評価を行い、フィードバックを提供します。この評価によりパートナー企業の品質管理水準の現況を把握し改善を促します。

2021年には、パートナー企業評価基準に安全保健、環境経営、個人情報保護、倫理経営基準などのサステナビリティ経営関連の項目を10件追加しました。これらの項目のウエイトは合計38%(38点/100点満点)で、評価基準においてかなりの重要度を占めています。

HYBEは、取引金額を基準にした10大パートナー企業のサステナビリティ経営関連項目を別途で管理し、サステナビリティ経営教育および支援を通じて2024年までにサステナビリティ経営項目の平均点数を向上させる定量KPIを設定しました。

パートナー企業の評価基準に含まれるESG関連要素および加重値

品質方針&倫理宣言 3%

ISO 9001 3%

ISO 14001 3%

サステナビリティ経営戦略の推進 8%

MSDS^(*) 5%

有害物質検査 3%

振動・落下検査 3%

PL保険 5%

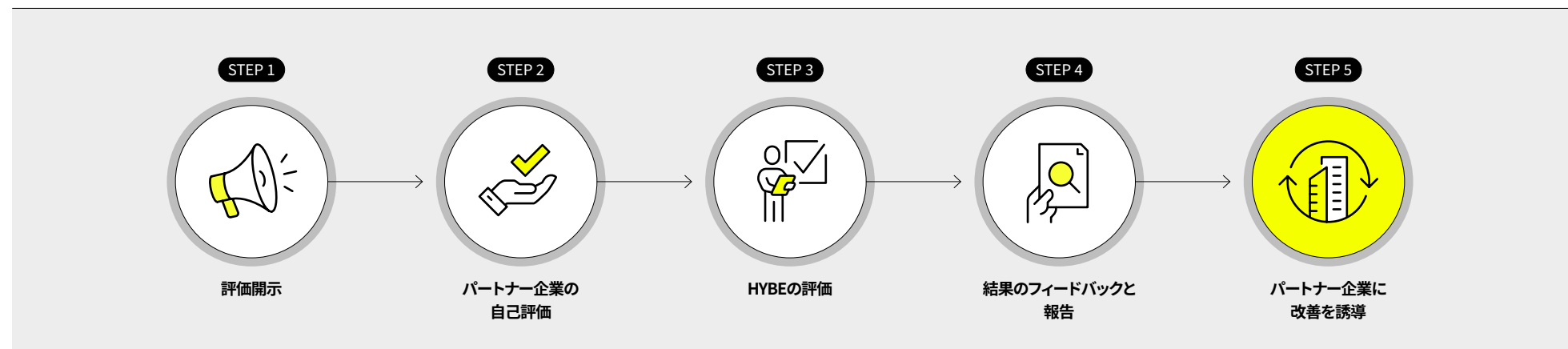
事故発生 _{_(*)}

事故対応力 5%

(*1) MSDS(Material Safety Data Sheet):物質安全保健資料、世界中で市販されている化学物質の登録番号、有害性、特性などを説明した明細書で、化学物質を安全に使用し、これによる災害を予防することを目的とする。

(*2)パートナー企業に起因する累計事故発生件数に応じて総点数から差し引いて反映

パートナー企業の評価プロセス



05

LEAD INDUSTRIES BY THE STANDARD

Contents

- 67 株主重視の経営
- 68 取締役会
- 72 透明性の高い企業情報の開示
- 73 廃棄物および使い捨て製品の使用削減
- 74 リスクマネジメント
- 75 気候変動への取り組み
- 78 労働安全衛生
- 81 品質マネジメント
- 82 情報セキュリティガバナンス

主な活動内容

HYBEは、株主の価値を高めると同時に専門性と独立性を持つ取締役会の監督とリスクマネジメントのもと体系的な経営活動を遂行しています。また、サステナビリティ経営を実践するため、法律や規制に対応し、内部方針とプロセスの策定に全社レベルで取り組んできました。さらにはHYBEの情報やファンの個人情報保護に向け情報セキュリティガバナンスを構築しました。

株主重視の経営

HYBEは、株主の権利保護と適切な株主還元に向け取り組んでいます。

株主還元方針

HYBEは、株主の価値を最大化させるため中核となる主力事業に再投資しています。また、透明性の高い株主還元方針の実現に向け、2024年から支配株主に帰属する連結純利益の30%以内で配当と自社株買いを毎年実施する予定です。

株主の権益保護

HYBEは、経営説明会にて年度および四半期ごとの暫定実績、会社のビジョンと新事業計画、中長期成長戦略などの主要経営情報を高度の透明性をもって開示しています。HYBEは、株主の多様性や投資家の利便性に配慮し、経営説明会のオンラインストリーミングおよび録音ファイル、英語通訳サービスを提供しています。

株主総会に参加できない株主の議決権を保障し、利便性を高めるため、2021年定期株主総会から電子投票制度と電子委任状を導入しました。郵便、Eメールおよびインターネットのホームページなど多様な方法で議決権の行使が可能になるよう株主に配慮しています。

電子投票による議決権の行使

年度	期数	行使議決権	行使割合(%)
2020年	第16期定期株主総会	1,899,767株	5.3
	臨時株主総会 (05.14)	2,996,349株	8.4
2021年	臨時株主総会 (12.16)	3,814,248株	9.8
	第17期定期株主総会	4,541,771株	11.0
2022年	第18期定期株主総会	1,477,048株	3.6

従業員持株会の設立

HYBEは、2020年8月に従業員持株会を設立し、組合員の99%(合計814人)に該当する従業員に1,132,518株を従業員持株会の株式として分配しました。2021年9月、自社株義務預託期間の終了により、組合員を対象に引き出され、2022年末時点で約83%の従業員が引き出し、最初の分配株式の95%が引き出されました。

取締役会

HYBEの取締役会は、多様な分野で専門性を持つ専門家で構成されています。各取締役会は独立した意思決定により取締役会中心の経営を実践しています。

取締役会の運営

取締役会の構成

HYBEは、定款33条に基づき、全取締役会に占める社外取締役の割合が4分の1以上になるように構成しています。2022年12月末時点の取締役会の構成員9人中、5人が社外取締役であり、過半数以上を占めています。

HYBEの取締役会は商法施行令第34条に基づき、HYBEを含む最大2つの会社で兼職が可能ですが、「取締役の他企業での役員兼任」に関する事項を取締役会の決議事項として定めており、取締役会の事前承認を受けずに他企業の取締役を兼任することはできません。

取締役会開催現況

2022年は取締役会が合計13回招集されました。取締役会資料は取締役会開催前に提供され、必要に応じて関連する従業員の参加のもと、案件について説明を行います。合計62件の案件が決議され、取締役の参加率は83%でした。

取締役会の成果評価

HYBEは、各取締役の取締役会と取締役会内部の委員会への出席および参加現況などを別途把握し、取締役の再選任などにおいて参考にします。この内容は事業報告書を通して開示されます。今後、取締役会と取締役会内部の委員会に関する定期的で体系的な成果評価を実施してきます。

専門経営者体制

HYBEは、取締役会を中心に専門経営者体制を採用し運営しています。現在、パク・ジウォン代表取締役は創業者のパン・シヒョク議長と縁戚関係ではなく独立した専門経営者です。独立した意思決定と経営活動に向け代表取締役と取締役会の議長を別途配置し、所有と経営を分離しました。

取締役のスキル構成表(Board Skills Matrix)

区分	パン・シヒョク	パク・ジウォン	Scott Samuel Braun	キム・ビョンギョ
法律およびリスクマネジメント				○
企業経営・投資	○	○	○	○
会計・財務		○		
産業・経済	○	○	○	
技術		○		
コミュニケーション・ステークホルダー対応	○			
環境・ESG		○		

区分	イム・スヒョン	ハム・ユンシク	パク・ヨンホ	イ・ミギョン	チョ・ベクキュ
法律およびリスクマネジメント		○			
企業経営・投資	○	○	○		
会計・財務	○				
産業・経済	○				○
技術			○		○
コミュニケーション・ステークホルダー対応		○		○	
環境・ESG		○		○	

取締役会の構成

区分	氏名	性別	役職	主な経歴	在任年数
社内取締役	バン・シヒョク	男	取締役会議長	現)HYBE取締役会議長 元)HYBE(旧Big Hit Entertainment)CEO	18年1か月
	パク・ジウォン	男	CEO	現)HYBE CEO 元)ネクソンジャパングローバルCOO 元)ネクソン코리아CEO	2年10か月
	Scott samuel Braun	男	HYBE AMERICA CEO	現)HYBE America CEO 現)Ithaca Holdings LLC CEO 現)Scooter Braun Projects CEO	1年10か月
その他非常勤取締役	キム・ピョンギョ	男	-	現)ネットマーブル専務 元)サムスン物産 元)法務法人ソジョン	2年8か月
社外取締役	イム・スヒョン	男	監査委員会 委員長	現)DSプライベートエクイティ代表取締役 元)パインツリー資産運用(株)代表取締役 元)パインツリーパートナーズ(有)専務 元)企画財政部など政府部署に勤務	3年4か月
	ハム・ユンシク	男	内部取引委員会 委員長	現)優雅な兄弟たち副社長 元)法務法人KHL代表弁護士 元)キム&ジャン法律事務所弁護士 元)部長判事(蔚山地方裁判所)	2年8か月
	パク・ヨンホ	男	報酬委員会 委員長	現)ラグナインベストメント代表取締役 現)ジョイシティCIO 元)ジョイシティ代表取締役 元)エヌドリーム代表取締役 元)4時33分代表取締役	1年10か月
	イ・ミギョン	女	ESG委員会 委員長	現)環境財団代表 現)水素経済委員会委員 現)炭素中立委員会委員	1年1か月
	チョ・ベクキュ	男	社外取締役候補 推薦委員会 委員長	現)国民大学機械工学部副教授 現)韓国ロボット学会歩行操作技術研究会研究副会長 現)国防ロボット学会理事	1年1か月

取締役会内の専門委員会

専門委員会の運営

HYBEは、定款および取締役会運営規定に基づき、取締役会が必要と判断する委員会を関係法令に従い取締役会内に設置し運営します。取締役会内の専門委員会は、取締役会の案件のうち、該当する委員会と関連する案件を議論するため、取締役会の前日に開催します。

取締役会内の専門委員会の構成

区分	役割	委員長	参加人数			委員会 開催数 (2022年)	議論された 案件数 (2022年)
			社内取締役	社外取締役	非常勤取締役		
監査委員会	取締役および経営陣の業務監督および財務現況と内部統制を含む会社業務の監査	イム・スヒョン	-	イム・スヒョン ハム・ユンシク パク・ヨンホ	-	1	1
社外取締役候補推薦委員会	社外取締役候補の能力などを検証し株主総会に推薦	チョ・ベクキュ	-	チョ・ベクキュ パク・ヨンホ イ・ミギョン	-	1	1
内部取引委員会	特殊な関係同士の内部取引の透明性を検討および承認	ハム・ユンシク	-	ハム・ユンシク イム・スヒョン パク・ヨンホ	-	6	13
ESG委員会	会社の環境、社会、ガバナンスに関する方針と主要事項の審議および会社のサステナビリティ経営の戦略的推進	イ・ミギョン	パク・ジウオン	イ・ミギョン ハム・ユンシク	-	-	-
報酬委員会	取締役の報酬限度、取締役に対する報酬体系の検討および審議	パク・ヨンホ	-	パク・ヨンホ イム・スヒョン イ・ミギョン	-	-	-

監査委員会の構成

監査委員会は全員社外取締役で構成され、取締役会および経営陣から独立した立場で客観性を維持します。社外取締役は全員が会計・財務、法律、経営、技術など多様な分野の専門家で構成され、専門性が確保されています。

監査委員会の運営

監査委員会は年一回以上の定期会議を開催します。2021年と2022年はそれぞれ1回の監査委員会が開催され、監査委員全員が参加しました。監査委員会は委員長が委員会を招集したり、各監査委員が委員長に議案と招集理由を明らかにしたうえで委員会の招集を要求することができます。監査委員会を招集するためには、監査委員会規定第14条に基づき、会議日時および場所を決め、会議の前日までに通知しなければなりません。ただし、委員会は監査委員全員の同意を得て、事前通知の手続きを省略して随時会議を開催することができます。

監査委員会の独立性と専門性

HYBEは、監査委員会の候補者を選定するにあたり、独立的で客観的に監査業務を遂行することができるかどうかを検討します。個別に取締役の経歴や資格を検討し、監査業務の専門性を確保できる候補者かどうか確認した上で選定します。また、監査委員会の業務に必要な教育により専門性を確保します。

監査委員会による外部監査人の選任

HYBEは、株式会社等の外部監査に関する法律に基づき、監査委員会が外部監査人を選定します。監査委員会は、外部監査人の選定時、監査人候補ならびに独立性および専門性、監査報酬、監査時間、監査役などの監査計画の適正性を総合的に評価します。外部監査人は、四半期ごとに財務諸表の検討または監査結果を監査委員会に報告・協議し、報告事項には中核となる監査事項、監査違反事項および内部会計管理制度評価が含まれます。

内部取引委員会

内部取引委員会は、全員が社外取締役で構成され、50億以上の大規模な内部取引を事前に審議します。経常的な営業活動で発生する売上、買入取引および報酬、費用を除いた資金貸与および有価証券提供行為などについて事前に審議し、経常的な営業活動であっても重要な取引と判断されるものについて事前審議を遂行します。内部取引委員会は、系列会社の内部取引現況について報告を受け、細部現況に対する資料調査を要請することができ、法令および規定に対し重大な違反を招く内部取引は、取締役会に是正措置を建議します。2022年は合計6回の内部取引委員会が招集され、合計13件の案件が決議されました。

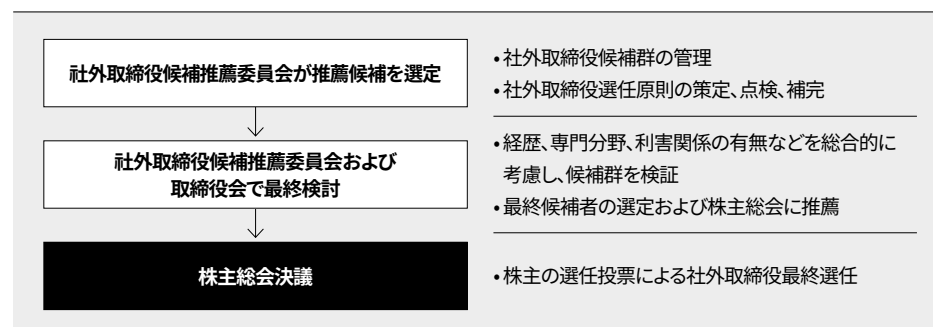
報酬委員会

2022年から取締役の報酬の限度と報酬体系を検討・審議するため、報酬委員会を設置および運営しています。報酬委員会は、全員が社外取締役で構成され、独立性を確保しています。同委員会で議論された取締役の報酬の限度と報酬体系は株主総会で承認されます。

社外取締役候補推薦委員会

HYBEは、2020年から社外取締役候補推薦委員会を運営しており、本委員会で社外取締役候補の能力を検証し、取締役会および株主総会に社外取締役候補を推薦します。社外取締役候補推薦委員会は、全員が社外取締役で構成され、独立性と高い透明性を確保しています。

社外取締役の選任の流れ



ESG委員会

HYBEは、環境と社会に及ぼす肯定的な影響を拡散し、定期的な観点で持続可能な成長を成し遂げられるよう、2022年にESGに関する懸案についての最高意思決定機構として取締役会内に専門委員会のESG委員会を新設しました。ESG委員会は、ESG関連の諸々の業務の執行に対する審議、議決を監督する役割を担当しています。ESG関連の案件は取締役会に報告されており、2023年6月に第1回ESG委員会を開催しました。

ESG関連の取締役会報告案件

区分	案件
2022年6月28日	ESG経営ロードマップ報告の件
2022年7月26日	ESG委員会の設置および運営規定制定の件
2022年9月27日	ESG経営進行状況報告の件
2022年12月27日	ESG TFT活動報告の件
2023年4月25日	HYBEサステナビリティレポート発行の件

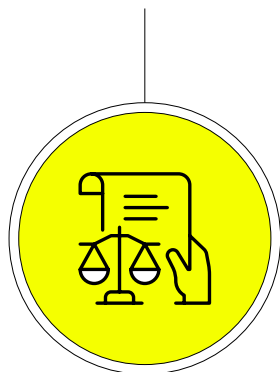
ESG委員会の報告案件(2023年6月)

区分	案件
第1回ESG委員会	サステナビリティレポート発行の件
	ESG委員会の名称変更の件
	ESG委員会の運営規定変更の件
	サステナビリティ経営実務協議体発足の件
	サステナビリティ経営戦略課題報告の件

透明性の高い企業情報の開示

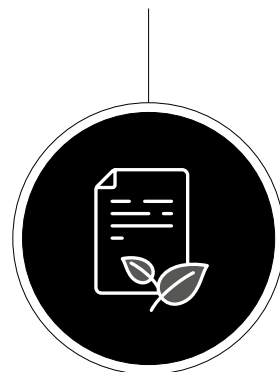
HYBEは透明性の高い企業情報の開示によりステークホルダーに正確な情報を適時提供しています。

法律に基づく財務情報の開示



HYBEは、株主の価値を高めるため財務情報の開示を積極的に履行しています。資本市場と有価証券市場の規定に基づき、透明性の高い財務および非財務情報を開示しており、ガバナンス関連の業務処理と手続きについて開示し、透明性の高いガバナンスを実現します。また、定款と取締役会の活動現況をホームページとDARTおよびKINDなどの開示システムに掲載し、ステークホルダーに有用な情報を透明性を持って提供しています。

サステナビリティレポートの開示



HYBEは、2022年サステナビリティレポートの開示によりサステナビリティ経営の方向性および現況を公開しています。今後も定期的の開示することでステークホルダーとコミュニケーションをとっていきます。

韓国会計大賞受賞



韓国会計大賞は、金融委員会、金融監督院、国税庁の後援により、株式会社などの外部監査に関する法律適用対象企業のうち、事業報告書の評価により高度の透明性が認められた企業が表彰されます。HYBEは、積極的に内部統制システムと連結会計システムを高度化し、2022年に第5回韓国会計大賞で最優秀賞を受賞しました。

適法な税務管理



HYBEは、税法遵守が経営の重要な一部分であるとの認識のもと、原則に基づき税金を申告し納付しています。納税義務を真摯に遂行するため、すべての取引において韓国および海外の租税法を厳格に順守しています。税務リスクが発生した場合、必要に応じて外部の専門家のサポートを受け対応し、新たな税務リスクの防止および対応に取り組みます。

廃棄物および使い捨て製品の使用削減

HYBEは、プラスチックの使用および廃棄物の削減により環境保護を実践しています。

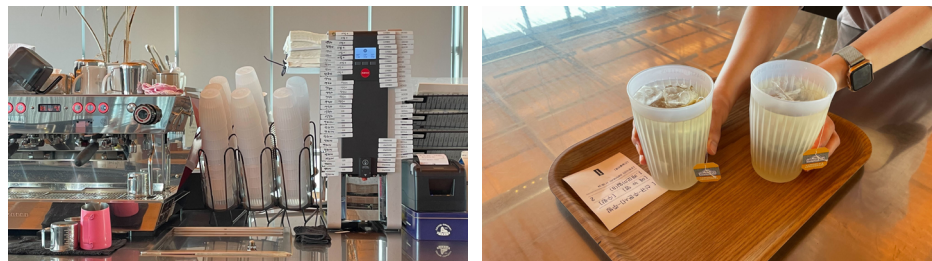
プラスチックの使用削減および包装の簡素化

HYBEは、商品の企画段階から関連部署と積極的にコミュニケーションをとり、CDのプラスチック使用を減らし、包装の簡素化に向け努力しています。



社内リユースカップの導入

HYBEは、タウンホールミーティングで使い捨て製品の使用削減に関する従業員からの提案を受け、社内での使い捨てカップの使用を中断し、リユースカップに置き換えました。また「リユースカップ1日1個使用キャンペーン」を実施し、リユースカップの日次使用量および出勤者数に対する使用量の割合を調査しています。将来的には、回収率のデータも集計・管理することを目標にしています。



社内カフェのリユースカップ

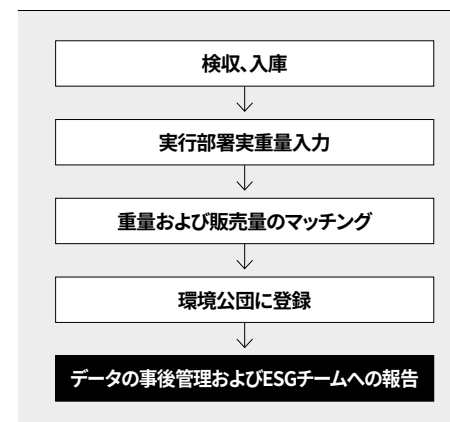
廃棄物負担金およびEPR分担金

HYBEは、廃棄物負担金^(*)およびEPR分担金^(*)を徹底して納付するため、プラスチックの重量などのデータ管理体系を策定しました。担当部署では関連機関とのコミュニケーション、グループ内での教育、データ収集、イシューへの対応などを行っています。

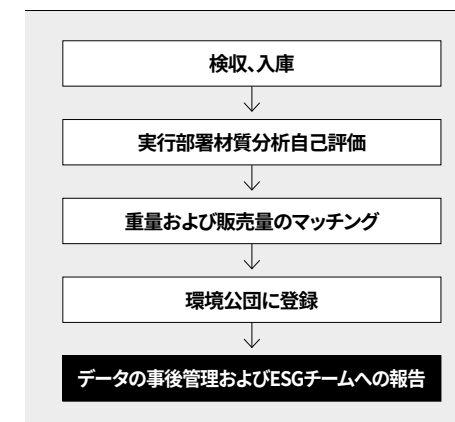
(*) 廃棄物負担金制度: 廃棄物の発生を抑制し資源の浪費を防ぐため、有害物質を含んでいた、リサイクルが難しく廃棄物を管理するうえで問題が発生する可能性のある製品、材料、容器の製造業者または輸入業者にその廃棄物の処理にかかる費用を負担させる制度。HYBEの場合、アルバムCDの生産に使用されるプラスチックおよびグッズ商品などによるプラスチック廃棄物の処理費用を負担する義務がある

(*) EPR(Extended Producer Responsibility) 分担金制度: 生産者責任リサイクル制度、製品の生産者や包装材を使用した製品の生産者にその製品や包装材の廃棄物に対し、一定量のリサイクル義務を与え、リサイクルを行わせ、これを履行しない場合はリサイクルにかかる費用以上のリサイクル賦課金を生産者に科する制度。HYBEの場合、アルバムのプラスチックCDケースおよび熱収縮フィルムなどの包装紙とグッズを包む包装材に対する分担金の義務が発生する

廃棄物負担金の対応の流れ



EPR分担金の対応の流れ



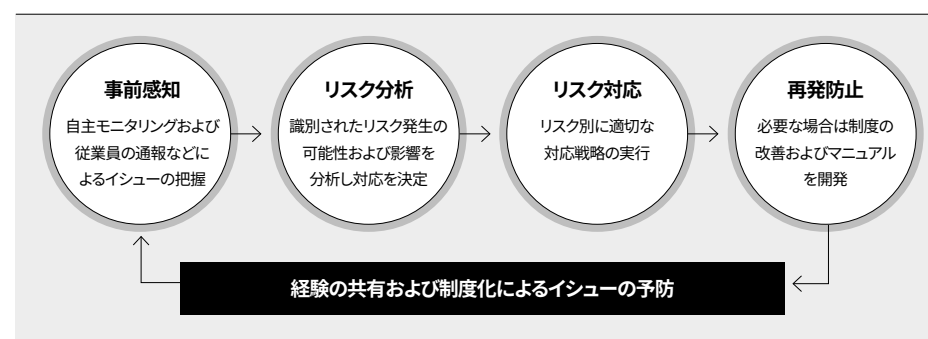
リスクマネジメント

HYBEは、体系的なリスクマネジメントによりイシューの発生を事前に予防し対応します。

リスクマネジメントプロセス

HYBEは、エンターテインメント産業の急激な環境の変化とリスクに対応するため、担当部署を運営しリスクを管理しています。主要なリスクを定義し、潜在的なリスクに対応するためのプロセスを策定しました。

リスク発生時の段階別対応



主要なリスクの定義および対応現況

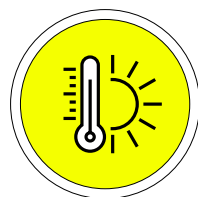
区分	リスク	リスクの定義	潜在的リスク	対応状況
非財務リスク	情報セキュリティリスク	正常なサービス活動を妨害する不正行為またはシステムに対する悪意のあるハッキングにより情報セキュリティイシューが発生するリスク	<ul style="list-style-type: none"> サイバー攻撃および内部システムの誤作動などによる情報流出事故の発生時に企業のブランドイメージが悪化する可能性 内部者の情報流出事故による経営資源の不当な流出の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ管理体系の構築 情報セキュリティおよび情報保護認証の強化 情報セキュリティリスクに対する事前・事後の対応
	マーケティングリスク	業務全般に関連するイシューについて事前の予防が困難または事後の対応が適時に行われないリスク	<ul style="list-style-type: none"> 評価とイメージの悪化による、企業価値の否定的な影響が発生する可能性 	<ul style="list-style-type: none"> リスク発生時の段階別の事前・事後対応 過去に発生したリスクに対する経験の共有および制度化によるイシューの予防
	パートナー企業リスク	パートナー企業選定過程またはパートナー企業が供給する製品およびサービスにイシューが発生し、会社に否定的な影響を及ぼすリスク	<ul style="list-style-type: none"> 会社の財務的損失または会社およびアーティストのイメージ悪化の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 入札を通じた公正なパートナー企業の選定および品質の事前・事後管理 パートナー企業の供給コンテンツなどに対する事前・事後の監督強化 請負安全保健協議体の運営
財務リスク	為替・利子・信用・税務リスク	為替、金利、信用度、税金などの急激な変動が発生するリスク	<ul style="list-style-type: none"> 資本市場内での競争力低下の可能性 事業の連続性確保に関するリスク発生の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 財務リスクに対する日頃の管理 税務的イシューに対する管理と徹底した税金の納付

気候変動への取り組み

HYBEは、気候変動に伴う環境への影響を最小化するため努力しています。

環境に配慮した設備

HYBE龍山オフィスは、エネルギーの効率的な使用および再生エネルギーの活用に向けた様々な設備を備えています。

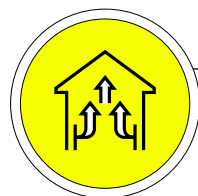


熱効率の向上

- 建物全体に断熱措置がとられており、高性能かつ高气密な窓と扉で熱の損失を防止します。

水資源の節約

- 雨水タンクで確保した最大131トンの水資源を1階外部の植木に使用しています。
- 地下フロアに節水型シャワー施設とトイレを整備しています。



空気循環および冷暖房

- 外気冷房(フリークーリング)により空気を循環させており、地下から地上1階の空調設備に地中熱を利用した再生可能エネルギー冷暖房を導入しました。
- 高効率冷暖房、熱源設備、空調用送風機およびボイラーでエネルギーを節約しています。

電力の効率性改善

- 電力自動制御システムを構築しました。
- 事務スペース全体でLED照明を使用することで電力使用の効率性を高めています。



環境に配慮した出退勤

HYBEは、業務用車両に電気自動車を一部導入しており、今後も環境に配慮した車両の割合を持続的に拡大していく計画です。オフィス敷地内には電気自動車で出退勤する従業員のために9台の電気自動車充電施設が整備されているほか、自転車専用の駐輪場を設置し自転車での出退勤を奨励しています。

今後の計画

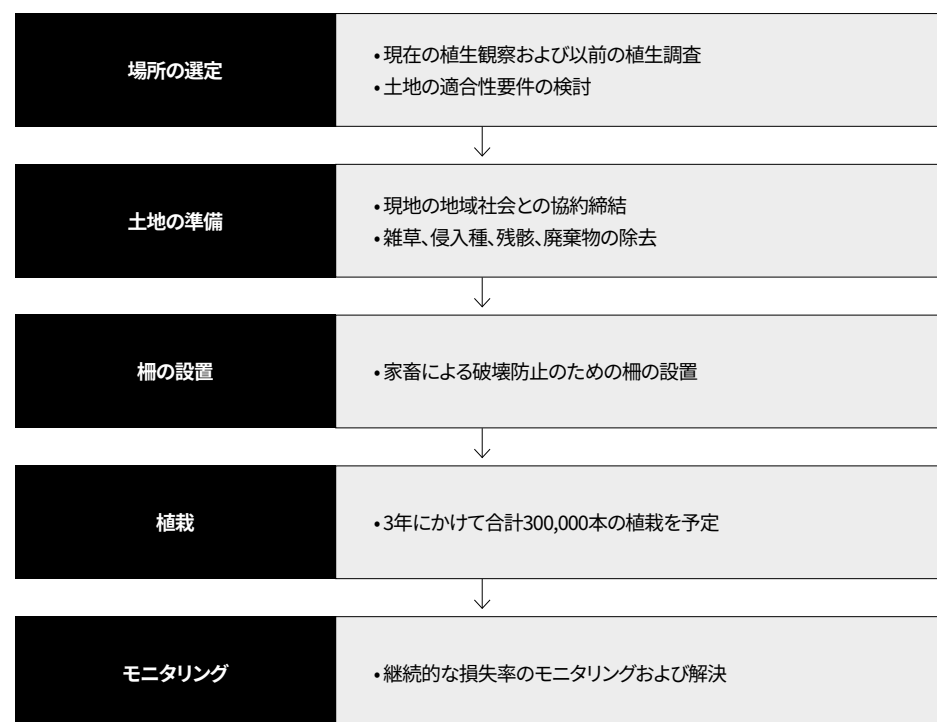
HYBEは、オフィス内への環境に配慮した設備の追加を計画しています。BEMS(ビル・エネルギー管理システム)の導入、会議室の自動照明制御装置と待機電力遮断装置の整備、タイマーコンセントの設置および再生エネルギーの導入などを検討中です。

エコビレッジプロジェクト

HYBEはCO₂排出量の削減に向け環境財団と協業し、バングラデシュのマングローブ林で造林事業を行い、約50haに合計300,000本の木を植える予定です。これにより約4,000トン^(*)のCO₂吸収効果が期待でき、造成される森林付近の村の環境に配慮したインフラ構築にも貢献する予定です。

(*) 気候変動に関する国際連合枠組条約(UNFCCC)のCDM(Clean Development Mechanism)事業登録事例を参考に算定しました。

プロジェクト計画



今後の事業拡大

HYBEは造林事業を全社レベルの環境プロジェクトとして位置づけ継続的に運営していきます。HYBE AMERICAおよびHYBE JAPANの参加も検討しており、地方自治団体および国際機構とのパートナーシップに基づき、造林事業によるCO₂排出量削減という目標を達成するために行動していきます。

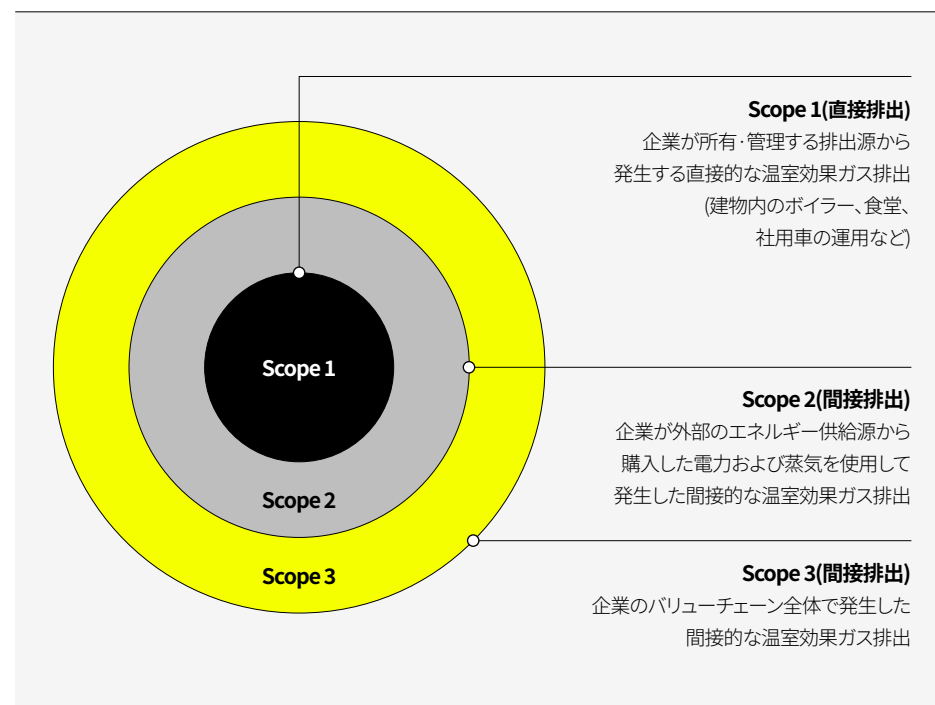


温室効果ガスの排出管理

HYBEは、温室効果ガス排出量の削減に向け、2022年、Scope 1、Scope 2の温室効果ガス排出量の算定体系を構築しました。今後、Scope 3の排出量管理戦略を具体化していく予定です。

算定範囲

Scope 1、Scope 2の温室効果ガス排出量の算定範囲は、すべての系列会社の建物および車両を含みます。



算定結果

2022年度の温室効果ガス総排出量は7,533tCO₂eqであり、CO₂、CH₄、N₂Oが含まれます。暖房、車両使用によるScope 1の排出量は約32%、外部エネルギーの購入および使用によるScope 2の排出量は約68%を占めます。建物別の排出量のうち、龍山オフィスの排出量は4,329tCO₂eq、法人別の車両使用による排出量は約897tCO₂eqです。HYBEは本結果を踏まえ、漸進的な温室効果ガス排出量の削減戦略を策定する予定です。

2022温室効果ガス排出量

範囲	単位	韓国	米国	日本	合計
Scope 1	tCO ₂ eq	2,145	221	15	2,381
建物	tCO ₂ eq	1,259	221	4	1,484
車両	tCO ₂ eq	886	-	11	897
Scope 2	tCO ₂ eq	4,420	606	126	5,152
建物	tCO ₂ eq	4,420	606	126	5,152
車両	tCO ₂ eq	-	-	-	-
合計	tCO ₂ eq	6,565	827	141	7,533

労働安全衛生

HYBEは、安全関連の法規を遵守し従業員の安全を最優先に考えます。

安全衛生管理体制および安全衛生経営システム

HYBEは、従業員が安心して働ける職場を実現するため、2022年に安全衛生管理体制を構築しました。この体制のもと、関連法規で要求される項目に関する現況を把握し、履行有無を管理しています。

安全衛生経営委員会

HYBEは、重大災害処罰法施行令第5条に基づき、安全衛生経営委員会を設置し、半期に1回以上会議を開催しています。安全衛生経営委員会では、安全衛生管理法規事項と事業場の安全管理およびその他の安全管理活動の履行などを議論します。

安全および衛生に関する経営方針

1. 会社は、経営活動においてすべての意志決定時に安全と衛生を最優先基本要素とする。
2. 会社は、産業安全衛生法と安全衛生管理規定を遵守し、安全のための事業場の危険要素改善活動に積極的に参加する。
3. 会社は、安全と衛生の目標を無災害と位置づけ、これを達成するために労働者に対する体系的な教育を継続的に実施する。
4. 会社は、事故発生時の報告体系の迅速な対応と徹底した原因調査により再発防止および災害事故の予防管理に最善を尽くす。
5. 会社は、労働者の安全と衛生を中心に安全衛生経営体系を構築し、継続的な改善により安全で快適な労働環境を提供する。

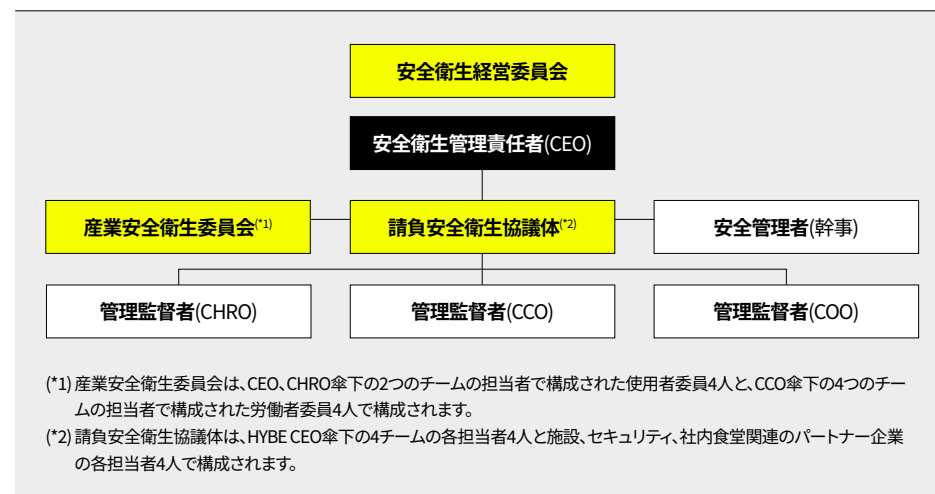
産業安全衛生委員会

HYBEは、産業安全衛生法第24条に基づき、安全および衛生に関する重要事項を審議し、議決するため、産業安全衛生委員会を構成し運営しています。産業安全衛生委員会は、毎四半期ごとに開催され、事業場の産業災害予防計画の策定、安全衛生管理規定の制定および改定、労働災害の原因調査および再発防止対策策定に関連する事項などを議論します。

請負安全衛生協議体の構成

HYBEは、産業安全衛生法第64条に基づき、安全および衛生に関する議論のため、パートナー企業の担当者とHYBEの担当者を含む請負安全衛生協議体を構成しました。請負安全衛生協議体は毎月1回開催されます。

安全衛生組織体系



労働災害の割合

区分	単位	2020年	2021年	2022年
適用労働者数 ^(*)	人	952	1,177	1,393
労働災害の件数	件	0	0	0
死亡者	人	0	0	0
負傷者	人	0	0	0
業務関連の疾病発病件数	件	0	0	0

(*) 正規雇用者および非正規雇用者を含む合計従業員数が対象

災害・災難発生時における対応組織の編成およびマニュアルの策定

HYBEは2022年、安全衛生経営委員会の会議を通し、災害・災難などの非常事態発生時に適時対応できるようマニュアルを樹立しました。火災、地震、ガス漏れ、エレベーター関連の問題などタイプ別に災難を細分化し、災害・災難が発生するタイミングを昼間および夜間、休日とに分け、各状況に適切な対応マニュアルを提示します。マニュアルは非常事態時発生時、従業員がCEOと安全担当チームの指揮のもと、安全に避難できるよう各関連部署別の役割を細分化し説明しています。

施設および災難の安全管理

HYBEは、毎年1回従業員を対象にオフィスでの火災および地震発生時に被害を予防するための火災および地震避難訓練を実施しています。これにより全従業員の実際の災難時の対応能力を強化し、安全管理の重要性を周知します。

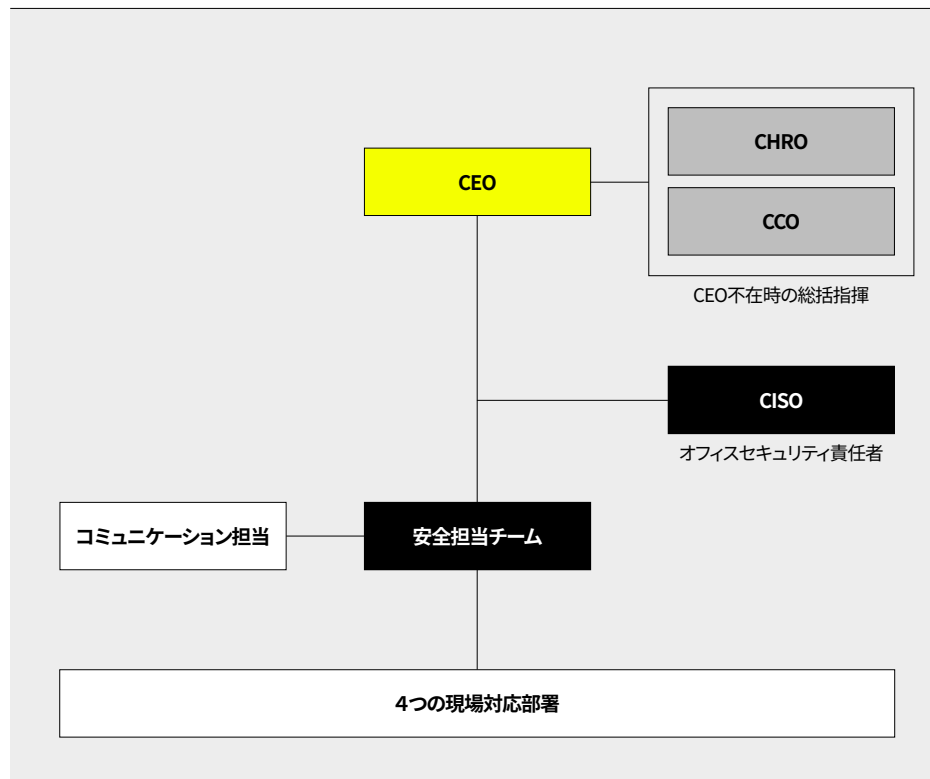
HYBEは毎年1回、龍山オフィスの安全点検を実施しており、2023年は龍山オフィスだけでなくHIM GANGNAMおよびT&Dセンターでも施設の安全点検を遂行する予定です。

今後もHYBEは、定期的に施設安全点検の結果の共有し、従業員のオフィスの安全に対する信頼度を高め、有害危険要因を事前に解決するために積極的に取り組んでいきます。

感染症に対する対応

HYBEは新型コロナウイルスの感染拡大後、従業員およびアーティストの感染を予防するため、「新型コロナウイルスへの対応マニュアル」を策定し、感染症対策措置を講じました。また、在宅ワークを奨励し、従業員およびアーティストを対象にマスク、手指消毒剤および抗原検査キットを支給しました。今後、医師や看護師が常駐する社内クリニックにて感染症の診断や治療に積極的に対応していきます。

災害・災害対応組織体系



災害・災害発生時の対応

役割	担当部署	対応活動
総括	CEO	対応総括指揮(不在時の優先順位1位:CHRO、2位:CCO)
オフィスセキュリティ	CISO	外部の行政機関の出入り(警察署、消防署など)によるオフィスのセキュリティ管理
指揮部署	CHRO傘下の安全担当チーム	対応に向けた関連部署の指揮
状況伝達およびコミュニケーション対応	CCO傘下の担当部署	従業員の避難、安全のための社内状況および指針の伝達 コミュニケーションチャンネル アーティストを避難させるためのレーベルの状況伝達および管理
避難誘導チーム	CHRO傘下の担当部署	地上階全体(2階～PH階)の従業員の避難案内 (社内食堂:非常事態発生時にガス栓をすべて閉めた後に避難) 1階から外縁部の避難場所まで従業員の避難を案内 (セキュリティ会社:非常事態発生時、地下階全体(B2階～B7階)の従業員の避難を案内)
施設業務支援		建物管理チームと協力し従業員の安全確保および施設(機械、電気、空調)の復旧支援 (建物管理チーム:災害発生時に避難放送を行い、火災鎮圧、避難支援)

品質マネジメント

HYBEは、安全で高品質な製品を製造するため、総合的な品質マネジメント体系を策定しました。

品質マネジメント方針

HYBEの全従業員は、製品生産時の価値判断の優先順位を安全>品質>生産性の順に置いています。これをもとに製品の安全を最優先に考え、管理しています。

品質管理体系

HYBEは、入庫から出荷に至るまでの総合的な品質管理体系を確立し、すべての製品はこうした体系に沿って製造されます。



品質の事前管理

HYBEは、パートナー企業を選定する際に公開入札方式で公正性を高め、入札時から品質要求条件を事前に開示し、不良品質コストを最小化します。品質管理および製造基準を明確にするため、タイプ別に別途の基準書を導入しており、管理水準に満たない企業は点検を行い事前に管理します。

品質製造管理

製造過程では品質基準遵守の有無と品質の偏りを点検します。検証済みの品質管理機関であるSGS^(*)とKCL^(**)に全製品の品質管理を委託し、ハイリスク製品は直接品質管理を実施します。

(*) SGS(General Society of Surveillance)

(**) KCL(Korea Conformity Laboratories): 韓国建設生活環境試験研究院

品質の事後管理

製造後はプロセス、物量、納期、納品、品質、不良管理、価格提示および事故制御など総合的な評価を実施し品質改善を実施します。正確に評価するため、統計データを高度化し、産業安全法および重大災害処罰法などの法令要求事項に合わせて品質を管理します。

品質パフォーマンスの強化

HYBEは、2020年から安全および品質管理システム(運営標準、基準書、運営手順)を導入し、パートナー企業に事前に配布し教育を行っています。また、品目別の安全検査の適切性、国別の要求事項を毎年アップデートして管理しています。

製品認証管理および製造物責任保険への加入

HYBEは、パートナー企業の評価基準の1つとしてISO 9001、ISO 14001認証獲得の有無を検討し、製品について海外や韓国の機関(SGS、KCL)認証およびCPSIA^(*)認証管理を施行しています。また転写製造物(アルバム、公式商品など)をカバーする製造物責任保険に2022年に加入しました。

(*) CPSIA(Consumer Products Safety Improvement Act): 米国消費者製品安全改善法

情報セキュリティガバナンス

HYBEは、情報セキュリティガバナンスの構築を通し、会社および従業員の情報を安全に保護し、顧客の個人情報を厳格に管理します。

情報セキュリティガバナンス

HYBEの業務過程で生産されるすべての情報は、営業上の秘密に該当し、その所有権はHYBEに帰属します。HYBEの全社レベルの情報セキュリティ組織は、従業員に求められる情報保護活動を積極的に支援し、体系的なセキュリティ管理を遂行します。

情報セキュリティ方針は、情報通信網法、個人情報保護法などの関連法律に基づき、情報方針書と6種類の細部指針および詳細ガイドラインを基盤として運営されます。また、従業員の情報セキュリティの重要性に対する認識向上のため、「情報保護のための従業員のセキュリティ規則」を策定しました。

情報保護のための従業員のセキュリティ規則

業務情報及び作業物の管理に注意	内部情報の外部への持ち出しに注意	オフィス内の主要資料の放置に注意
1. 公衆の場及び知人同士の会話に注意	1. メール送信時に注意 (添付ファイル)	1. 印刷物の破砕
2. 訪問者及びパートナー企業の写真撮影に注意	2. 外部ファイル転送に注意 (個人メッセージ／個人ストレージの持ち出し禁止／カカオトーク、NDドライブなど)	2. 印刷物の整理整頓 デスクに置かれたノートパソコン、重要印刷物、メモリなどが放置されないよう注意
3. SNSの使用に注意	3. 退職過程における情報持ち出しの禁止	3. 部署／個人のキャビネットおよび個人の引き出しの施錠

情報保護管理組織体系

HYBEの情報保護管理組織体系は、CISO(情報保護最高責任者、以下「CISO」という。)およびCPO(個人情報保護責任者、以下「CPO」という。)傘下に構成されている4つ(*)のチームと情報保護実務協議会および個人情報保護協議体で構成されます。

情報保護委員会および個人情報協議体により全社レベルのセキュリティ 이슈とセキュリティリスクの管理を議論します。CISO傘下の各チームは、セキュリティポリシーの策定、セキュリティシステムの構築と運営、セキュリティの点検およびモニタリングなどにより有機的な業務の流れを体系化しました。

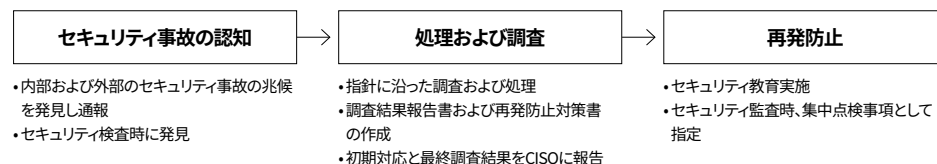
情報セキュリティに対する脅威の予防

HYBEは、セキュリティの脅威に対し事前に対応するため、対外模擬訓練(22年金融保安院Weverse Company)に参加しており、システム構築時や年一回の定期点検、情報セキュリティ点検は随時実施しています。提供中のサービスに対しては、専門のセキュリティ関連会社でリアルタイムでモニタリングを実施しています。

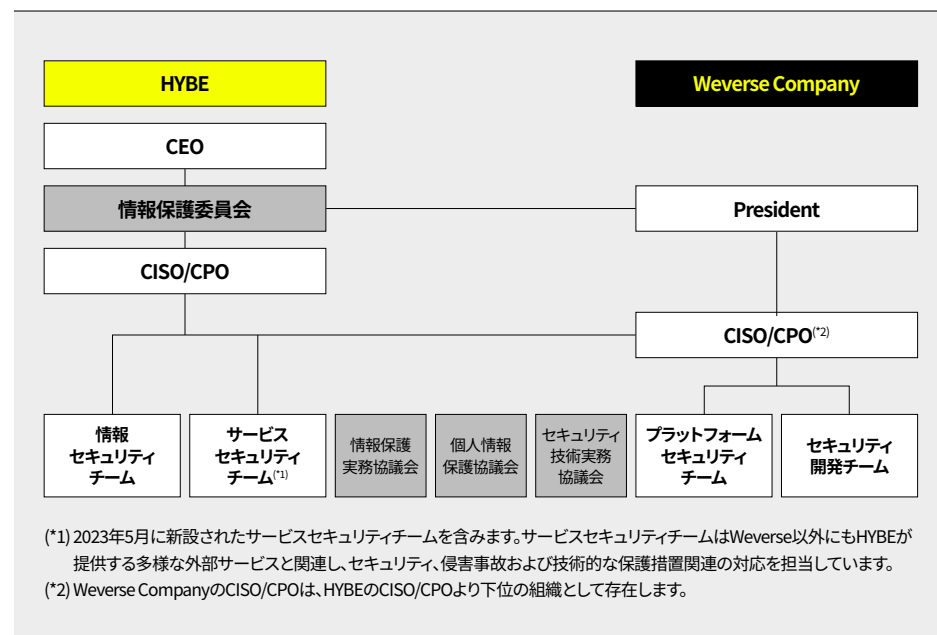
情報セキュリティ事故に対する事後対応

HYBEは、セキュリティ事故に対する体系的な事後対応のため、「非常事態対応指針」を整備し、非常組織や役割を規定しています。

セキュリティ事故発生時の対応の流れ



HYBE情報保護管理組織



個人情報保護

HYBEは、CPOと個人情報保護担当者を中心に、個人情報を保護するための多様な技術的、管理的措置を模索しています。HYBEは、情報保護のための技術的措置の一環として、様々なセキュリティシステムを構築してきました。社内ネットワークではなく外部ネットワークから内部システムにアクセスする必要がある場合、仮想プライベートネットワーク(SSL-VPN)を利用して内部システムへのアクセスを許可します。また、従業員の業務用デバイスに悪性コード、ランサムウェア、ウイルス感染防止および対応のためのワクチンシステムをインストールし、1日に1回定期自動検査を実施します。またセキュリティポリシーを遵守するためにハードウェアおよびソフトウェアのインストール内容を管理し、紛失時にデータ保護のための暗号化および遠隔ロック、初期化が可能なよう管理します。

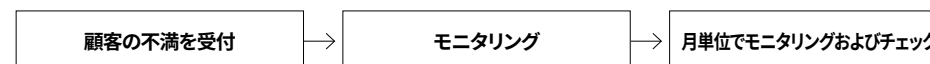
個人情報処理方針

HYBEは、従業員および利用者の個人情報保護に向けた個人情報処理方針を、すべてのサービスおよびレベルのホームページ上で公開しています。情報主体の権利を保障するため、利用者に個人情報データに対するアクセス、修正および削除を要請する権限を保障し、個人情報の収集および利用目的を達成した場合は、直ちに情報を破棄します。グローバルな利用者の個人情報を扱うサービスは、個人情報処理方針に各利用者の所在地と国籍により適用される追加および代替条項を告知します。Weverseの場合、欧州経済領域、イギリス、米国カリフォルニア州および日本の法律により、一部条項が追加および代替されることを告知しています。



個人情報主体の権利保障

HYBEは、利用者が個人情報保護に関して、不満を提起し円滑にコミュニケーションをとれるよう顧客相談窓口を運営しています。HYBEで提供する各サービス別のウェブサイトに掲載されている個人情報処理方針には、CPOおよび担当者の連絡先が記載されています。メールなどで不満が受け付けられると、まず関連部署の担当者がモニタリングおよび判断を行います。その後、情報セキュリティチームが月単位でモニタリングおよび全社レベルの情報セキュリティ次元のチェックを実施します。



児童の個人情報保護

HYBEおよびWeverseのサービスは、原則として児童を対象としていません。各国で定める児童の年齢基準に基づき、児童の個人情報を収集した事実が認められる場合、この情報を削除し、サービスの利用を終了します。一部の児童の情報を収集(オーディションなど)する場合は、各国の個人情報保護法に規定されている原則に従い、法定代理人の同意を得た後で収集します。

情報セキュリティ教育

HYBEは、全社レベルで従業員を対象に、個人情報保護と情報セキュリティに対する教育および認識強化活動を実施しています。2022年には、HYBE傘下レーベルを含む計14個の法人の休職および退職者を除く全従業員が教育を履修しました。

情報セキュリティ認証

多数の顧客の個人情報を扱うWeverseは、2020年、韓国の情報保護認証であるISMS認証^(*)を取得し、3年間維持しています。今後、HYBE傘下のソリューションであるHYBE IMのISMS認証およびHYBEのISO27001認証^(*)の取得を準備していきます。

ISMS認証内容

	企業人	株式会社Weverse Company
	認証範囲	インターネットコマース、コミュニティ(Weverse、Weverse Shop)および 対外サービス運営(審査を受けない物理的インフラを除く)
	有効期限	2020. 12. 02 ~ 2023. 12. 01

(*) ISMS(Information Security Management System)認証:情報保護管理体系認証、情報保護のための一連の措置と活動が認証基準に適合していることをインターネット振興院または認証機関が証明する制度

(*) ISO(International Organization of Standardization)27001認証:企業の重要情報資産を保護し、管理するうえで効果的であり、情報保護経営システムの要求事項の定義と保護管理システムを選択できるよう発行された唯一の国際標準システム

APPENDIX

Contents

86	サステナビリティ経営の成果
86	ー 連結財務諸表
87	ー 環境に関する成果
88	ー 社会に関する成果
91	ー ガバナンスに関する成果
93	GRI Standards 2021 Index
97	SASB Index
98	温室効果ガス検証意見書
99	第三者検証意見書
101	加入協会および受賞実績

サステナビリティ経営の成果

財務情報は韓国採択国際会計基準(K-IFRS)上の連結基準と一致し、環境、社会、ガバナンスデータは連結基準に基づき作成しました。一部範囲が異なる場合には注釈で明示しています。

連結財務情報

連結財務状況サマリー

区分	単位	2020	2021	2022
流動資産	百万ウォン	1,389,257	2,003,133	2,115,847
固定資産	百万ウォン	535,186	2,725,782	2,754,587
資産合計	百万ウォン	1,924,443	4,728,915	4,870,434
流動負債	百万ウォン	296,242	586,619	849,485
固定負債	百万ウォン	429,261	1,255,711	1,092,269
負債合計	百万ウォン	725,503	1,842,330	1,941,754
資本金	百万ウォン	17,812	20,677	20,677
資本剰余金	百万ウォン	1,147,515	2,469,875	2,469,875
その他の資本の構成要素	百万ウォン	(13,993)	140,577	46,804
内部留保	百万ウォン	44,001	180,803	233,123
非支配持分	百万ウォン	3,605	74,654	158,201
資本合計	百万ウォン	1,198,940	2,886,585	2,928,680
資本と負債の合計	百万ウォン	1,924,443	4,728,915	4,870,434

連結損益計算書サマリー

区分	単位	2020	2021	2022
売上高	百万ウォン	796,283	1,255,926	1,776,154
売上原価	百万ウォン	421,538	632,927	933,515
売上総利益	百万ウォン	374,745	622,999	842,639
販売費及び管理費	百万ウォン	229,230	432,751	605,731
営業利益	百万ウォン	145,516	190,248	236,908
その他の収益	百万ウォン	493	1,420	42,812
その他の費用	百万ウォン	4,295	3,243	154,251
金融収益	百万ウォン	6,543	44,652	121,955
金融費用	百万ウォン	20,404	38,531	151,046
関連会社に対する持分法による損益	百万ウォン	(1,606)	15,938	108
税引前当期純利益	百万ウォン	126,247	210,484	96,485
法人税費用	百万ウォン	39,185	69,649	48,453
当期純利益	百万ウォン	87,061	140,835	48,032

環境に関する成果

温室効果ガス排出の現況

区分	単位	2022
総排出量	tCO ₂ eq	7,533
SCOPE 1の排出量	tCO ₂ eq	2,381
SCOPE 2の排出量	tCO ₂ eq	5,152
炭素集約度	tCO ₂ eq/売上(億ウォン)	0.42

エネルギー使用量

区分	単位	2021	2022
総使用量	TJ	85	133
電気使用量 ^(*)	TJ	65	95
LNG使用量 ^(*)	TJ	20	25
軽油使用量 ^(*)	TJ	-	13
ガソリン使用量 ^(*)	TJ	-	0
エネルギー集約度	TJ/売上(億ウォン)	0.01	0.01

(*) 2021年1月から3月まではMDMビル分、その後は龍山オフィス分です。

(*) 龍山オフィス分であり、2021年は3月から12月までのデータを含みます。

(*) 軽油とガソリンは2022年分から集計しました。

環境法律および規制違反事項

区分	単位	2020	2021	2022
違反件数	件	-	-	-

廃棄物発生量^(*)

区分	単位	2021	2022
一般廃棄物	トン	229	299

(*) 龍山オフィス使用分であり、2021年は3月から12月までのデータを含みます。

用水使用量^(*)

区分	単位	2021	2022
上下水道	トン	33,483	31,501

(*) 龍山オフィス使用分であり、2021年は3月から12月までのデータを含みます。

プラスチックの使用量

区分	単位	2021	2022
製品	トン	372.7	729.1
包装	トン	180.7	165.5
合計	トン	553.4	894.6

社会に関する成果

従業員の現況

区分	単位	2020	2021	2022	
合計	人	927	1,177	1,393	
性別	男性	人	366	436	550
	女性	人	561	741	843
	男性の割合	%	39.5	37.0	39.5
	女性の割合	%	60.5	63.0	60.5
年齢別	30歳未満	人	367	227	262
	30歳以上50歳未満	人	556	937	1,115
	50歳以上	人	4	13	16
契約形態別	正規雇用者	人	892	1,114	1,324
	男性	人	341	405	521
	女性	人	551	709	803
	契約社員	人	35	63	69
	男性	人	25	31	29
	女性	人	10	32	40
	役員	人	20	16	20
役員	女性	人	2	1	3
	合計	人	22	17	23
	女性役員の割合	%	9.1	5.9	13.0

採用状況

区分	単位	2020	2021	2022		
合計	人	391	557	560		
新規採用	性別	男性	人	173	229	234
		女性	人	218	328	326
	年齢別	30歳未満	人	146	228	175
		30歳以上50歳未満	人	244	327	380
		50歳以上	人	1	2	5

退職現況

区分	単位	2020	2021	2022		
合計	人	146	306	310		
退職	性別	男性	人	74	162	105
		女性	人	72	144	205
		男性	%	50.7	52.9	33.9
		女性	%	49.3	47.1	66.1
	年齢別	30歳未満	人	52	110	72
		30歳以上50歳未満	人	94	195	237
		50歳以上	人	-	1	1
		30歳未満	%	35.6	35.9	23.2
		30歳以上50歳未満	%	64.4	63.7	76.5
		50歳以上	%	-	0.3	0.3
		自主退職	人	130	230	246
会社都合退 ^(*)	人	16	76	64		
自主退職の割合 ^(*)	%	17.0	21.0	19.3		
会社都合退職の割合 ^(*)	%	2.1	6.9	5.0		

(*1) 契約終了、退職勧告、懲戒解雇、死亡に該当する人数です。

(*2) 年平均人数を基準に算定しました。

多様性の現況

区分		単位	2020	2021	2022
役職者 ^(*)	合計	人	136	184	258
	性別	男性	83	103	149
		女性	53	81	109
売上発生部署の管理者	合計	人	103	141	174
	性別	男性	65	80	117
		女性	38	61	57
障がい者雇用人数	人数	人	1	4	6
	人数比率	%	0.1	0.3	0.4
報奨対象者	人数	人	3	5	7
	人数比率	%	0.3	0.4	0.5
韓国事業場内の外国国籍者	人数	人	20	41	35
	人数比率	%	2.2	3.5	2.5

(*) チーム長以上の役職を持つ人数を基準に算定しました。

従業員教育の現況

区分	単位	2020	2021	2022
教育修了者	人	858	1,183	1,314
全体教育時間	時間	3,280.4	7,134.8	9,772.7
平均教育時間(1人当たりの教育時間)	時間/人	3.8	6.0	7.4

公正な成果評価および報酬

区分		単位	2020	2021	2022
従業員の平均給与	全体	百万ウォン	60	63	68
	男性	百万ウォン	76	75	81
	女性	百万ウォン	50	55	60

育児休職の現況

区分		単位	2020	2021	2022
使用人数	合計	人	1	7	13
	男性	人	-	1	5
	女性	人	1	6	8
復職人数	男性	人	-	-	3
	女性	人	1	4	6
復職後、12か月以上勤務した人数	男性	人	-	-	-
	女性	人	-	1	4
復職後、12か月以上の勤務維持率 ^(*)	男性	%	-	-	-
	女性	%	-	100	100

(*) 2021年から算定を開始し、前年度育児休職の復職者に比べ復職後12か月以上勤務した人数です。

事業場安全管理

指標		単位	2020	2021	2022
労働災害件数	HYBE	人	-	-	-
死亡者数	HYBE	人	-	-	-
	パートナー企業	人	-	-	-
重大労働災害件数		件	-	-	-
重大労働災害比率		%	-	-	-
韓国国内	労働災害による死亡率	%	-	-	-
	10万人当たりの死亡率	%	-	-	-
災害度数率(LTIFR)		数/勤務時間20万時間	-	-	-

パートナー企業の現況

区分	単位	2020	2021	2022
パートナー企業数	個	38	44	110
総新規登録	個	38	37	32

マーケティングおよびラベリング

区分	単位	2020	2021	2022
マーケティングコミュニケーション合計違反事例数	件	-	-	-
規定違反による罰金やペナルティが科された事例	件	-	-	-
規定違反により警告を受けた事例	件	-	-	-
自発的な規範違反事例	件	-	-	-

人権教育

区分		単位	2020	2021	2022
新入社員人権教育	教育対象人数	人	391	557	487
	教育参加人数	人	391	557	487
	教育課程数	個	2	2	3
全職員人権教育	教育対象人数	人	927	1,196	1,393
	教育参加人数	人	858	1,183	1,314
	総修了比率	%	92.3	98.9	94.3

倫理教育

区分		単位	2020	2021	2022
新入社員倫理教育	教育対象人数	人	391	557	487
	教育参加人数	人	391	557	487
	教育課程数	個	2	2	3
全職員倫理教育	教育対象人数	人	927	1,196	1,393
	教育参加人数	人	858	1,183	1,314
	総修了比率	%	92.3	98.9	94.3

ガバナンスに関する成果

株主現況

区分	株主人	単位	所有株式数	持分比率
5%以上の株主	パン・シヒョク	株、%	13,151,394	31.8
	(株)ネットマーブル	株、%	7,530,813	18.2
	国民年金公団	株、%	2,952,478	7.1
	ドゥナム(株)	株、%	2,302,570	5.6
従業員持株会		株、%	60,820	0.15

少額株主の現況

区分	単位	少額株主	全体株主	比率
株主数	人、%	216,445	216,489	99.99
所有株式	株、%	15,416,132	41,353,387	37.28

取締役会の現況

区分		単位	2020	2021	2022	
取締役会の構成	合計	人	6	7	9	
	区分別	社内取締役	人	5	4	4
		社外取締役	人	4	3	5
	性別	男性	人	6	7	8
		女性	人	-	-	1
取締役会の運営	開催回数	回	18	16	13	
	社外取締役平均参加率	%	96.5	80.0	94.6	
	案件数	決議	件	52	72	62
		報告	件		22	26

取締役会内の委員会の現況

区分		単位	2020	2021	2022	
監査委員会	社外取締役比率	%	100	100	100	
	開催回数	回	1	1	1	
	案件数	決議	件	1	1	1
		報告	件		-	-
報酬委員会	社外取締役比率	%	-	-	100	
	開催回数	回	-	-	-	
	案件数	決議	件	-	-	-
		報告	件	-	-	-
社外取締役候補推薦委員会	社外取締役比率	%	100	100	100	
	開催回数	回	-	1	1	
	案件数	決議	件	-	1	1
		報告	件		-	-
内部取引委員会	社外取締役比率	%	100	100	100	
	開催回数	回	3	6	6	
	案件数	決議	件	9	11	13
		報告	件		-	-
ESG委員会	社外取締役比率	%	-	-	66.7	
	開催回数	回	-	-	-	
	案件数	決議	件	-	-	-
		報告	件	-	-	-

経営陣の報酬現況

区分	単位	2020	2021	2022
最高経営者の給与	百万ウォン	615	579	950
役員の報酬総額	百万ウォン	3,511	3,859	7,514
職員給与と平均値(役員を除く)	百万ウォン	60	63	68
最高経営者の給与／職員給与の平均値	倍	10.2	9.2	14.0
年間総報酬比率の増加率 ^(*)	%	110.9%	9.9%	95.7%

(*) 役員の報酬総額の前期比増加率です。

経営陣の株式保有現況

区分	単位	2020	2021	2022
役員株式保有数(普通株基準)	株	12,377,337	13,701,774	13,702,161

情報セキュリティ^(*)

区分	単位	2020	2021	2022
総情報流出事故件数	件	1	1	-
個人情報の侵害による影響を受けた人数	人	137	22	-

(*) HYBEの全系列会社を基準に算定しました。

経済的価値配分

区分	単位	2020	2021	2022
配当金総額(株主および投資家)	百万ウォン	-	-	-
利子費用(株主および投資家)	百万ウォン	3,887	13,235	34,614
従業員給与(従業員)	百万ウォン	82,197	155,819	227,757
用役費(パートナー企業)	百万ウォン	296,946	575,675	835,051
法人税(政府) ^(*)	百万ウォン	39,185	69,949	48,452
寄付金(地域社会)	百万ウォン	2,658	1,426	9,185
合計	百万ウォン	423,415	658,859	1,145,874

(*) 事業報告書上の法人税費用に該当します。

GRI(*) STANDARDS 2021 INDEX

一般開示事項

項目	開示事項	ページ	備考	
GRI2:一般開示事項2021	2-1	組織の詳細	8	
	2-2	組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	3	
	2-3	報告期間、報告頻度、連絡先	3	
	2-4	情報の修正・訂正記述	-	初回の発行のため該当事項なし
	2-5	外部保証	99, 100	
	2-6	活動、バリューチェーン、その他の取引関係	11~27	
	2-7	従業員	88~90	事業報告書P291~293参照
	2-8	従業員以外の労働者	-	事業報告書P291~293参照
	2-9	ガバナンス構造と構成	68~71	事業報告書P276~283参照
	2-10	最高ガバナンス機関における指名と選出	68~71	事業報告書P276~283参照
	2-11	最高ガバナンス機関の議長	68	
	2-12	インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	30, 71	
	2-13	インパクトのマネジメントに関する責任の移譲	30, 71	
	2-14	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	30, 71	
	2-15	利益相反	-	取締役の兼職状況および支配株主に関する事項、特殊関係者との取引および債権債務関係などの利益相反に関する内容を事業報告書、コーポレートガバナンス報告書を通じて開示中
	2-16	重大な懸念事項の伝達	32	

(*) GRI(Global Reporting Initiative)

項目	開示事項	ページ	備考	
GRI2:一般開示事項2021	2-17	最高ガバナンス機関の集会的知見	68	事業報告書P276~283参照
	2-18	最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価	68	
	2-19	報酬方針	-	事業報告書P293~300参照
	2-20	報酬の決定プロセス	69	事業報告書P293~300参照
	2-21	年間報酬総額の比率	-	事業報告書P293~300参照
	2-22	持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	4~6	
	2-23	方針声明	38, 46, 66	
	2-24	方針声明の実践	38, 46, 66	
	2-25	マイナスのインパクトの是正プロセス	73	
	2-26	助言を求める制度および懸念を提起する制度	73	
	2-27	法規制遵守	56	事業報告書P210参照
	2-28	会員資格を持つ団体	101	
	2-29	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	32	
	2-30	労働協約	54	
	GRI3:マテリアルな項目2021	3-1	マテリアルな項目の決定プロセス	34~36
3-2		マテリアルな項目のリスト	34~36	
3-3		マテリアルな項目のマネジメント	34~36	

Material Topic

項目	開示事項	ページ	備考
GRI201:経済パフォーマンス 2016	201-1 創出、分配した直接的経済価値	86, 92	
	201-2 気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	-	今後の測定方法および削減方法を策定し、開示する予定です。
	201-3 確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	-	事業報告書P97～100参照
	201-4 政府から受けた資金援助	該当事項なし	
GRI305:大気への排出2016	305-1 直接的なGHG排出(スコープ1)	76, 87	
	305-2 間接的なGHG排出(スコープ2)	76, 87	
	305-3 その他の間接的なGHG排出(スコープ3)	-	今後の測定方法および削減方法を策定し、開示する予定です。
	305-4 温室効果ガス(GHG)排出原単位	87	
	305-5 温室効果ガス(GHG)排出量の削減	-	今後の測定方法および削減方法を策定し、開示する予定です。
	305-6 オゾン層破壊物質(ODS)の排出量	-	同上
	305-7 窒素酸化物(NOx)、硫酸酸化物(SOx)、およびその他の重大な大気排出物	-	同上
GRI306:廃棄物2016	306-1 廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	87	
	306-2 廃棄物関連の著しいインパクトの管理	87	
	306-3 発生した廃棄物	87	
	306-4 処分されなかった廃棄物	該当事項なし	
	306-5 処分された廃棄物	該当事項なし	
GRI401:雇用2016	401-1 従業員の新規雇用と離職	57, 88	
	401-2 フルタイム従業員には支給され、有期雇用の従業員やパートタイム従業員には支給されない手当	61	福利厚生は正社員と契約社員に同一の条件が適用されます。
	401-3 育児休暇	61, 89	
GRI417:マーケティングと ラベリング2016	417-1 製品・サービスの情報とラベリングに関する要求事項	該当事項なし	
	417-2 製品・サービスの情報とラベリングに関する違反事例	90	
	417-3 マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	該当事項なし	
GRI418:顧客プライバシー	418-1 顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	92	

Non-Material Topic

項目	開示事項	ページ	備考
GRI203:間接的な経済的 インパクト	203-1	インフラ投資および支援サービス	50~52
	203-2	著しい間接的な経済的インパクト	50~52
GRI205:腐敗防止	205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	54
GRI302:エネルギー	302-1	組織内のエネルギー消費量	87
	302-3	エネルギー原単位	87
	302-4	エネルギー消費量の削減	87
GRI303:水と排水	303-3	取水	87
GRI403:労働安全衛生	403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	78~79
	403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	78~79
	403-6	労働者の健康増進	61~62, 78~79
	403-9	労働関連の傷害	90
GRI404:研修と教育	404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	90
	404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	58~59
	404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	該当事項なし
GRI405:ダイバーシティと 機会均等	405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	57, 88
GRI407:結社の自由と団体交渉	407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	該当事項なし
GRI408:児童労働	408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	該当事項なし
GRI409:強制労働	409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	該当事項なし
GRI413:地域コミュニティ	413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	50~52

SASB^(*) INDEX

インターネットメディアおよびサービス / メディア&エンターテインメント

項目	SASBコード	開示事項	ページ	報告内容
ハードウェアインフラの環境評価指標	TC-IM0130a.1	(1)エネルギー消費総量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	87	(1)「エネルギー使用量」参照
	TC-IM0130a.2	(1)総取水量、(2)総使用済水量、ベースライン水ストレス (BWS) が高い地域または非常に高い地域の割合	87	(1)「用水使用量」参照
データプライバシー、 および表現の自由	TC-IM-220a.1	行動に基づく広告と利用者のプライバシーに関する方針と実務の説明	-	
	TC-IM-220a.2	情報が二次目的で使用される利用者数	-	
	TC-IM-220a.3	利用者のプライバシーに関する法的手続に起因する金銭的損失の総額	-	
データセキュリティ	TC-IM-230a.1	(1)データ漏洩件数、(2)個人を特定できる情報 (PII) に関する割合、(3)影響を受ける利用者数	92	(1)、(2)、(3)「情報セキュリティ」参照
	TC-IM-230a.2	第三者のサイバーセキュリティ基準の使用を含む、データセキュリティリスクを特定して対処するアプローチの説明	82, 83, 84	
従業員の採用、インクルージョン、 およびパフォーマンス	TC-IM-330a.1	外国籍従業員の割合	-	
知的財産保護および競争的行為	TC-IM-520a.1	反競争的行為の規制に関連する法的手続の結果としての金銭的損失の総額	-	
知的財産保護およびメディアの海賊行為	SV-ME-520a.1	知的財産 (IP) 保護を確保するためのアプローチの説明	-	
メディアの多元主義	SV-ME-260a.1	(1)経営陣、(2)専門職、および、(3)その他すべての従業員の各性別代表集団および人種/民族代表集団の割合 (%)	88	(1)、(3)「従業員の現況」参照
	SV-ME-260a.2	ニュース/メディアコンテンツにおける多元主義を担保するための方針および手順の説明	-	

(*) SASB(Sustainability Accounting Standards Board)

温室効果ガス検証意見書

HYBE Co., Ltd.

Place of business in Korea

Yongsan Office Building, Samsung MDM Tower, Pangyo Techwon, Sinsa-dong T&D Center, Mokwon Nonhyun Building, SL Building, Yeoksam TI Tower, Jaewon Building, 363 Gangnam Tower, Woori Building, Union Building, Zion Castle

Place of business overseas

Izumi Chiba Daimon, VORT Shibaura Warter Front, Annex, Sengawa Studio, Santa Monica office building, Nashville office

The Korea Management Registrar Inc. (hereinafter “KMR”) has conducted the verification on the greenhouse gas (hereinafter “GHG”) emission (Scope 1, 2) of HYBE Co., Ltd. (hereinafter “the Company”) in 2022.

Scope

Verification of places of business and emission facilities under the control of the Company.

Standards

- ISO 14064-1:2006, ISO 14064-3:2006
- WRI/WBCSD GHG Protocol
- IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories (2006)
- Guidelines for Reporting and Certification of Emissions in the Greenhouse Gas Emissions Trading Scheme

Limitations

The verification has inherent limitations that may arise in the process of applying standards and methods.

Opinion

- GHG verification has been performed to meet the limited assurance level according to the verification standards.
- We express that no significant errors were found in the calculation of emissions during the verification process, and that relevant activity data and evidence were appropriately managed and calculated. As a result, we express a “qualified” opinion.

GHGs Emission

Year	Direct Emission (Scope1)	Indirect Emission (Scope2)	Total (tCO ₂ eq)
2022	2,380.977	5,152.362	7,533

※ Total emissions are summed by company after cutting the decimal point at the workplace.

Energy Consumption

Year	Fuel	Electricity	Steam	Total (TJ)
2022	37.735	94.838	-	133

June 29th, 2023



第三者検証意見書

To readers of HYBE 2022 Sustainability Report

Introduction

Korea Management Registrar (KMR) was commissioned by HYBE to conduct an independent assurance of its 2022 Sustainability Report (the “Report”). The data and its presentation in the Report is the sole responsibility of the management of HYBE. KMR’s responsibility is to perform an assurance engagement as agreed upon in our agreement with HYBE and issue an assurance statement.

Scope and Standards

HYBE described its sustainability performance and activities in the Report. Our Assurance Team carried out an assurance engagement in accordance with the AA1000AS v3 and KMR’s assurance standard SRV1000. We are providing a Type 2, moderate level assurance. We evaluated the adherence to the AA1000AP (2018) principles of inclusivity, materiality, responsiveness and impact, and the reliability of the information and data provided using the Global Reporting Initiative (GRI) Index provided below. The opinion expressed in the Assurance Statement has been formed at the materiality of the professional judgment of our Assurance Team.

Confirmation that the Report was prepared in accordance with GRI standards 2021 was included in the scope of the assurance. We have reviewed the topic-specific disclosures of standards which were identified in the materiality assessment process.

- GRI Sustainability Reporting Standards 2021
- Universal standards
- Topic specific standards
 - GRI 201 : Economic Performance
 - GRI 305 : Emissions
 - GRI 306 : Waste

- GRI 401 : Employment
- GRI 404 : Training and Education
- GRI 417 : Marketing and Labeling
- GRI 418 : Customer Privacy

As for the reporting boundary, the engagement excludes the data and information of HYBE’ partners, suppliers and any third parties.

KMR's Approach

To perform an assurance engagement within an agreed scope of assessment using the standards outlined above, our Assurance Team undertook the following activities as part of the engagement:

- reviewed the overall Report;
- reviewed materiality assessment methodology and the assessment report;
- evaluated sustainability strategies, performance data management system, and processes;
- interviewed people in charge of preparing the Report;
- reviewed the reliability of the Report's performance data and conducted data sampling;
- assessed the reliability of information using independent external sources such as Financial Supervisory Service’s DART and public databases.

Limitations and Recommendations

KMR’s assurance engagement is based on the assumption that the data and information provided by HYBE to us as part of our review are provided in good faith. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied. To address this, we referred to independent external sources such as DART and National Greenhouse Gas Management System (NGMS) and public databases to challenge the quality and reliability of the information provided.

Conclusion and Opinion

Based on the document reviews and interviews, we had several discussions with HYBE on the revision of the Report. We reviewed the Report's final version in order to make sure that our recommendations for improvement and revision have been reflected. Based on the work performed, it is our opinion that the Report applied the GRI Standards. Nothing comes to our attention to suggest that the Report was not prepared in accordance with the AA1000AP (2018) principles.

Inclusivity

HYBE has developed and maintained different stakeholder communication channels at all levels to announce and fulfill its responsibilities to the stakeholders. Nothing comes to our attention to suggest that there is a key stakeholder group left out in the process. The organization makes efforts to properly reflect opinions and expectations into its strategies.

Materiality

HYBE has a unique materiality assessment process to decide the impact of issues identified on its sustainability performance. We have not found any material topics left out in the process.

Responsiveness

HYBE prioritized material issues to provide a comprehensive, balanced report of performance, responses, and future plans regarding them. We did not find anything to suggest that data and information disclosed in the Report do not give a fair representation of HYBE's actions.

Impact

HYBE identifies and monitors the direct and indirect impacts of material topics found through the materiality assessment, and quantifies such impacts as much as possible.

Reliability of Specific Sustainability Performance Information

In addition to the adherence to AA1000AP (2018) principles, we have assessed the reliability of economic, environmental, and social performance data related to sustainability performance. We interviewed the in-charge persons and reviewed information on a sampling basis and supporting documents as well as external sources and public databases to confirm that the disclosed data is reliable. Any intentional error or misstatement is not noted from the data and information disclosed in the Report.

Competence and Independence

KMR maintains a comprehensive system of quality control including documented policies and procedures in accordance with ISO/IEC 17021:2015 - Requirements for bodies providing audit and certification of management systems. This engagement was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. KMR has no other contract with HYBE and did not provide any services to HYBE that could compromise the independence of our work.

June 2023 Seoul, Korea



CEO *E. J. Hwang*

加入協会および受賞実績

協会人

- 韓国音楽コンテンツ協会
- コリアスタートアップフォーラム

受賞年度	主管	受賞人
2023年度	KOMCA	韓流特別功労牌
2022年度	KOMCA	第8回著作権大賞 Best Partner
	Google Play	『BTS Island:インザソム』がGoogle Play ベスト オブ 2022優秀賞受賞
	毎日経済	第5回会計大賞最優秀賞
	iF	iFデザインアワード本賞
	レッドドット	レッドドットデザインアワード「ブランド&コミュニケーション」部門本賞
	ファストカンパニー	世界50大革新企業に選定
	People's Choice Awards	The Concert Tour of 2022(BTS PERMISSION TO DANCE ON STAGE TOUR)
	イーデイリー	第9回イーデイリー文化大賞コンサート部門最優秀賞(SEVENTEEN BE THE SUN TOUR)
	Billboard	Year-End Top 10 Promoters
	タイム誌	世界で最も影響力のある100社に選定
2021年度	タイム誌	世界で最も影響力のある100社に選定
2020年度	ファストカンパニー	世界50大革新企業に選定

HYBE